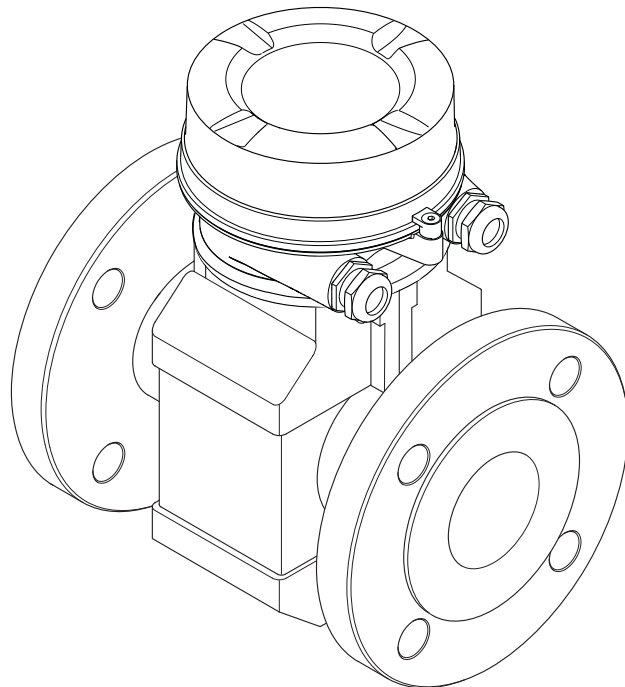


# 取扱説明書

## Proline Promag P 100

### HART

電磁流量計



- 
- 本書は、本機器で作業する場合にいつでもすぐに手に取れる安全な場所に保管してください。
  - 要員やプラントが危険にさらされないよう、「基本安全注意事項」セクション、ならびに作業手順に関して本書に規定されている、その他の安全注意事項をすべて熟読してください。
  - 弊社は、事前の予告なしに技術仕様を変更する権利を有するものとします。本書に関する最新情報および更新内容については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

## 目次

<b>1</b>	<b>資料情報</b> .....	<b>5</b>	<b>7</b>	<b>電気接続</b> .....	<b>26</b>
1.1	資料の機能 .....	5	7.1	接続条件 .....	26
1.2	使用されるシンボル .....	5	7.1.1	必要な工具 .....	26
1.2.1	安全シンボル .....	5	7.1.2	接続ケーブルの要件 .....	26
1.2.2	電気シンボル .....	5	7.1.3	端子の割当て .....	27
1.2.3	工具シンボル .....	5	7.1.4	機器プラグのピンの割当て .....	28
1.2.4	特定情報に関するシンボル .....	6	7.1.5	機器の準備 .....	28
1.2.5	図中のシンボル .....	6	7.2	機器の接続 .....	28
1.3	関連資料 .....	6	7.2.1	変換器の接続 .....	28
1.3.1	標準資料 .....	7	7.2.2	電位平衡の確保 .....	30
1.3.2	機器固有の補足資料 .....	7	7.3	特別な接続指示 .....	32
1.4	登録商標 .....	7	7.3.1	接続例 .....	32
<b>2</b>	<b>基本安全注意事項</b> .....	<b>8</b>	7.4	保護等級の保証 .....	32
2.1	要員の要件 .....	8	7.5	配線状況の確認 .....	32
2.2	用途 .....	8	<b>8</b>	<b>操作オプション</b> .....	<b>33</b>
2.3	労働安全 .....	9	8.1	操作オプションの概要 .....	33
2.4	使用上の安全性 .....	9	8.2	操作メニューの構成と機能 .....	34
2.5	製品の安全性 .....	9	8.2.1	操作メニューの構成 .....	34
2.6	ITセキュリティ .....	9	8.2.2	操作指針 .....	35
<b>3</b>	<b>製品説明</b> .....	<b>10</b>	8.3	ウェブブラウザによる操作メニューへのア クセス .....	35
3.1	製品構成 .....	10	8.3.1	機能範囲 .....	35
3.1.1	HART 通信タイプの機器バージョ ン .....	10	8.3.2	必須条件 .....	36
<b>4</b>	<b>納品内容確認および製品識別表示</b> ..	<b>11</b>	8.3.3	接続の確立 .....	36
4.1	納品内容確認 .....	11	8.3.4	ログイン .....	37
4.2	製品識別表示 .....	11	8.3.5	ユーザインターフェイス .....	37
4.2.1	変換器の銘板 .....	12	8.3.6	ウェブサーバの無効化 .....	38
4.2.2	センサの銘板 .....	13	8.3.7	ログアウト .....	39
4.2.3	機器のシンボル .....	14	8.4	操作ツールによる操作メニューへのアクセ ス .....	39
<b>5</b>	<b>保管および輸送</b> .....	<b>15</b>	8.4.1	操作ツールの接続 .....	39
5.1	保管条件 .....	15	8.4.2	Field Xpert SFX350、SFX370 .....	40
5.2	製品の運搬 .....	15	8.4.3	FieldCare .....	40
5.3	梱包材の廃棄 .....	16	8.4.4	AMS デバイスマネージャ .....	42
<b>6</b>	<b>取付け</b> .....	<b>16</b>	8.4.5	SIMATIC PDM .....	42
6.1	設置条件 .....	16	8.4.6	フィールドコミュニケータ 475 .....	43
6.1.1	取付位置 .....	16	<b>9</b>	<b>システム統合</b> .....	<b>44</b>
6.1.2	環境およびプロセスの要件 .....	18	9.1	デバイス記述ファイルの概要 .....	44
6.2	機器の取付け .....	20	9.1.1	現在の機器データバージョン .....	44
6.2.1	必要な工具 .....	20	9.1.2	操作ツール .....	44
6.2.2	機器の準備 .....	20	9.2	HART 経由の測定変数 .....	44
6.2.3	センサの取付け .....	21	9.3	その他の設定 .....	46
6.2.4	表示モジュールの回転 .....	24	9.3.1	HART 7 仕様に準拠するパーストモ ード機能 .....	46
6.3	設置状況の確認 .....	25	<b>10</b>	<b>設定</b> .....	<b>48</b>
			10.1	機能確認 .....	48
			10.2	機器の設定 .....	48
			10.2.1	タグ番号の設定 .....	48
			10.2.2	電流出力の設定 .....	49

10.2.3	パルス/周波数/スイッチ出力の設定	50	13.2	測定機器およびテスト機器	86
10.2.4	現場表示器の設定	54	13.3	エンドレスハウザー社サービス	86
10.2.5	HART 入力の設定	55	<b>14</b>	<b>修理</b>	<b>87</b>
10.2.6	出力状態の設定	56	14.1	一般的注意事項	87
10.2.7	ローフローカットオフの設定	57	14.2	スペアパーツ	87
10.2.8	空検知の設定	59	14.3	エンドレスハウザー社サービス	87
10.3	高度な設定	60	14.4	返却	87
10.3.1	システムの単位の設定	60	14.5	廃棄	87
10.3.2	センサの調整の実施	61	14.5.1	機器の取外し	87
10.3.3	積算計の設定	62	14.5.2	機器の廃棄	88
10.3.4	表示の追加設定	63	<b>15</b>	<b>アクセサリ</b>	<b>89</b>
10.3.5	電極洗浄の実行	65	15.1	機器固有のアクセサリ	89
10.4	シミュレーション	66	15.1.1	変換器用	89
10.5	不正アクセスからの設定の保護	67	15.1.2	センサ用	89
10.5.1	アクセスコードによる書き込み保護	67	15.2	通信関連のアクセサリ	89
10.5.2	書き込み保護スイッチによる書き込み保護	68	15.3	サービス関連のアクセサリ	90
<b>11</b>	<b>操作</b>	<b>70</b>	15.4	システムコンポーネント	90
11.1	機器ロック状態の読取り	70	<b>16</b>	<b>技術データ</b>	<b>91</b>
11.2	測定値の読取り	70	16.1	用途	91
11.2.1	プロセス変数	70	16.2	機能とシステム構成	91
11.2.2	積算計	71	16.3	入力	91
11.2.3	出力値	71	16.4	出力	93
11.3	プロセス条件への機器の適合	72	16.5	電源	95
11.4	積算計リセットの実行	72	16.6	性能特性	96
<b>12</b>	<b>診断およびトラブルシューティング</b>	<b>74</b>	16.7	設置	98
12.1	一般トラブルシューティング	74	16.8	環境	98
12.2	発光ダイオードによる診断情報	75	16.9	プロセス	99
12.2.1	変換器	75	16.10	構造	100
12.3	FieldCare の診断情報	75	16.11	操作性	105
12.3.1	診断オプション	75	16.12	認証と認定	107
12.3.2	対策情報の呼び出し	76	16.13	アプリケーションパッケージ	107
12.4	診断情報の適合	76	16.14	アクセサリ	108
12.4.1	診断動作の適合	76	16.15	補足資料	108
12.4.2	ステータス信号の適合	77	<b>17</b>	<b>付録</b>	<b>110</b>
12.5	診断情報の概要	77	17.1	操作メニューの概要	110
12.6	未処理の診断イベント	80	17.1.1	メインメニュー	110
12.7	診断リスト	81	17.1.2	「操作」メニュー	110
12.8	イベントログブック	81	17.1.3	「設定」メニュー	111
12.8.1	イベント履歴	81	17.1.4	「診断」メニュー	115
12.8.2	イベントログブックのフィルタリング	82	17.1.5	「エキスパート」メニュー	118
12.8.3	情報イベントの概要	82	<b>索引</b>	<b>132</b>	
12.9	機器のリセット	83			
12.10	機器情報	83			
12.11	ファームウェアの履歴	85			
<b>13</b>	<b>メンテナンス</b>	<b>86</b>			
13.1	メンテナンス作業	86			
13.1.1	外部洗浄	86			
13.1.2	内部洗浄	86			
13.1.3	シールの交換	86			





# 1 資料情報

## 1.1 資料の機能







この取扱説明書には、機器ライフサイクルの各種段階（製品の識別、納品内容確認、保管、取付け、接続、操作、設定からトラブルシューティング、保守、廃棄まで）において必要とされるあらゆる情報が記載されています。

## 1.2 使用されるシンボル



### 1.2.1 安全シンボル

シンボル	意味
 <b>危険</b>	<b>危険</b> 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、大けがをしたりするほか、爆発・火災を引き起こす恐れがあります。
 <b>警告</b>	<b>警告</b> 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。
 <b>注意</b>	<b>注意</b> 危険な状況を警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、けが、物的損害の恐れがあります。
 <b>注記</b>	<b>注記</b> 人身傷害につながらない、手順やその他の事象に関する情報を示すシンボルです。












### 1.2.2 電気シンボル

シンボル	意味
	<b>直流</b> 直流電圧がかかっている、あるいは直流電流が流れている端子
	<b>交流</b> 交流電圧がかかっている、あるいは交流電流が流れている端子
	<b>直流および交流</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 交流電圧または直流電圧がかかっている端子</li> <li>▪ 交流または直流が流れている端子</li> </ul>
	<b>アース端子</b> オペレータの考えにより、接地システムを用いて接地された接地端子
	<b>保護アース端子</b> その他の接続を行う前に、接地接続する必要がある端子
	<b>等電位接続</b> 工場の接地システムとの接続。各国または各会社の規範に応じて、たとえば等電位線や一点アースシステムといった接続があります。





### 1.2.3 工具シンボル

シンボル	意味
	六角レンチ
	六角スパナ




### 1.2.4 特定情報に関するシンボル

シンボル	意味
	<b>許可</b> 許可された手順、プロセス、動作であることを示します。
	<b>推奨</b> 推奨の手順、プロセス、動作であることを示します。
	<b>禁止</b> 禁止された手順、プロセス、動作であることを示します。
	<b>ヒント</b> 追加情報を示します。
	<b>資料参照</b> 対応する機器関連文書の参照指示
	<b>ページ参照</b> 対応するページ番号の参照指示
	<b>図参照</b> 対応する図番号およびページ番号の参照指示
	<b>一連のステップ</b>
	<b>一連の動作の結果</b>
	<b>問題が発生した場合のヘルプ</b>
	<b>目視検査</b>

### 1.2.5 図中のシンボル

シンボル	意味
<b>1, 2, 3, ...</b>	項目番号
	一連のステップ
<b>A, B, C, ...</b>	図
<b>A-A, B-B, C-C, ...</b>	断面図
	流れ方向
	<b>危険場所</b> 危険場所を示します。
	<b>安全区域 (非危険場所)</b> 非危険場所を示します。

## 1.3 関連資料

-  同梱される関連の技術資料の概要については、次を参照してください。
  - W@M デバイスビューワー：型式銘板のシリアル番号を入力 ([www.endress.com/deviceviewer](http://www.endress.com/deviceviewer))
  - Endress+Hauser Operations App：型式銘板のシリアル番号を入力するか、型式銘板の 2-D マトリクスコード (QR コード) をスキャンしてください。
-  個別の資料と資料コードに関する詳細なリスト →  108

### 1.3.1 標準資料

資料タイプ	資料の目的および内容
技術仕様書	<b>機器の計画支援</b> 本資料には、機器に関するすべての技術データが記載されており、本機器用に注文可能なアクセサリやその他の製品の概要が示されています。
簡易取扱説明書	<b>簡単に初めての測定を行うための手引き</b> 簡易取扱説明書には、納品内容確認から初回の設定までに必要なすべての情報が記載されています。

### 1.3.2 機器固有の補足資料

注文した機器の型に応じて追加資料が提供されます。必ず、補足資料の指示を厳守してください。補足資料は、機器資料に付随するものです。

## 1.4 登録商標

### HART®

米国、HART Communication Foundation Austin, USA の登録商標です。

### Microsoft®

Microsoft Corporation, Redmond, Washington, USA の登録商標です。

### Applicator®、FieldCare®、Field Xpert™、HistoROM®、Heartbeat Technology™

Endress+Hauser グループの登録商標または登録申請中の商標です。

## 2 基本安全注意事項

### 2.1 要員の要件

設置、設定、診断、およびメンテナンスを実施する要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 訓練を受けて、当該任務および作業に関する資格を取得した専門作業員であること
- ▶ 施設責任者の許可を得ていること
- ▶ 各地域/各国の法規を熟知していること
- ▶ 専門作業員は作業を開始する前に、取扱説明書、補足資料、および証明書（用途に応じて）の説明を熟読して理解しておく必要があります。
- ▶ 指示および基本条件を遵守してください。

オペレータ要員は、以下の要件を満たさなければなりません。

- ▶ 施設責任者からその作業に必要な訓練および許可を得ていること
- ▶ 本取扱説明書の指示に従ってください。

### 2.2 用途

#### アプリケーションおよび測定物

注文したバージョンに応じて、本機器は爆発性、可燃性、毒性、酸化性の測定物も測定できます。

危険場所、サンタリアアプリケーション、または、プロセス圧力によるリスクが高いアプリケーションで使用する機器は、それに応じたラベルが銘板に貼付されています。

運転時間中、機器が適切な条件下にあるよう、次の点に注意してください。

- ▶ 本機器を使用する場合は必ず、銘板に明記されたデータ、ならびに取扱説明書や補足資料に記載された一般条件に従ってください。
- ▶ 注文した機器が防爆仕様になっているか銘板を確認してください（例：防爆認定、压力容器安全）。
- ▶ 本機器は、接液部材質の耐食性を十分に確保できる測定物の測定にのみ使用してください。
- ▶ 本機器を大気温度で使用しない場合は、関連する機器資料に記載されている基本条件を順守することが重要です（「関連資料」セクション→ 6）。

#### 不適切な用途

指定用途以外での使用は、安全性を危うくする可能性があります。不適切な、あるいは指定用途以外での使用に起因する損傷については、メーカーは責任を負いません。

#### 警告

**腐食性または研磨性の流体によるセンサ破損の危険があります。**

- ▶ プロセス流体とセンサ材質の適合性を確認してください。
- ▶ プロセス内のすべての接液部材質の耐食性を確認してください。
- ▶ 指定の最大プロセス圧力に注意してください。

不明な場合の確認：

- ▶ 特殊な流体および洗浄液に関して、エンドレスハウザー社では接液部材質の耐食性確認をサポートしますが、プロセスの温度、濃度、または汚染レベルのわずかな変化によって耐食性が変わる可能性があるため、保証や責任は負いかねます。

#### 残存リスク

ハウジングの外部表面温度は、電子部品の電力消費により、最大 10 K まで上昇する可能性があります。高温のプロセス流体が本機器を通過すると、ハウジングの表面温度はさらに上昇します。特にセンサの表面は、流体温度に近い温度に達する可能性があります。

高温流体によるやけどの危険

- ▶ 流体温度が高い場合は、接触しないように保護対策を講じて、やけどを防止してください。



## 2.3 労働安全

機器で作業する場合：

- ▶ 各地域/各国の規定に従って必要な個人用保護具を着用してください。

配管溶接作業の場合：

- ▶ 計測機器を介して溶接機の接地を行わないでください。

濡れた手で機器の作業をする場合：

- ▶ 感電のリスクが高まるため手袋の着用を推奨します。

## 2.4 使用上の安全性

けがに注意！

- ▶ 本機器は、適切な技術条件およびフェールセーフ条件下でのみ操作してください。
- ▶ 施設責任者には、機器を支障なく操作できるようにする責任があります。

### 機器の改造

機器を無断で変更することは、予測不可能な危険を招くおそれがあり、認められません。

- ▶ 変更が必要な場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

### 修理

操作上の安全性と信頼性を保証するために、以下の点にご注意ください。

- ▶ 機器の修理は、そのことが明確に許可されている場合にのみ実施してください。
- ▶ 電気機器の修理に関する各地域/各国の規定を遵守してください。
- ▶ 弊社純正スペアパーツおよびアクセサリのみを使用してください。

## 2.5 製品の安全性

本機器は、最新の安全要件に適合するように GEP (Good Engineering Practice) に従って設計され、テストされて安全に操作できる状態で工場から出荷されます。

本機は一般的な安全基準および法的要件を満たしています。また、機器固有の EC 適合宣言に明記された EC 指令にも準拠します。エンドレスハウザーは機器に CE マークを添付することにより、機器の適合性を保証します。

## 2.6 IT セキュリティ

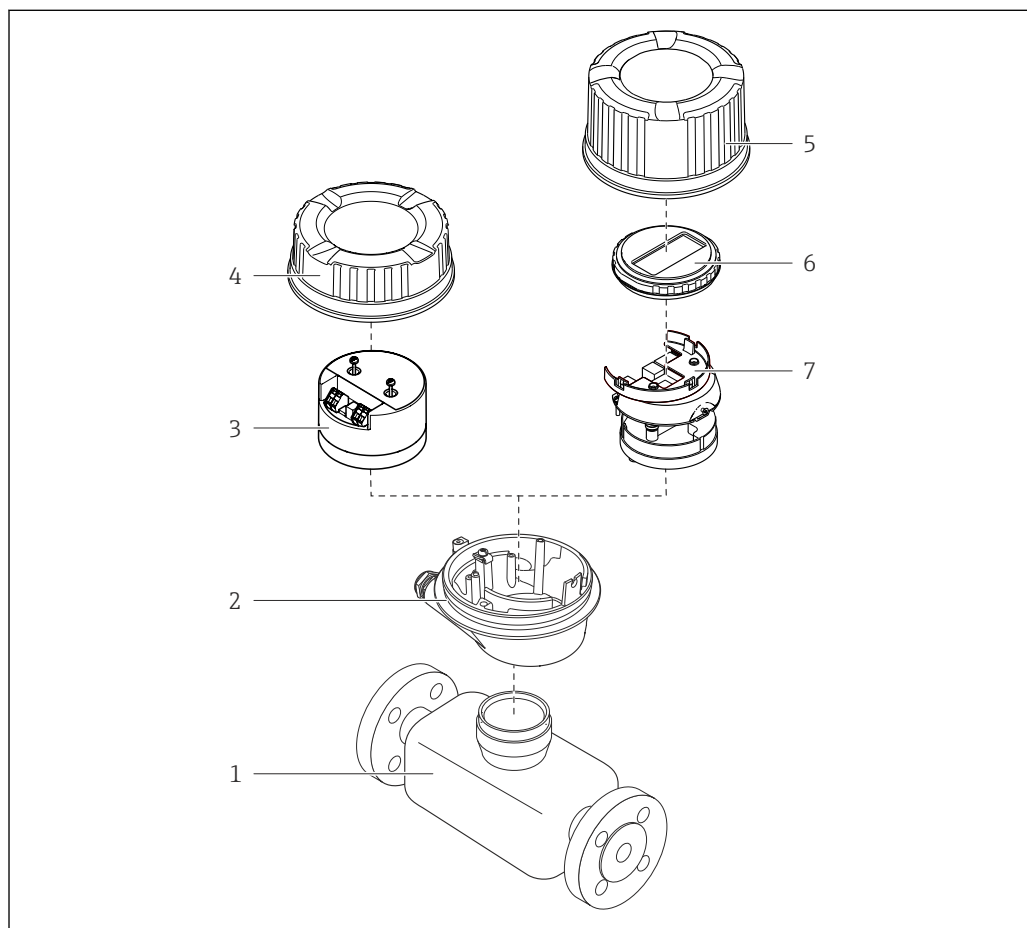
弊社は、取扱説明書に記載されている条件に従って使用されている場合のみ保証いたします。本機器は、いかなる予期しない設定変更に対しても保護するセキュリティ機構を備えています。

弊社機器を使用する事業者の定義する IT セキュリティ規定に準拠し、尚且つ機器と機器のデータ伝送に関する追加的な保護をするために設計されている IT セキュリティ対策は、機器の使用者により実行されなければなりません。

## 3 製品説明

### 3.1 製品構成

#### 3.1.1 HART 通信タイプの機器バージョン



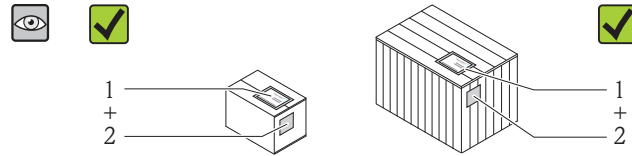
A0023153

図 1 機器の主要コンポーネント

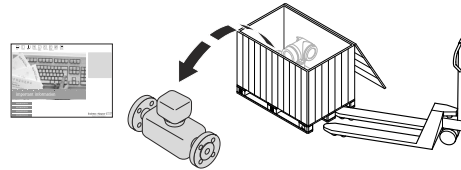
- 1 センサ
- 2 変換器ハウジング
- 3 メイン電子モジュール
- 4 変換器ハウジングカバー
- 5 変換器ハウジングカバー (オプションの現場表示器用バージョン)
- 6 現場表示器 (オプション)
- 7 メイン電子モジュール (オプションの現場表示器用のブラケット付き)

## 4 納品内容確認および製品識別表示

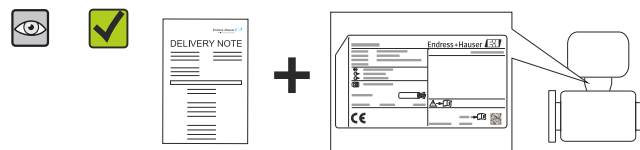
### 4.1 納品内容確認



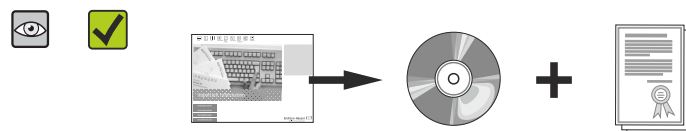
発送書類 (1) と製品ラベル (2) に記載されたオーダーコードが一致するか？



納入品に損傷がないか？



銘板のデータと発送書類に記載された注文情報が一致するか？



技術仕様書 (注文した機器バージョンに応じた) や関連資料が収録された CD-ROM があるか？

- 1つでも条件が満たされていない場合は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。
- 機器バージョンに応じて、CD-ROM は納入範囲に含まれないことがあります。技術資料はインターネットまたは「Endress+Hauser Operations アプリ」から入手可能です。「製品識別表示」セクションを参照してください → 12。

### 4.2 製品識別表示

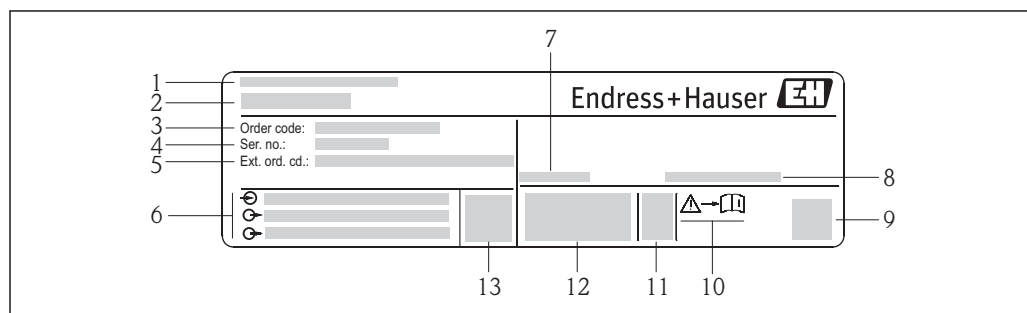
機器を識別するには以下の方法があります。

- 銘板
- 納品書に記載されたオーダーコード (機器仕様コードの明細付き)
- 銘板のシリアル番号を W@M デバイスビューワー ([www.endress.com/deviceviewer](http://www.endress.com/deviceviewer)) に入力すると、機器に関するすべての情報が表示されます。
- 銘板のシリアル番号を Endress+Hauser Operations アプリに入力するか、Endress+Hauser Operations アプリで 2-D マトリクスコード (QR コード) をスキャンすると、機器に関するすべての情報が表示されます。

同梱される関連の技術資料の概要については、次を参照してください。

- 「その他の機器標準資料」 → 図 7 および 「機器固有の補足資料」 → 図 7 章
- W@M デバイスビューワー：銘板のシリアル番号を入力  
([www.endress.com/deviceviewer](http://www.endress.com/deviceviewer))
- Endress+Hauser Operations アプリ：銘板のシリアル番号を入力するか、銘板の 2-D マトリクスコード (QR コード) をスキャンしてください。

#### 4.2.1 変換器の銘板

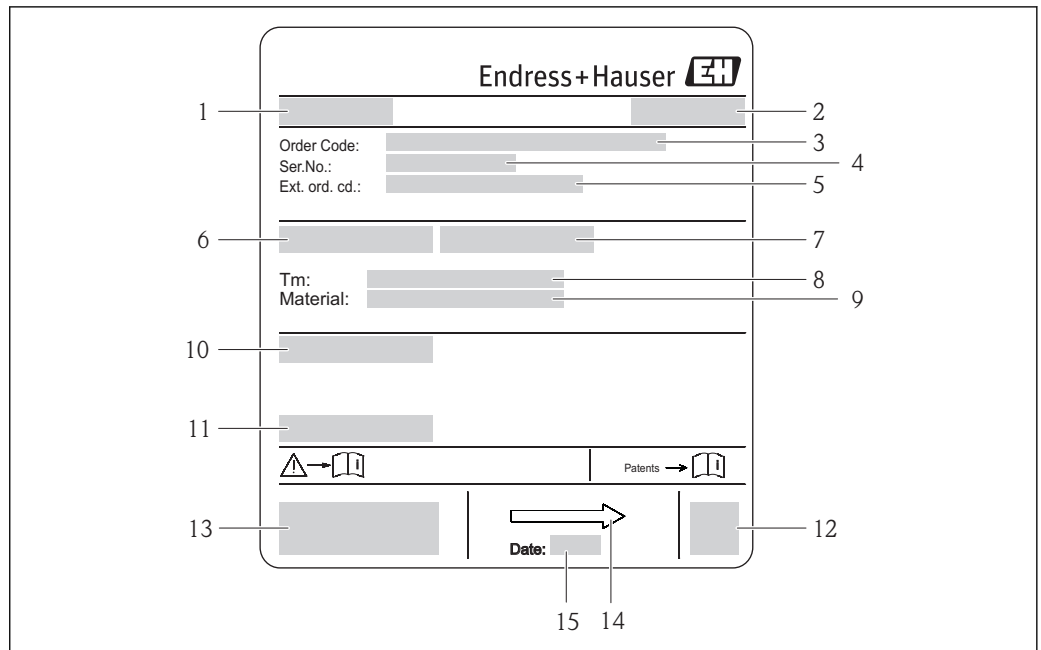


A0017520

図 2 変換器銘板の例

- 1 製造場所
- 2 変換器名
- 3 オーダーコード
- 4 シリアル番号
- 5 拡張オーダーコード
- 6 電気接続データ (例：入力、出力、電源電圧)
- 7 許容周囲温度範囲 ( $T_a$ )
- 8 保護等級
- 9 2-D マトリクスコード
- 10 安全関連の補足資料の資料番号
- 11 製造日：年/月
- 12 CE マーク、C-Tick
- 13 ファームウェアバージョン (FW)

## 4.2.2 センサの銘板



A0017186

図 3 センサ銘板の例

- 1 センサ名
- 2 製造場所
- 3 オーダーコード
- 4 シリアル番号 (Ser. no.)
- 5 拡張オーダーコード (Ext. ord. cd.)
- 6 センサ呼び口径
- 7 センサ試験圧力
- 8 流体温度範囲
- 9 ライニングおよび電極の材質
- 10 保護等級 (例: IP、NEMA)
- 11 許容周囲温度 ( $T_a$ )
- 12 2-D マトリクスコード
- 13 CE マーク、C-Tick
- 14 流れ方向
- 15 製造日: 年/月




### オーダーコード

機器の追加注文の際は、オーダーコードを使用してください。

#### 拡張オーダーコード

- 機器タイプ (製品ルートコード) と基本仕様 (必須仕様コード) を必ず記入します。
- オプション仕様 (オプション仕様コード) については、安全および認定に関する仕様のみを記入します (例: LA)。その他のオプション仕様も注文する場合、これは # 記号を用いて示されます (例: #LA#)。
- 注文したオプション仕様に安全および認定に関する仕様が含まれない場合は、+ 記号を用いて示されます (例: XXXXXX-ABCDE+)。

### 4.2.3 機器のシンボル

シンボル	意味
 A0011194	<b>警告</b> 危険な状況警告するシンボルです。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、大けが、爆発、火災の恐れがあります。
 A0011194	<b>資料参照</b> 対応する機器関連文書の参照指示
 A0011199	<b>保護アース端子</b> その他の接続を行う前に、接地接続する必要がある端子

## 5 保管および輸送

### 5.1 保管条件

保管する際は、次の点に注意してください。

- 衝撃を防止するため、納品に使用された梱包材を使って保管してください。
- プロセス接続部に取り付けられている保護カバーまたは保護キャップは外さないでください。これは、シール表面の機械的な損傷と計測チューブ内の汚染を防止するために必要です。
- 表面温度が許容範囲を超えないよう、直射日光があたらないようにしてください。
- ライニング損傷の原因となるカビやバクテリアの発生を防ぐため、機器内に湿気が溜まらない保管場所を選定してください。
- 乾燥した、粉塵のない場所に保管してください。
- 屋外に保管しないでください。
- 保管温度 → 98

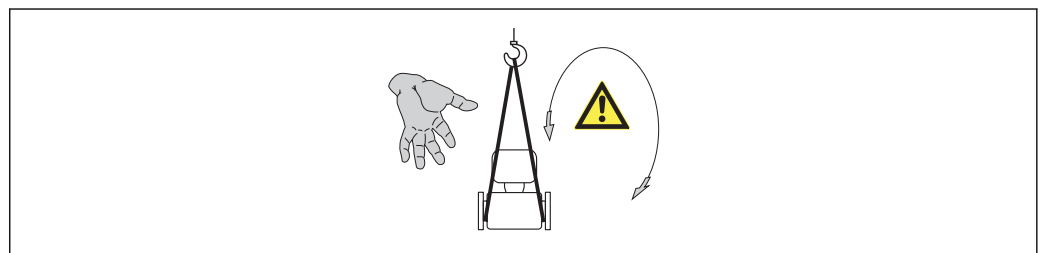
### 5.2 製品の運搬

#### 警告

**機器の重心は、吊り帯の吊り下げポイントより高い位置にあります。**

機器がずり落ちると人体に損傷を負わせる可能性があります。

- ▶ 機器が回転したり、ずり落ちたりしないようにしっかりと固定してください。
- ▶ 梱包材に明記された質量（貼付ラベル）に注意してください。
- ▶ 表示部のカバーの貼付ラベルに記載された輸送注意事項に注意してください。



A0015606

- i** ■ 納品に使用された梱包材を使って、機器を測定現場まで運搬してください。
- 吊り上げ装置
  - 吊り帯：ハウジングを損傷する可能性があるため、チェーンは使用しないでください。
  - 木枠の場合：フォークリフトを使用して長手方向または横方向に積み込める床構造となっています。
- 吊り帯を使用して機器をプロセス接続部で吊り上げます。変換器ハウジングでは吊り上げないでください。
- プロセス接続部に取り付けられている保護カバーまたは保護キャップは外さないでください。これは、シール表面の機械的な損傷と計測チューブ内の汚染を防止するために必要です。

## 5.3 梱包材の廃棄

梱包材はすべて環境にやさしく、100%リサイクル可能です。

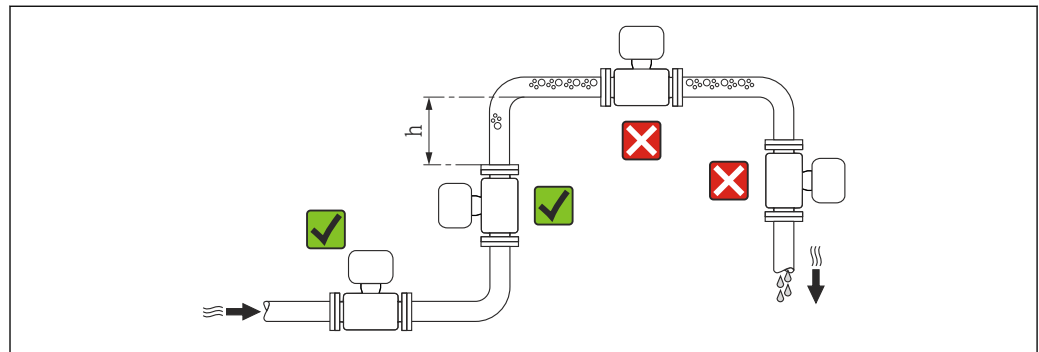
- 機器二次包装材：EC 指令 2002/95/EC (RoHS) 準拠のポリマー延伸フィルム
- 梱包材：
  - 木枠の処理は ISPM 15 規格に準拠、IPPC ログ刻印により承認  
または
  - 段ボール箱は欧州包装指令 94/62EC に準拠、RESY シンボルの貼付によりリサイクルの可能性を承認
- 海上輸送用梱包材 (オプション)：木枠の処理は ISPM 15 規格に準拠、IPPC ログ刻印により承認
- 輸送および固定具：
  - 使い捨てプラスチック製パレット
  - プラスチック製ストラップ
  - プラスチック製粘着テープ
- 緩衝材：ペーパークッション

## 6 取付け

### 6.1 設置条件

#### 6.1.1 取付位置

##### 取付位置



A0023343

垂直配管に設置することを推奨します。また、隣接する配管エルボとの間に十分な距離を確保してください。 $h \geq 2 \times DN$

計測チューブ内の気泡溜まりによる測定エラーを防止するため、以下の配管位置には取付けしないでください。

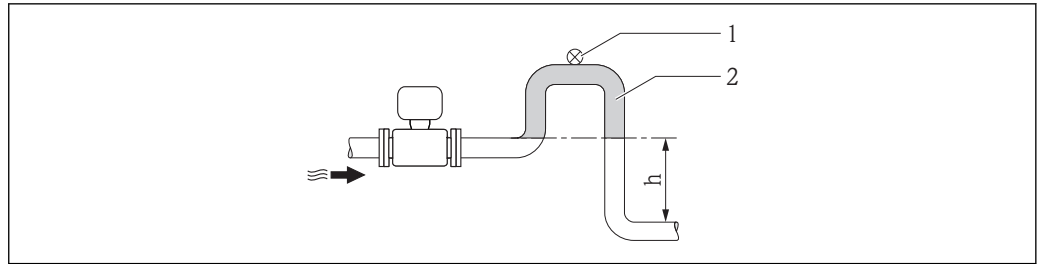
- 配管の最も高い位置
- 下り方向垂直配管の開放型排水口の直前

##### 下り配管への設置

長さ  $h \geq 5 \text{ m}$  (16.4 ft) の垂直配管では、センサ下流側に通気弁付きのサイフォンを取り付けます。この対策によって、圧力の低下や、結果として生じる計測チューブの損傷が避けられます。この措置によりシステムの劣化も防止できます。

**i** 部分真空に対するライニングの耐久性の詳細については、→ 99 を参照してください。





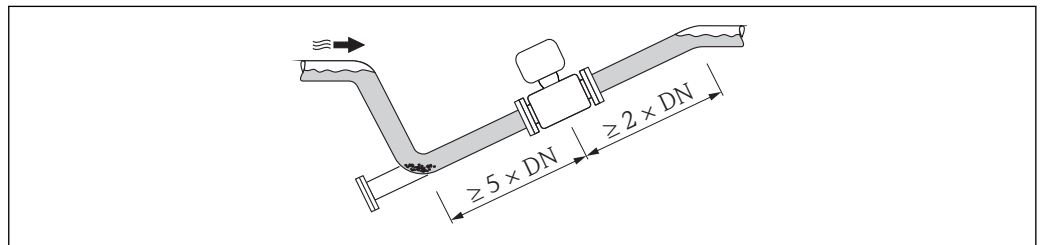
A0017064

図 4 下向きの配管への設置

- 1 通気弁
- 2 配管サイフォン
- h 下向きの配管の長さ

### 部分的に満管となる配管への設置

勾配のある、部分的に満管となる配管には、ドレン型の取付が必要です。空検知機能 (EPD) で空/部分的に空の状態を検知することにより安全性がさらに高まります。



A0017063

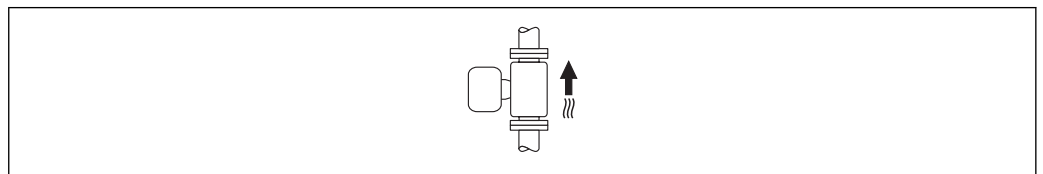
### 取付方向

センサの型式銘板に表示された矢印の方向が、流れ方向（配管を流れる測定物の方向）に従ってセンサを取り付ける際に役立ちます。

適切な取付方向にすることにより、計測チューブ内の気泡、空気溜まり、堆積物の発生を防止できます。

本機器には空検知機能も装備されているため、気体が発生する流体またはプロセス圧力が変動する場合に、部分的に満たされた状態の計測チューブを検知できます。

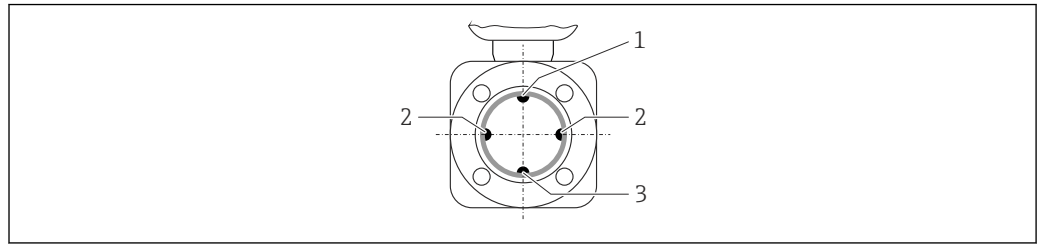
### 垂直取付



A0015591

これは、自己排出配管系や空検知機能での使用に最適です。

## 水平取付



A0016260

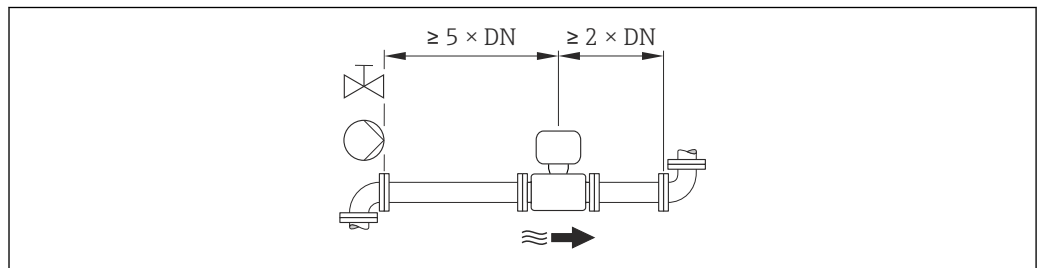
- 1 EPD 電極 (空検知用)
- 2 測定電極 (信号検知用)
- 3 基準電極 (電位平衡用)

- i** 測定電極面は水平でなければなりません。それによって、電極間に気泡が混入して絶縁状態になるのを防ぎます。
- 変換器ハウジングが上向きの場合のみ空検知機能が作動します。上向きでない場合は、空または一部が満たされた計測チューブに対する空検知機能を保証できません。

## 上流側/下流側直管長

可能であれば、バルブ、ティー、エルボなどの継手より上流側にセンサ取り付けてください。

精度仕様を満たすため、以下の上流側/下流側直管長を順守してください。



A0016275

## 設置寸法

- i** 機器の外形寸法および取付寸法については、「技術仕様書」の「構造」の章を参照してください。

## 6.1.2 環境およびプロセスの要件

### 周囲温度範囲

変換器	-40~+60 °C (-40~+140 °F)
センサ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロセス接続材質、炭素鋼：-10~+60 °C (+14~+140 °F)</li> <li>■ プロセス接続材質、ステンレス：-40~+60 °C (-40~+140 °F)</li> </ul>
ライニング	ライニングの許容温度範囲を超過/下回らないようにしてください → 99。

屋外で使用する場合：

- 本機器は日陰に設置してください。
- 特に高温地域では直射日光は避けてください。
- 気象条件下に直接さらさないでください。

## 温度表

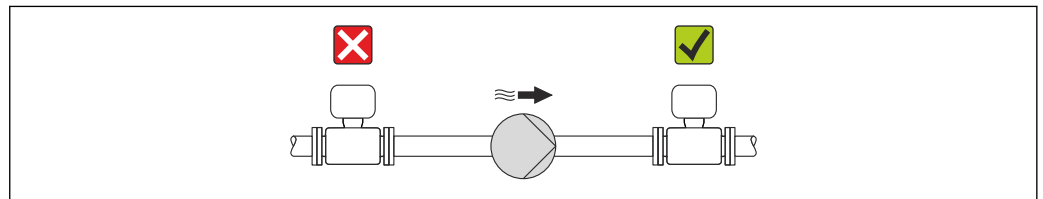
### SI 単位

T <sub>a</sub> [°C]	T6 [85 °C]	T5 [100 °C]	T4 [135 °C]	T3 [200 °C]	T2 [300 °C]	T1 [450 °C]
30	50	95	130	150	150	150
50	-	95	130	150	150	150
60	-	95	110	110	110	110

### US 単位

T <sub>a</sub> [°F]	T6 [185 °F]	T5 [212 °F]	T4 [275 °F]	T3 [392 °F]	T2 [572 °F]	T1 [842 °F]
86	122	203	266	302	302	302
122	-	203	266	302	302	302
140	-	203	230	230	230	230

## 使用圧力



A0015594

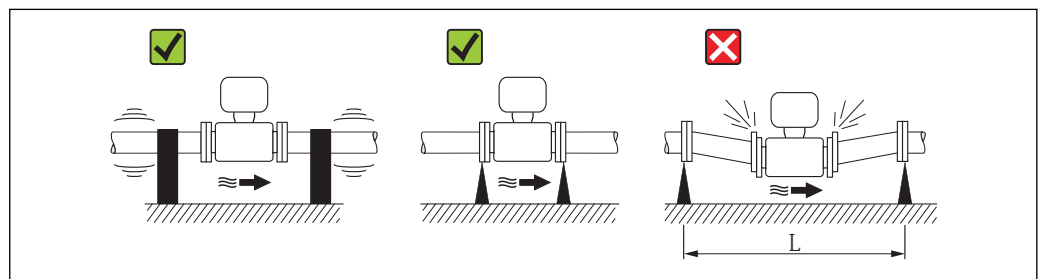
圧力低下の恐れと、それに伴う計測チューブの損傷を防ぐために、本センサをポンプの負圧側に絶対に取り付けしないでください。

- i** また、往復ポンプ、ダイヤフラムポンプ、あるいは蠕動式ポンプを使用する場合は、パルスダンパーを取り付けてください。
- i**
  - 部分真空に対するライニングの耐久性の詳細については、→ 図 99 を参照してください。
  - 計測システムの耐衝撃性に関する情報 → 図 98
  - 計測システムの耐振動性に関する情報 → 図 98

## 振動

振動が激しい場合は、配管やセンサを支持・固定する必要があります。

- i** 計測システムの耐衝撃性に関する情報 → 図 98
- 計測システムの耐振動性に関する情報 → 図 98




A0016266

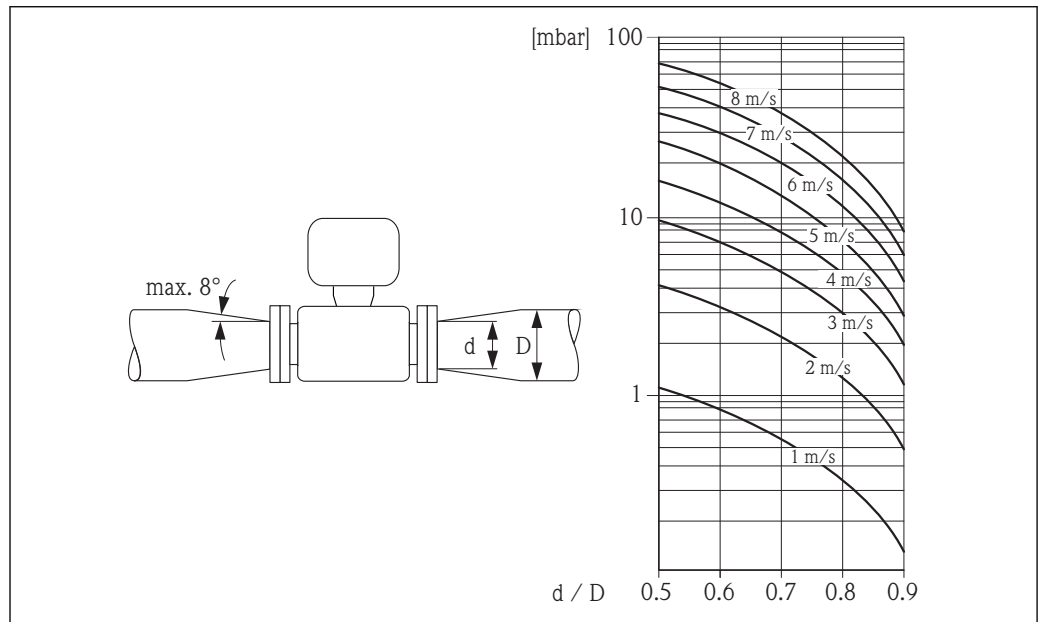
図 5 機器振動の防止対策 (L > 10 m (33 ft))

## アダプタの使用

DIN EN 545 に準拠したアダプタ（レデューサおよびエキスパンダ）を使用することで、より大口径の配管への接続が可能です。これにより、流速を高めて高精度の測定を行うことができます。アダプタによって生じる圧力損失は、以下のノモグラムを用いて算出できます。

 このノモグラムは水と同程度の粘度の液体に適用されます。

1. 内外径比： $d/D$  を計算します。
2. ノモグラムから、流速（レデューサの下流）と  $d/D$  比率の関数としての圧力損失を読み取ってください。



## 6.2 機器の取付け

### 6.2.1 必要な工具

#### センサ用

フランジおよびその他のプロセス接続用：

- ネジ、ナット、シールなどは納入範囲に含まれないため、ユーザー側で用意する必要があります。
- 適切な取付工具

### 6.2.2 機器の準備

1. 残っている輸送梱包材をすべて取り除きます。
2. センサから保護カバーまたは保護キャップをすべて取り外します。
3. 表示部のカバーに付いているステッカーをはがします。

### 6.2.3 センサの取付け

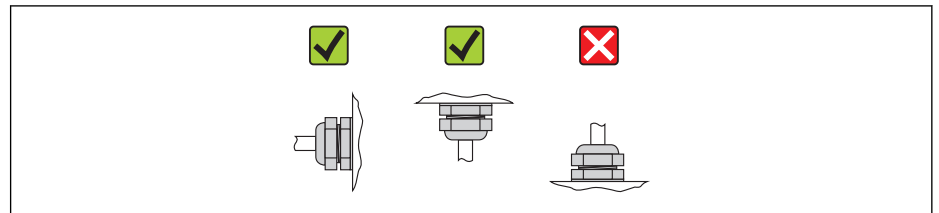
#### ⚠ 警告

プロセスの密閉性が不適切な場合、危険が及ぶ可能性があります。

- ▶ ガasketの内径がプロセス接続や配管と同等かそれより大きい確認してください。
- ▶ ガasketに汚れや損傷がないことを確認してください。
- ▶ ガasketは正しく取り付けてください。

1. センサに記載されている矢印が、測定物の流れ方向と一致しているか確認します。
2. 機器仕様を遵守するため、機器が測定セクションの中心に位置するように、配管フランジの間に設置してください。
3. アースリングを使用する場合は、取付指示に従ってください。
4. 必要なネジ締め付けトルクを遵守してください → ㉮ 21。
5. 電線管接続口が上を向かないように機器を取り付けるか、変換器ハウジングを回転させます。

↳



A0013964

#### シールの取付け

#### ⚠ 注意

計測チューブの内側に導電性の層が形成される可能性があります。

測定信号が短絡する恐れがあります。

- ▶ 黒鉛などの導電性シールコンパウンドは使用しないでください。

シールの取り付けには以下の点にご注意ください：

- プロセス接続を取り付けるときは、関係するシールに汚れがなく、正しくセンタリングされていることを確認してください。
- DIN フランジの場合：DIN EN 1514-1 準拠のシールのみを使用してください。
- 「PFA」ライニングの場合：追加のシールが**必ず**必要です。
- 「PTFE」ライニングの場合：通常は追加のシールが**不要**です。

#### 接地ケーブル/アースリングの取付け

接地ケーブル/アースリングを使用する場合は、電位平衡に関する注意事項および詳細な取付指示に従ってください → ㉮ 30。

#### ねじ締め付けトルク

以下の点に注意してください。

- 以下のリストに記載するネジ締め付けトルクは、潤滑剤付きネジと引っ張り応力のかからない配管のみに適用されます。
- ネジは対角線上に順番に均一に締め付けてください。
- ネジを締めすぎると、シール面が変形したりシールが破損します。

#### EN 1092-1 (DIN 2501), PN 40/25 準拠のネジ締め付けトルク

呼び口径 [mm]	圧力定格 [bar]	ネジ [mm]	最大ネジ締め付けトルク [Nm]	
			PTFE	PFA
15	PN 40	4 × M12	11	-
25	PN 40	4 × M12	26	20

呼び口径 [mm]	圧力定格 [bar]	ネジ [mm]	最大ネジ締め付けトルク [Nm]	
			PTFE	PFA
32	PN 40	4 × M16	41	35
40	PN 40	4 × M16	52	47
50	PN 40	4 × M16	65	59
65 <sup>1)</sup>	PN 16	8 × M16	43	40
65	PN 40	8 × M16	43	40
80	PN 16	8 × M16	53	48
80	PN 40	8 × M16	53	48
100	PN 16	8 × M16	57	51
100	PN 40	8 × M20	78	70
125	PN 16	8 × M16	75	67
125	PN 40	8 × M24	111	99
150	PN 16	8 × M20	99	85
150	PN 40	8 × M24	136	120
200	PN 10	8 × M20	141	101
200	PN 16	12 × M20	94	67
200	PN 25	12 × M24	138	105
250	PN 10	12 × M20	110	-
250	PN 16	12 × M24	131	-
250	PN 25	12 × M27	200	-
300	PN 10	12 × M20	125	-
300	PN 16	12 × M24	179	-
300	PN 25	16 × M27	204	-
350	PN 10	16 × M20	188	-
350	PN 16	16 × M24	254	-
350	PN 25	16 × M30	380	-
400	PN 10	16 × M24	260	-
400	PN 16	16 × M27	330	-
400	PN 25	16 × M33	488	-
450	PN 10	20 × M24	235	-
450	PN 16	20 × M27	300	-
450	PN 25	20 × M33	385	-
500	PN 10	20 × M24	265	-
500	PN 16	20 × M30	448	-
500	PN 25	20 × M33	533	-
600	PN 10	20 × M27	345	-
600 <sup>1)</sup>	PN 16	20 × M33	658	-
600	PN 25	20 × M36	731	-

1) EN 1092-1 に準拠 (DIN 2501 には準拠していません)

## ASME B16.5, Class 150/300 準拠のネジ締め付けトルク

呼び口径		圧力定格 [psi]	ネジ [in]	最大ネジ締め付けトルク [Nm] ([lbf ft])	
[mm]	[in]			PTFE	PFA
15	½	Class 150	4 × ½	6 (4)	- (-)
15	½	Class 300	4 × ½	6 (4)	- (-)
25	1	Class 150	4 × ½	11 (8)	10 (7)
25	1	Class 300	4 × 5/8	14 (10)	12 (9)
40	1 ½	Class 150	4 × ½	24 (18)	21 (15)
40	1 ½	Class 300	4 × ¾	34 (25)	31 (23)
50	2	Class 150	4 × 5/8	47 (35)	44 (32)
50	2	Class 300	8 × 5/8	23 (17)	22 (16)
80	3	Class 150	4 × 5/8	79 (58)	67 (49)
80	3	Class 300	8 × ¾	47 (35)	42 (31)
100	4	Class 150	8 × 5/8	56 (41)	50 (37)
100	4	Class 300	8 × ¾	67 (49)	59 (44)
150	6	Class 150	8 × ¾	106 (78)	86 (63)
150	6	Class 300	12 × ¾	73 (54)	67 (49)
200	8	Class 150	8 × ¾	143 (105)	109 (80)
250	10	Class 150	12 × 7/8	135 (100)	- (-)
300	12	Class 150	12 × 7/8	178 (131)	- (-)
350	14	Class 150	12 × 1	260 (192)	- (-)
400	16	Class 150	16 × 1	246 (181)	- (-)
450	18	Class 150	16 × 1 1/8	371 (274)	- (-)
500	20	Class 150	20 × 1 1/8	341 (252)	- (-)
600	24	Class 150	20 × 1 ¼	477 (352)	- (-)

## JIS B2220, 10/20K 準拠のネジ締め付けトルク

呼び口径 [mm]	圧力定格 [bar]	ネジ [mm]	最大ネジ締め付けトルク [Nm]	
			PTFE	PFA
25	10K	4 × M16	32	27
25	20K	4 × M16	32	27
32	10K	4 × M16	38	-
32	20K	4 × M16	38	-
40	10K	4 × M16	41	37
40	20K	4 × M16	41	37
50	10K	4 × M16	54	46
50	20K	8 × M16	27	23
65	10K	4 × M16	74	63
65	20K	8 × M16	37	31
80	10K	8 × M16	38	32
80	20K	8 × M20	57	46
100	10K	8 × M16	47	38
100	20K	8 × M20	75	58

呼び口径 [mm]	圧力定格 [bar]	ネジ [mm]	最大ネジ締め付けトルク [Nm]	
			PTFE	PFA
125	10K	8 × M20	80	66
125	20K	8 × M22	121	103
150	10K	8 × M20	99	81
150	20K	12 × M22	108	72
200	10K	12 × M20	82	54
200	20K	12 × M22	121	88
250	10K	12 × M22	133	-
250	20K	12 × M24	212	-
300	10K	16 × M22	99	-
300	20K	16 × M24	183	-

#### AS 2129, Table E 準拠のネジ締め付けトルク

呼び口径 [mm]	ネジ [mm]	最大ネジ締め付けトルク [Nm]
		PTFE
25	4 × M12	21
50	4 × M16	42

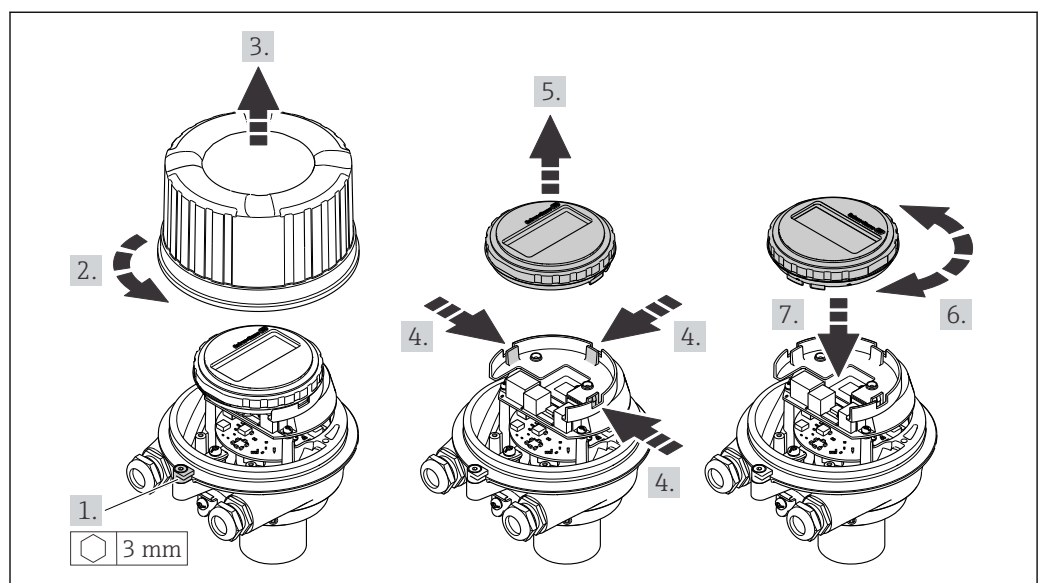
#### AS 4087, PN 16 準拠のネジ締め付けトルク

呼び口径 [mm]	ネジ [mm]	最大ネジ締め付けトルク [Nm]
		PTFE
50	4 × M16	42

### 6.2.4 表示モジュールの回転

表示モジュールを回転させて、表示部の視認性を最適化することが可能です。

ハウジングの種類：アルミニウム、AlSi10Mg、塗装



A0023192



### 6.3 設置状況の確認

機器は損傷していないか？（外観検査）	<input type="checkbox"/>
機器が測定ポイントの仕様を満たしているか？ 例： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロセス温度</li> <li>■ プロセス圧力（技術仕様書の「圧力温度曲線」セクションを参照）</li> <li>■ 周囲温度</li> <li>■ 測定範囲</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
センサの正しい取付方向が選択されているか？ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ センサタイプに応じて</li> <li>■ 測定物温度に応じて</li> <li>■ 測定物特性に応じて（気泡、固形分が含まれる）</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
センサの銘板にある矢印が配管内を流れる流体の方向に適合しているか？	<input type="checkbox"/>
測定ポイントの識別番号とそれに対応する銘板は正しいか（外観検査）？	<input type="checkbox"/>
機器が湿気あるいは直射日光から適切に保護されているか？	<input type="checkbox"/>
固定ネジが、それぞれの正しい締め付けトルクで締め付けられているか？	<input type="checkbox"/>

## 7 電気接続

**i** 本機器には内蔵の回路遮断器がありません。そのため、電源ラインを簡単に主電源から切り離せるようにするためのスイッチまたは電力回路遮断器を機器に割り当てる必要があります。

### 7.1 接続条件

#### 7.1.1 必要な工具

- 電線管接続口用：適切な工具を使用
- (アルミハウジングの) 固定クランプ用：六角ボルト 3 mm
- (ステンレスハウジングの) 固定クランプ用：スパナ 8 mm
- 電線ストリッパー
- より線ケーブルを使用する場合：スリーブ用の圧着工具

#### 7.1.2 接続ケーブルの要件

ユーザー側で用意する接続ケーブルは、以下の要件を満たす必要があります。

#### 電気の安全性

適用される各地域/各国の規定に準拠

#### 許容温度範囲

- $-40^{\circ}\text{C}$  ( $-40^{\circ}\text{F}$ )  $\sim$   $+80^{\circ}\text{C}$  ( $+176^{\circ}\text{F}$ )
- 最低要件：ケーブル温度範囲  $\geq$  周囲温度  $+20\text{ K}$

#### 電源ケーブル

一般的な接続ケーブルをご使用いただけます。

#### 信号ケーブル

##### 電流出力

4~20 mA HART 用：シールドケーブルを推奨。プラントの接地コンセプトに従ってください。

##### パルス/周波数/スイッチ出力

一般的な接続ケーブルをご使用いただけます。

#### ケーブル径

- 提供されるケーブルグランド：  
M20  $\times$  1.5、 $\phi$  6~12 mm (0.24~0.47 in) ケーブル用
- スプリング端子：  
ケーブル断面積 0.5~2.5 mm<sup>2</sup> (20~14 AWG)

### 7.1.3 端子の割当て

#### 変換器

接続の種類 4~20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力

「出力」のオーダーコード、オプション B

ハウジングの種類に応じて、変換器は端子または機器プラグ付きで注文できます。

「ハウジング」の オーダーコード	使用可能な接続方法		オーダーコード 「電気接続」の可能なオプション
	出力	電源	
オプション A	端子	端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オプション A : グランド M20x1</li> <li>■ オプション B : ネジ M20x1</li> <li>■ オプション C : ネジ G ½"</li> <li>■ オプション D : ネジ NPT ½"</li> </ul>
オプション A	機器プラグ	端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オプション L : プラグ M12x1 + ネジ NPT ½"</li> <li>■ オプション N : プラグ M12x1 + カップリング M20</li> <li>■ オプション P : プラグ M12x1 + ネジ G ½"</li> <li>■ オプション U : プラグ M12x1 + ネジ M20</li> </ul>
オプション A	機器プラグ	機器プラグ	オプション Q : 2 x プラグ M12x1

「ハウジング」のオーダーコード：  
オプション A : 一体型、塗装アルミダイカスト

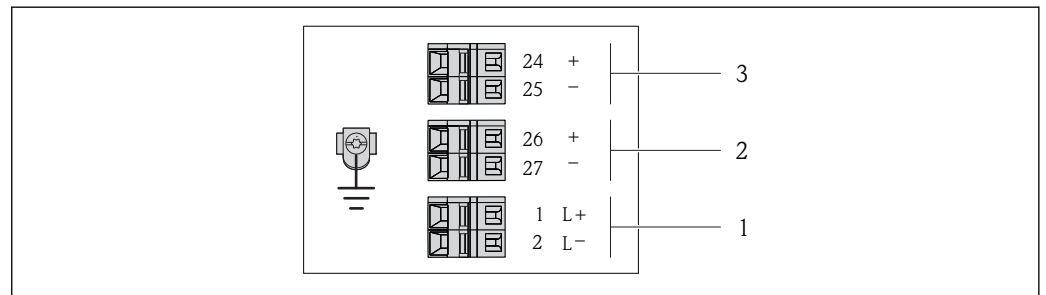


図 6 端子の割当て 4~20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力付き

- 1 電源 : DC 24 V
- 2 出力 1 : 4~20 mA HART (アクティブ)
- 3 出力 2 : パルス/周波数/スイッチ出力 (パッシブ)

「出力」のオーダーコード	端子番号					
	電源		出力 1		出力 2	
	2 (L-)	1 (L+)	27 (-)	26 (+)	25 (-)	24 (+)
オプション B	DC 24 V		4~20 mA HART (アクティブ)		パルス/周波数/スイッチ出力 (パッシブ)	

「出力」のオーダーコード：  
オプション B : 4~20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力付き

### 7.1.4 機器プラグのピンの割当て

4 ~ 20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力付き  
電源用の機器プラグ（機器側）

ピン	割当て		コード	プラグ/ソケット
	記号	説明		
1	L+	DC 24 V	A	プラグ
2				
3				
4	L-	DC 24 V		
5		接地/シールド		

信号伝送用の機器プラグ（機器側）

ピン	割当て		コード	プラグ/ソケット
	記号	説明		
1	+	4~20 mA HART (アクティブ)	A	ソケット
2	-	4~20 mA HART (アクティブ)		
3	+	パルス/周波数/スイッチ出力 (パッシブ)		
4	-	パルス/周波数/スイッチ出力 (パッシブ)		
5		接地/シールド		

### 7.1.5 機器の準備

1. ダミープラグがある場合は、これを取り外します。

2. **注記**

**ハウジングの密閉性が不十分な場合。**

機器の動作信頼性が損なわれる可能性があります。

▶ 保護等級に対応する適切なケーブルグランドを使用してください。

機器にケーブルグランドが同梱されていない場合：

接続ケーブルに対応する適切なケーブルグランドを用意してください → 図 26。

3. 機器にケーブルグランドが同梱されている場合：

ケーブル仕様に注意してください → 図 26。

## 7.2 機器の接続

**注記**

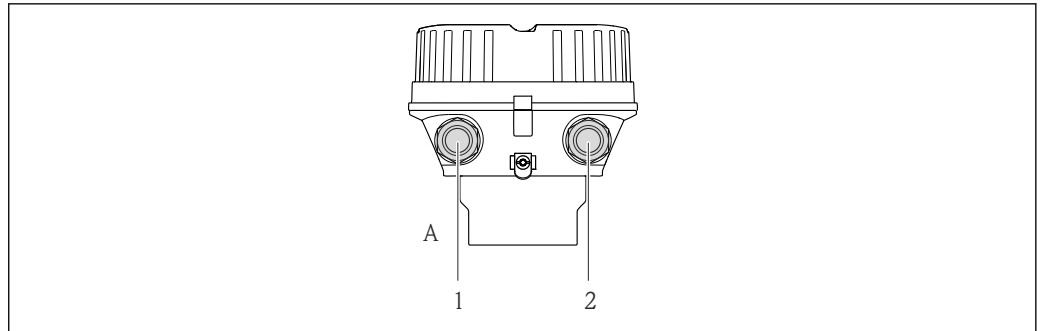
**不適切な接続により電気的安全性が制限されます。**

- ▶ 電気配線作業は、相応の訓練を受けた専門作業員のみが実施してください。
- ▶ 適用される各地域/各国の設置法規を遵守してください。
- ▶ 各地域の労働安全規定に従ってください。
- ▶ 爆発性雰囲気中で使用する場合は、機器固有の防爆資料の注意事項をよく読んでください。

### 7.2.1 変換器の接続

変換器の接続は、以下のオーダーコードに応じて異なります。

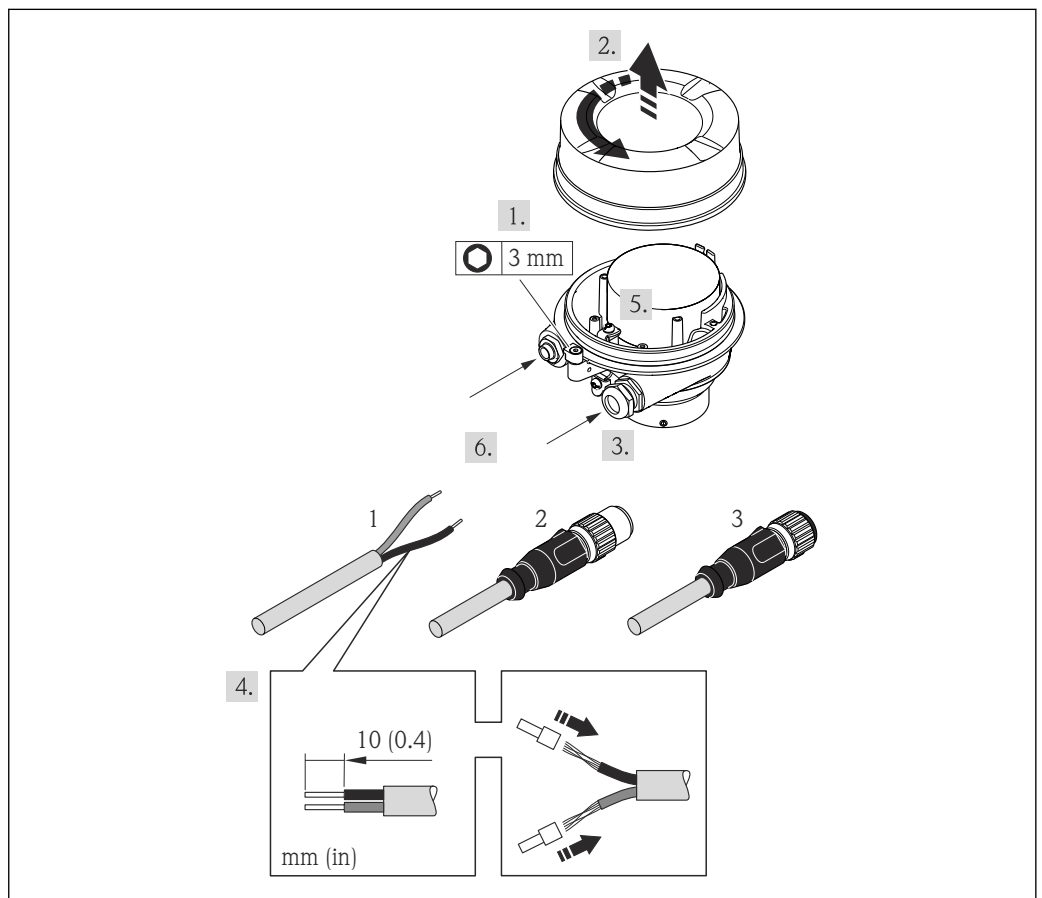
- ハウジングの種類：一体型またはウルトラコンパクト
- 接続の種類：機器プラグまたは端子



A0019824

#### 図 7 機器の型および接続の種類

- Aハウジングの種類：一体型、塗装アルミダイカスト  
 1 信号伝送用の電線管接続口または機器プラグ  
 2 電源用の電線管接続口または機器プラグ



A0019823

#### 図 8 機器の型と接続の例

- 1 ケーブル  
 2 信号伝送用の機器プラグ  
 3 電源用の機器プラグ

機器プラグ付き機器の場合：手順 6 にのみ注意してください。

1. ハウジングの種類に応じて、ハウジングカバーの固定クランプまたは固定ネジを緩めます。
2. ハウジングの種類に応じてハウジングカバーを開くか緩めて外し、必要に応じて、現場表示器をメイン電子モジュールから取り外します → 105。
3. 電線管接続口からケーブルを挿入します。気密性を確保するため、電線管接続口のシールリングは外さないでください。

4. ケーブルおよびケーブル終端の被覆を剥がします。より線ケーブルを使用する場合は、スリーブも取り付けます。
5. 端子の割当てまたは機器プラグピンの割当てに従ってケーブルを接続します。
6. 機器の型に応じて：ケーブルグランドを締め付けるか、機器プラグを差し込んで締め付けます。
7. **警告**

ハウジングの密閉性が不十分な時には、ハウジング保護等級が無効になる場合があります。

- ▶ 潤滑剤を用いずにねじ込んでください。カバーのネジ部にはドライ潤滑コーティングが施されています。

変換器を再度取り付ける場合は、取り外しと逆の手順を実施してください。

### 7.2.2 電位平衡の確保

#### **注意**

電極の損傷により機器の故障が引き起こされる可能性があります。

- ▶ 流体およびセンサの電位平衡が同じになるように注意してください。
- ▶ 会社の社内接地コンセプトに注意してください。
- ▶ 配管の材質または接地に注意してください。

#### 一般的な状況での接続例

##### 接地した金属配管

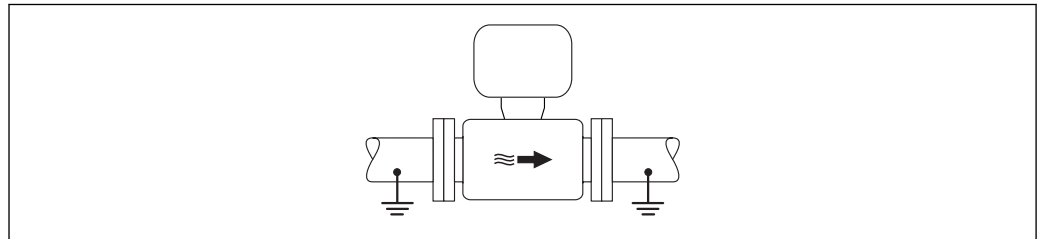


図 9 計測チューブを介した電位平衡

#### 特殊な状況での接続例

##### ライニングのない、接地されていない金属製配管

この接続方法は、以下の状況でも適用されます。

- 一般的でない電位平衡が行なわれる場合
- 等化電流がある場合

接地ケーブル	銅線、最低 6 mm <sup>2</sup> (0.0093 in <sup>2</sup> )
--------	---

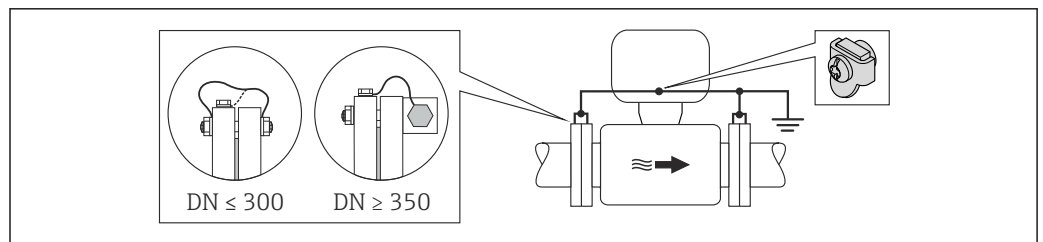


図 10 接地端子および配管フランジを介した電位平衡

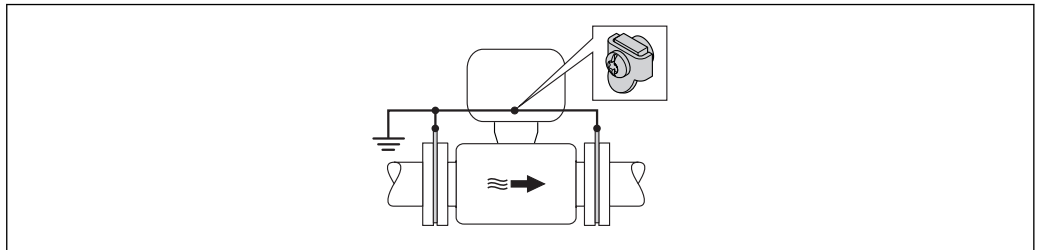
1. 接地ケーブルを介して両方のセンサフランジを配管フランジに接続し、接地します。
2. 呼び口径  $\leq 300$  mm (12") の場合：接地ケーブルを直接、センサの導電性のあるフランジコーティングにフランジねじで取り付けます。呼び口径  $\geq 350$  mm (14") の場合：接地ケーブルを直接、運搬用金属ブラケットに取り付けます。トルクに注意してください → 図 21。
3. 変換器またはセンサの接続ハウジングは、該当する場合は専用の接地端子を介して接地電位に接続します。

### プラスチック配管または絶縁ライニング付きの配管

この接続方法は、以下の状況でも適用されます。

- 一般的でない電位平衡が行なわれる場合
- 等化電流がある場合

接地ケーブル	銅線、最低 $6 \text{ mm}^2$ (0.0093 in <sup>2</sup> )
--------	--



A0016318

図 11 接地端子およびアースリングを介した電位平衡

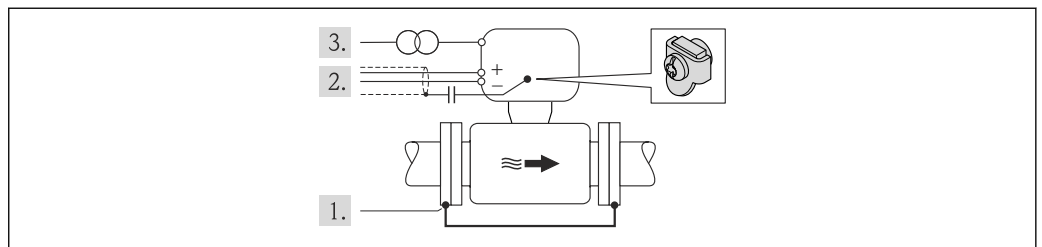
1. 接地ケーブルを介してアースリングを接地端子に接続します。
2. アースリングを接地電位に接続します。

### カソード保護

以下の 2 つの条件に合う場合のみ、この接続方法を採用できます。

- ライニングのない金属配管、または導電性ライニング付きの配管
- 個人保護装置にカソード保護が含まれる場合

接地ケーブル	銅線、最低 $6 \text{ mm}^2$ (0.0093 in <sup>2</sup> )
--------	--



A0016319

必須条件：電氣的に絶縁された状態になるよう、センサを配管に取り付けます。

1. 接地ケーブルを介して配管の 2 つのフランジを相互に接続します。
2. 信号線のシールドを、コンデンサを介して接続します。
3. 保護接地に対してフローティングになるよう、機器を電源に接続します（絶縁変圧器）。

## 7.3 特別な接続指示

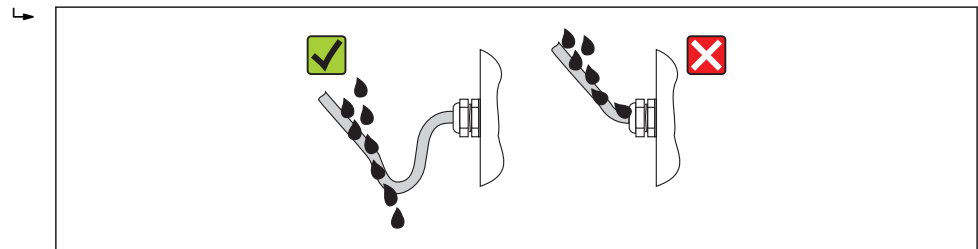
### 7.3.1 接続例

## 7.4 保護等級の保証

本機器は、IP66/67 保護等級、タイプ 4X エンクロージャのすべての要件を満たしています。

IP 66 および IP 67 保護等級、タイプ 4X エンクロージャを保証するため、電気接続の後、次の手順を実施してください。

1. ハウジングシールに汚れがなく、適切に取り付けられているか確認してください。必要に応じて、シールの乾燥、清掃、交換を行います。
2. ハウジングのネジやカバーをすべてしっかりと締め付けます。
3. ケーブルグランドをしっかりと締め付けます。
4. 電線管接続口に水滴が侵入しないように、電線管接続口の手前でケーブルが下方に垂れるように配線してください（「ウォータートラップ」）。



A0013960

5. 使用しない電線管接続口にはダミープラグを挿入します。

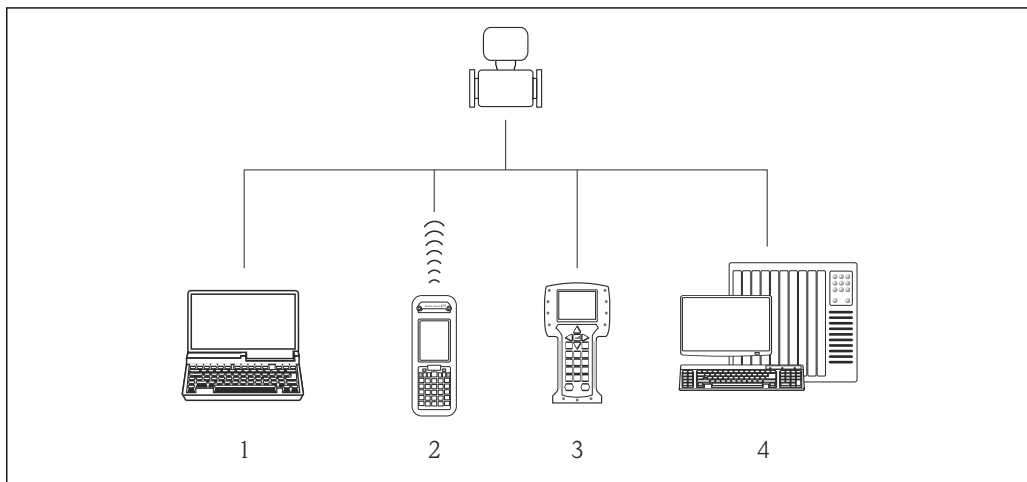
## 7.5 配線状況の確認

ケーブルあるいは機器に損傷はないか（外観検査）？	<input type="checkbox"/>
ケーブルの仕様は正しいか → 図 26？	<input type="checkbox"/>
ケーブルに適切なストレインリリーフがあるか？	<input type="checkbox"/>
すべてのケーブルグランドが取り付けられ、しっかりと固定され、密閉されているか？ハウジングに進入するケーブルに、「ウォータートラップ」が設けられているか → 図 32？	<input type="checkbox"/>
注文した機器の型に応じて：すべての機器プラグがしっかりと固定されているか → 図 28？	<input type="checkbox"/>
電源電圧が変換器銘板の仕様に適合しているか → 図 96？	<input type="checkbox"/>
機器プラグの端子の割当てまたはピンの割当てが正しいか？	<input type="checkbox"/>
電源が供給されている場合、変換器の電子モジュールの電源 LED が緑色に点灯しているか → 図 10？	<input type="checkbox"/>
電位平衡が正しく取れているか → 図 30？	<input type="checkbox"/>
注文した機器の型に応じて、固定クランプまたは固定ネジがしっかりと締め付けられているか？	<input type="checkbox"/>



## 8 操作オプション

### 8.1 操作オプションの概要



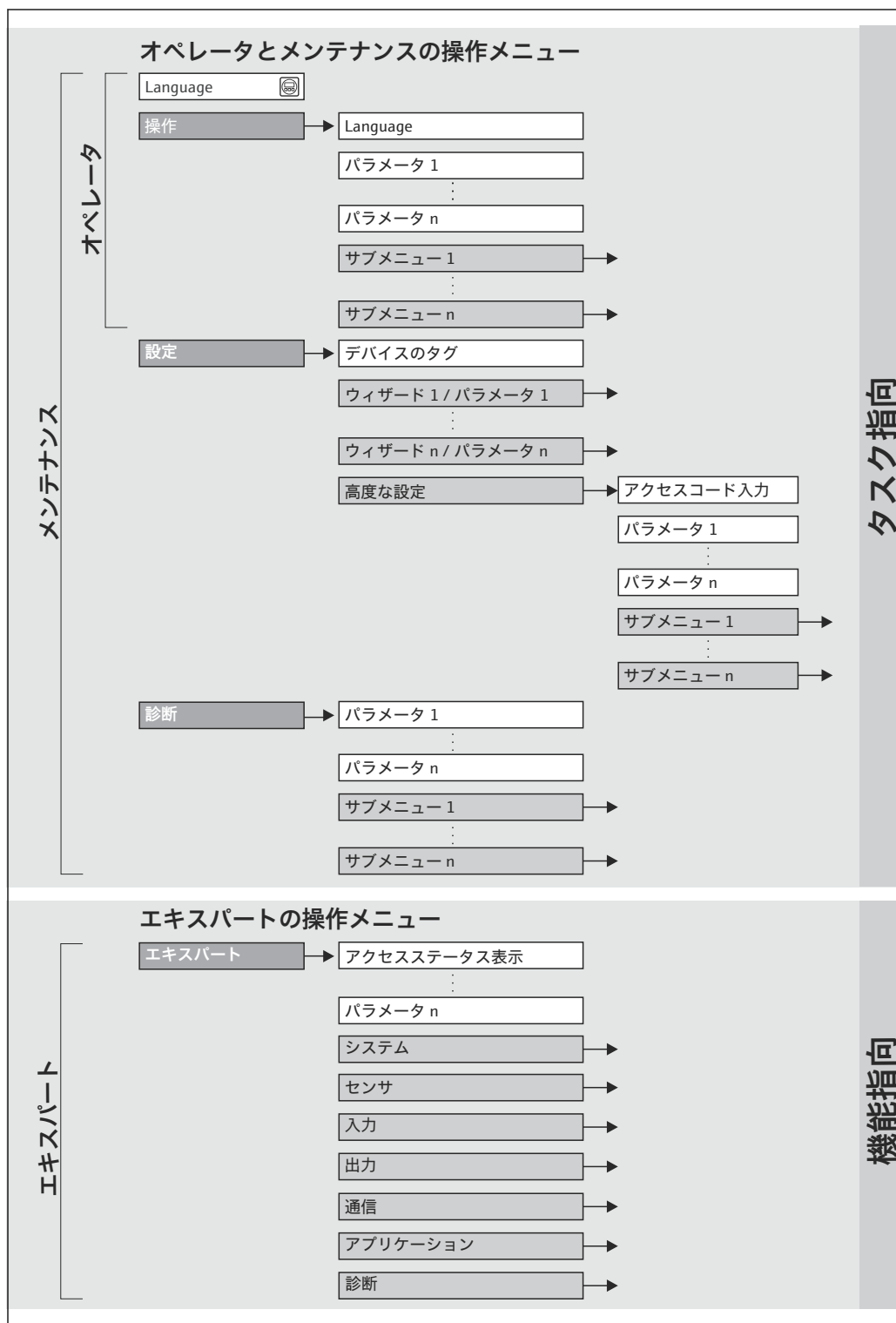
A0019598

- 1 ウェブブラウザ（例：Internet Explorer）または操作ツール（例：FieldCare、AMS Device Manager、SIMATIC PDM）搭載のコンピュータ
- 2 Field Xpert SFX350 または SFX370
- 3 Field Communicator 475
- 4 制御システム（例：PLC）

## 8.2 操作メニューの構成と機能

### 8.2.1 操作メニューの構成

**i** 操作メニューの概要 (メニューおよびパラメータを含む)



12 操作メニューの概要構成

A0018237-JA

## 8.2.2 操作指針

操作メニューの個別の要素は、特定のユーザーの役割に割り当てられています。各ユーザーの役割は、機器ライフサイクル内の標準的な作業に対応します。

メニュー		ユーザの役割と作業	内容/意味
言語	タスク指向	<b>「オペレータ」、「メンテナンス」の役割</b> 運転中の作業： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 操作画面表示の設定</li> <li>■ 測定値の読取り</li> </ul>	操作言語の設定
操作			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 操作画面表示の設定（例：表示形式、表示のコントラスト）</li> <li>■ 積算計のリセットおよびコントロール</li> </ul>
設定		<b>「メンテナンス」の役割</b> 設定： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 測定の設定</li> <li>■ 入力および出力の設定</li> </ul>	<b>「高度な設定」サブメニュー：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ より高度にカスタマイズされた測定の設定（特殊な測定条件に対応）</li> <li>■ 積算計の設定</li> <li>■ 電極洗浄の設定（オプション）</li> <li>■ 管理（アクセスコード設定、機器リセット）</li> </ul>
診断		<b>「メンテナンス」の役割</b> エラー解除： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロセスおよび機器エラーの診断と解消</li> <li>■ 測定値シミュレーション</li> </ul>	エラー検出、プロセスおよび機器エラー分析用のパラメータがすべて含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>「診断リスト」サブメニュー</b> 現在未処理の診断メッセージが最大 5 件含まれます。</li> <li>■ <b>「イベントログブック」サブメニュー</b> 発生したイベントメッセージが最大 20 件または 100 件（オプション「HistoROM 拡張機能」を選択した場合）含まれます。</li> <li>■ <b>「機器情報」サブメニュー</b> 機器識別用の情報が含まれます。</li> <li>■ <b>「測定値」サブメニュー</b> すべての現在の測定値が含まれます。</li> <li>■ <b>「データのログ」サブメニュー（オプション「HistoROM 拡張機能」）</b> 最大 1000 個の測定値の保存と表示</li> <li>■ <b>「Heartbeat Technology」サブメニュー</b> 必要に応じて機器の機能をチェックし、検証結果が記録されます。</li> <li>■ <b>「シミュレーション」サブメニュー</b> 測定値または出力値のシミュレーションに使用</li> </ul>
エキスパート	機能指向	機器の機能に関してより詳細な知識が要求される作業： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各種条件下における測定の設定</li> <li>■ 各種条件下における測定の最適化</li> <li>■ 通信インターフェイスの詳細設定</li> <li>■ 難しいケースにおけるエラー診断</li> </ul>	すべての機器パラメータが含まれており、アクセスコードを使用して直接これらのパラメータにアクセスすることが可能です。メニュー構造は機器の機能ブロックに基づいています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>「システム」サブメニュー</b> 測定または測定値の通信に関係しない、高次の機器パラメータがすべて含まれます。</li> <li>■ <b>「センサ」サブメニュー</b> 測定の設定</li> <li>■ <b>「アプリケーション」サブメニュー</b> 実際の測定を超える機能（例：積算計）の設定</li> <li>■ <b>「診断」サブメニュー</b> 機器シミュレーションおよび Heartbeat Technology 用、プロセスおよび機器エラーの検出と分析</li> </ul>


## 8.3 ウェブブラウザによる操作メニューへのアクセス

### 8.3.1 機能範囲

搭載されたウェブサーバにより、本機器はウェブブラウザを使用して操作と設定を行うことが可能です。測定値に加えて、機器のステータス情報も表示されるため、ユーザーは機器のステータスを監視できます。また、機器データの管理およびネットワークパラメータの設定が可能です。


### 8.3.2 必須条件

#### ハードウェア

接続ケーブル	RJ45 プラグの付いた標準 Ethernet ケーブル
コンピュータ	RJ45 インターフェイス
機器：	ウェブサーバを有効にする必要があります。初期設定：オン  ウェブサーバの有効化に関する詳細 → 38

#### コンピュータのソフトウェア

対応のウェブブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Microsoft Internet Explorer (8.x 以降)</li> <li>▪ Mozilla Firefox</li> <li>▪ Google chrome</li> </ul>
推奨のオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Windows XP</li> <li>▪ Windows 7</li> </ul>
TCP/IP 設定のユーザ権限	TCP/IP 設定に必要なユーザ権限 (例：IP アドレス、サブネットマスク変更のため)
コンピュータ設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ JavaScript を有効化</li> <li>▪ JavaScript を有効にできない場合は、ウェブブラウザのアドレス行に <code>http://XXX.XXX.X.XXX/basic.html</code> を入力します (例：<code>http://192.168.1.212/basic.html</code>)。ウェブブラウザですべての機能を備えた簡易バージョンの操作メニューが起動します。</li> </ul>

 新しいファームウェアバージョンをインストールする場合：  
 正確なデータ表示を可能にするため、ウェブブラウザの一時的なメモリ (キャッシュ) をインターネットオプションで消去します。

### 8.3.3 接続の確立

#### コンピュータのインターネットプロトコルの設定

以下は、機器の Ethernet 初期設定です。

機器の IP アドレス：192.168.1.212 (初期設定)

IP アドレス	192.168.1.XXX、XXX については 0、212、255 以外のすべての数値 → 例： 192.168.1.213
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.212 または空欄

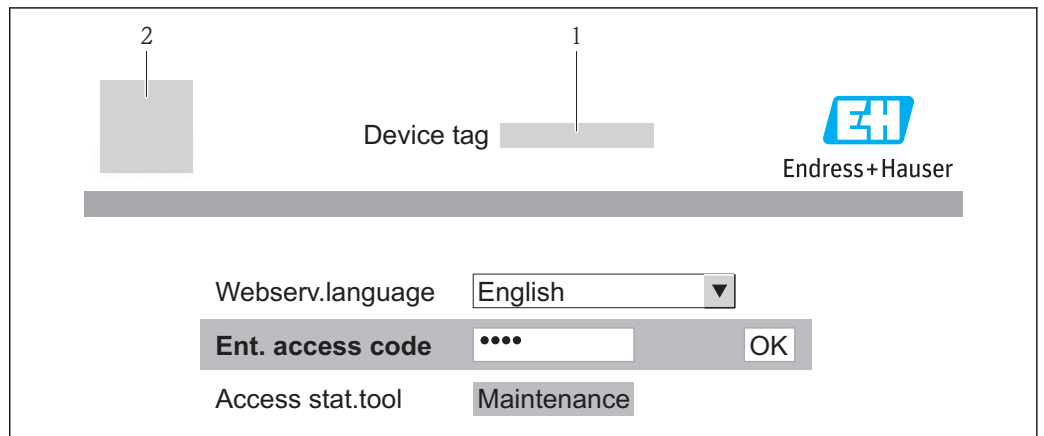
1. 機器をオンにして、ケーブルを使用してコンピュータと接続します → 40。
2. 2 目のネットワークカードを使用しない場合：ノートパソコン上のアプリケーションをすべて閉じます。あるいは、E メール、SAP アプリケーション、Internet Explorer または Windows Explorer など、インターネットまたはネットワークの必要なすべてのアプリケーション、つまり、開いているすべてのインターネットブラウザを閉じます。
3. 上記の表の記載に従って、インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを設定します。

#### ウェブブラウザを起動します。

1. コンピュータのウェブブラウザを起動します。

2. ウェブサーバのIPアドレスをウェブブラウザのアドレス行に入力します (192.168.1.212)。

ログイン画面が表示されます。



A0017362

- 1 デバイスのタグ → 48
- 2 機器の図

ログイン画面が表示されない、または、画面が不完全な場合 → 74

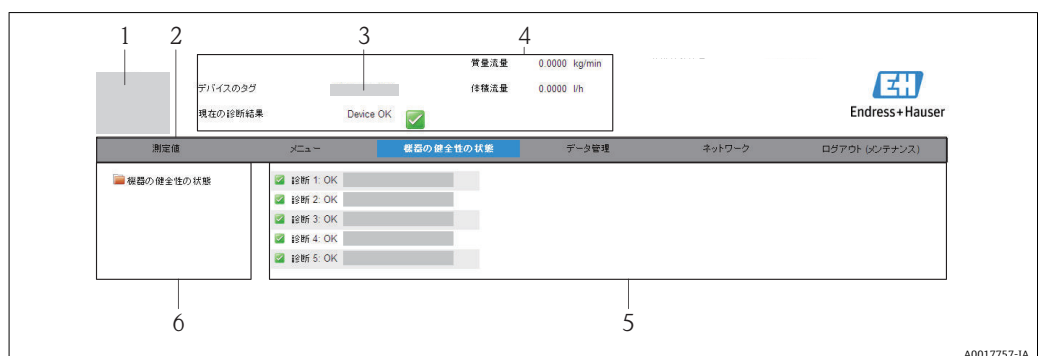
### 8.3.4 ログイン

1. 希望するウェブブラウザの操作言語を選択します。
2. アクセスコードを入力します。
3. **OK** を押して、入力内容を確認します。

アクセスコード	0000 (初期設定)、ユーザー変更可能 → 67
---------	---------------------------

10分間何も操作されなかった場合、ウェブブラウザは自動的にログイン画面に戻ります。

### 8.3.5 ユーザーインターフェイス



A0017757-JA

- 1 機器の図
- 2 6つの機能がある機能列
- 3 デバイスのタグ
- 4 ヘッダー
- 5 作業エリア
- 6 ナビゲーションエリア

### ヘッダー

以下の情報がヘッダーに表示されます。

- デバイスのタグ → 48
- 機器ステータスとステータス信号 → 75
- 現在の測定値 → 70

### 機能列

機能	意味
測定値	機器の測定値を表示
メニュー	機器の操作メニュー構成へのアクセスは、操作ツールの場合と同じ
機器ステータス	現在未処理の診断メッセージを優先度の高い順序で表示
データ管理	PC と機器間のデータ交換： <ul style="list-style-type: none"> <li>- 機器から設定のアップロード (XML 形式、設定バックアップの作成)</li> <li>- 機器への設定の保存 (XML 形式、設定の復元)</li> <li>- イベントリストのエクスポート (.csv ファイル)</li> <li>- パラメータ設定のエクスポート (.csv ファイル、測定点設定の文書作成)</li> <li>- Heartbeat 検証ログのエクスポート (PDF ファイル、「Heartbeat 検証」アプリケーションパッケージの場合のみ使用可能)</li> </ul>
ネットワーク設定	機器との接続確立に必要なすべてのパラメータの設定および確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ネットワーク設定 (例：IP アドレス、MAC アドレス)</li> <li>■ 機器情報 (例：シリアル番号、ファームウェアのバージョン)</li> </ul>
ログアウト	操作の終了とログイン画面の呼び出し

### ナビゲーションエリア

機能バーで 1 つの機能を選択した場合、ナビゲーションエリアに機能のサブメニューが表示されます。ユーザーは、メニュー構成内をナビゲートすることができます。

### 作業エリア

選択した機能と関連するサブメニューに応じて、このエリアでさまざまな処理を行うことができます。

- パラメータ設定
- 測定値の読取り
- ヘルプテキストの呼び出し
- アップロード/ダウンロードの開始

### 8.3.6 ウェブサーバの無効化

機器のウェブサーバは、必要に応じて **Web サーバ 機能** パラメータを使用して有効化/無効化することが可能です。

#### ナビゲーション

「エキスパート」メニュー → 通信 → Web サーバ

#### パラメータ概要 (簡単な説明付き)

パラメータ	説明	選択	工場出荷時設定
Web サーバ 機能	ウェブサーバのオン/オフ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> </ul>	オン

#### ウェブサーバの有効化

ウェブサーバが無効になっている場合は、以下の操作オプションを介して **Web サーバ 機能** パラメータ を使用した場合のみ、再度有効にできます。

「FieldCare」操作ツールを経由

### 8.3.7 ログアウト

**i** ログアウトする前に、必要に応じて、**データ管理機能**（機器のアップロード設定）を使用してデータバックアップを行ってください。

1. 機能列で **ログアウト** 入力項目を選択します。  
↳ ホームページにログインボックスが表示されます。
2. ウェブブラウザを閉じます。
3. 変更したインターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティが必要ない場合は、リセットします → 36。

## 8.4 操作ツールによる操作メニューへのアクセス

### 8.4.1 操作ツールの接続

#### HART プロトコル経由

この通信インターフェイスは、以下の機器で用意されています。  
「出力」のオーダーコード、オプション **B** : 4~20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力

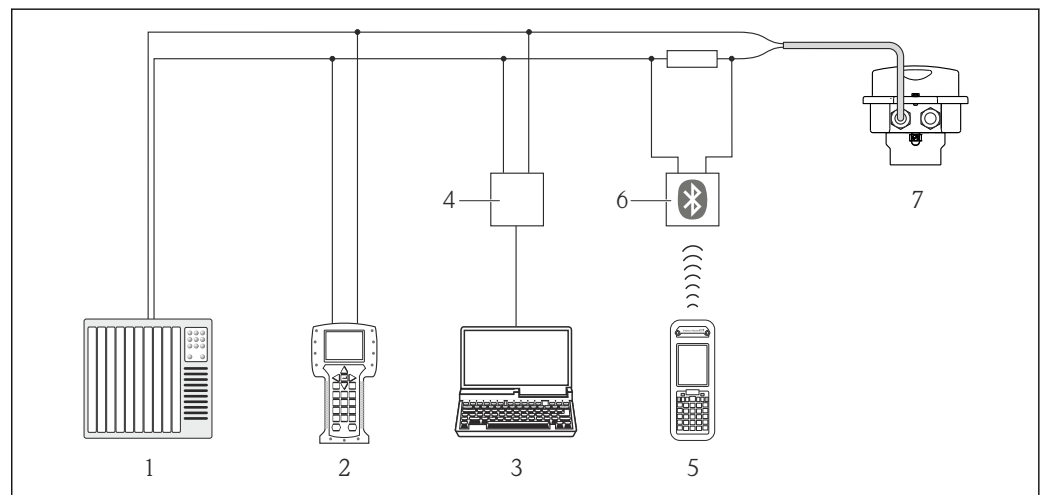
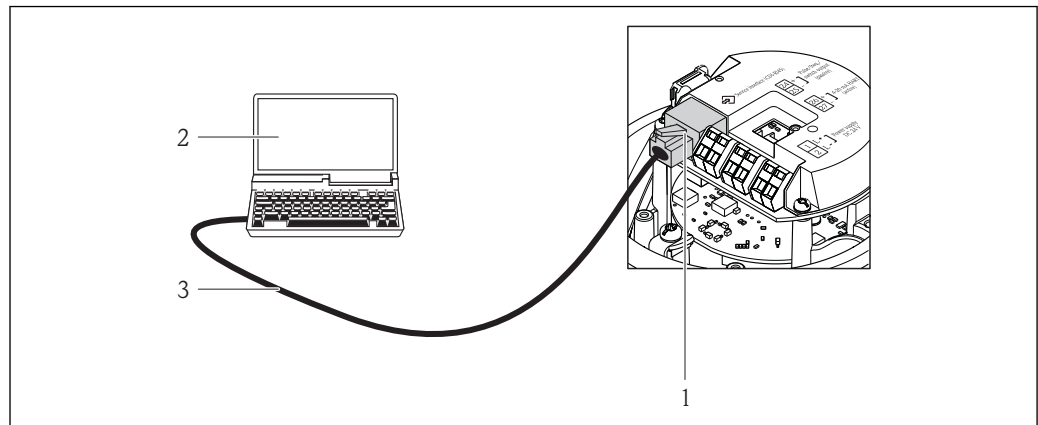


図 13 HART 経由のリモート操作オプション

- 1 制御システム（例：PLC）
- 2 フィールドコミュニケーター 475
- 3 操作ツール（例：FieldCare、AMS Device Manager、SIMATIC PDM）搭載のコンピュータ
- 4 コミュボックス FXA195（USB）
- 5 Field Xpert SFX350 または SFX370
- 6 VIATOR Bluetooth モデム、接続ケーブル付き
- 7 変換器

A0016948

## サービスインターフェイス (CDI-RJ45) 経由



- 14 「出力」のオーダーコードの接続、オプション B : 4~20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力
- 1 内蔵されたウェブサーバへアクセス可能な機器のサービスインターフェイス (CDI-RJ45)
  - 2 内蔵された機器ウェブサーバにアクセスするためのウェブブラウザ (例: Internet Explorer)、または COM DTM 「CDI Communication TCP/IP」と「FieldCare」操作ツールを搭載したコンピュータ
  - 3 RJ45 プラグの付いた標準 Ethernet 接続ケーブル

A0016926

## 8.4.2 Field Xpert SFX350、SFX370

### 機能範囲

Field Xpert SFX350 および Field Xpert SFX370 は、設定およびメンテナンス用のモバイルコンピュータです。**非危険場所** (SFX350、SFX370) および**危険場所** (SFX370) での HART および FOUNDATION Fieldbus 機器の効率的な機器設定および診断が可能です。

 詳細については、「取扱説明書」BA01202S を参照してください。

### デバイス記述ファイルの入手先



データを参照 →  44

## 8.4.3 FieldCare

### 機能範囲


エンドレスハウザーの FDT ベースのプラントアセットマネジメントツールです。システム内にあるすべての高性能フィールド機器の設定を行い、その管理をサポートします。ステータス情報を使用することにより、各機器のステータスと状態を簡単かつ効果的にチェックすることができます。

以下を介したアクセス :

- HART プロトコル →  39
- サービスインターフェイス CDI-RJ45 →  40

標準機能 :

- 変換器のパラメータ設定
- 機器データの読み込みおよび保存 (アップロード/ダウンロード)
- 測定点のドキュメント作成
- 測定値メモリ (ラインレコーダ) およびイベントログブックの視覚化

 詳細については、「取扱説明書」BA00027S および BA00059S を参照してください。



## デバイス記述ファイルの入手先

データを参照 →  44

## 接続の確立

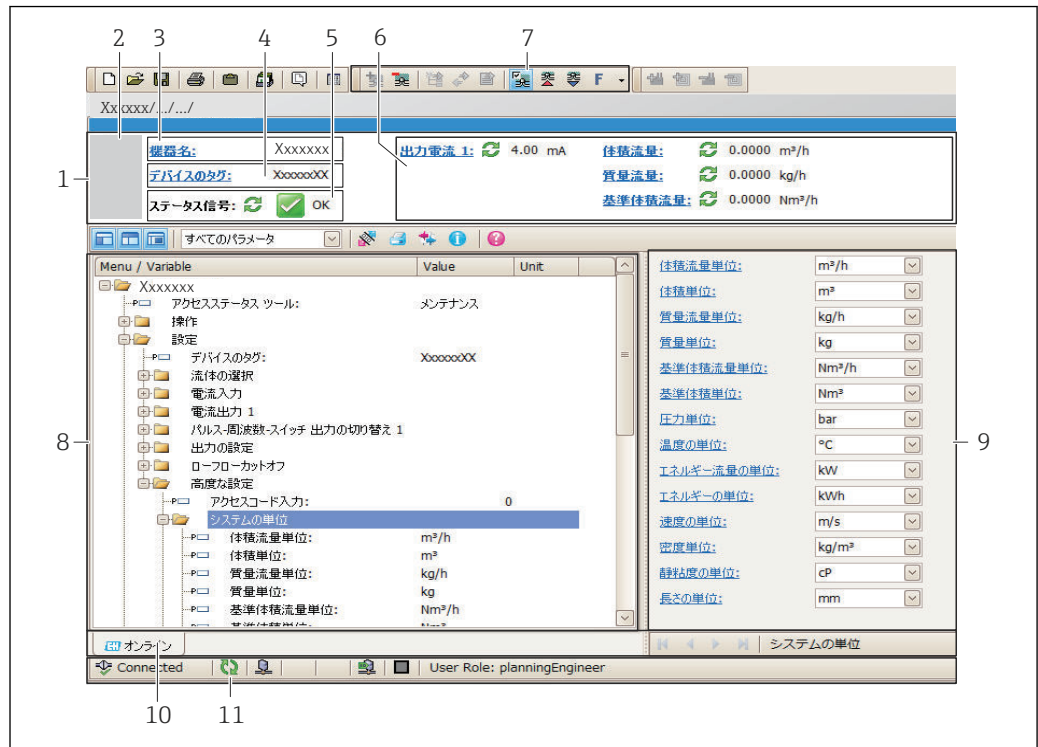
サービスインターフェイス (CDI-RJ45) 経由

1. FieldCare を開始し、プロジェクトを立ち上げます。
2. ネットワークで：機器を追加します。  
↳ **機器追加** ウィンドウが開きます。
3. リストから **CDI Communication TCP/IP** を選択し、**OK** を押して確定します。
4. **CDI Communication TCP/IP** を右クリックして、開いたコンテキストメニューから **機器追加** を選択します。
5. リストから目的の機器を選択し、**OK** を押して確定します。  
↳ **CDI Communication TCP/IP (設定)** ウィンドウが開きます。
6. **IP アドレス** フィールドに機器アドレスを入力し、**Enter** を押して確定します：  
192.168.1.212 (初期設定) ; IP アドレスが不明な場合
7. 機器のオンライン接続を確立します。



詳細については、「取扱説明書」BA00027S および BA00059S を参照してください。

## ユーザインターフェイス



A0021051-JA

- 1 ヘッダー
- 2 機器の図
- 3 機器名
- 4 デバイスのタグ → 図 48
- 5 ステータスエリアとステータス信号 → 図 75
- 6 現在の測定値の表示エリア
- 7 イベントリストおよび保存/読み込み、イベントリストとドキュメント作成などの追加機能
- 8 ナビゲーションエリアと操作メニュー構成
- 9 動作レンジ
- 10 アクションレンジ
- 11 ステータスエリア

### 8.4.4 AMS デバイスマネージャ

#### 機能範囲

HART プロトコルを介した機器の操作および設定用のエマソン・プロセス・マネジメント社製プログラムです。

#### デバイス記述ファイルの入手先

データを参照 → 図 44

### 8.4.5 SIMATIC PDM

#### 機能範囲

SIMATIC PDM は、シーメンス社製の標準化されたメーカー非依存型プログラムで、インテリジェントフィールド機器の HART プロトコルを介した操作、設定、メンテナンス、診断のためのツールです。

#### デバイス記述ファイルの入手先

データを参照 → 図 44

## 8.4.6 フィールドコミュニケーター 475

### 機能範囲

HART プロトコルを使用してリモート設定および測定値を表示するための、エマソン・プロセス・マネジメント社製の工業用ハンドヘルドターミナルです。

### デバイス記述ファイルの入手先

データを参照 →  44

## 9 システム統合

### 9.1 デバイス記述ファイルの概要

#### 9.1.1 現在の機器データバージョン

ファームウェアのバージョン	01.01.zz	<ul style="list-style-type: none"> <li>取扱説明書の表紙に明記</li> <li>変換器の銘板に明記 → 11</li> <li><b>ファームウェアのバージョン</b> 診断 → 機器情報 → ファームウェアのバージョン</li> </ul>
ファームウェアのバージョンのリリース日付	06.2014	---
製造者 ID	0x11	<b>製造者 ID</b> 診断 → 機器情報 → 製造者 ID
機器タイプ ID	0x3A	<b>機器タイプ</b> 診断 → 機器情報 → 機器タイプ
HART バージョン	7	---
機器リビジョン	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>変換器の銘板に明記 → 11</li> <li><b>機器リビジョン</b> 診断 → 機器情報 → 機器リビジョン</li> </ul>

#### 9.1.2 操作ツール

以下の表には、個々の操作ツールに適した DD ファイルとそのファイルの入手先情報が記載されています。

HART 経由の操作ツール	デバイス記述ファイルの入手方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>Field Xpert SFX350</li> <li>Field Xpert SFX370</li> </ul>	ハンドヘルドターミナルの更新機能を使用する
FieldCare	<ul style="list-style-type: none"> <li><a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a> → ダウンロードエリア</li> <li>CD-ROM (Endress+Hauser にお問い合わせください)</li> <li>DVD (Endress+Hauser にお問い合わせください)</li> </ul>
AMS デバイスマネージャ (アマゾン・プロセス・マネジメント社)	<a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a> → ダウンロードエリア
SIMATIC PDM (シーメンス社)	<a href="http://www.endress.com">www.endress.com</a> → ダウンロードエリア
Field Communicator 475 (アマゾン・プロセス・マネジメント社)	ハンドヘルドターミナルの更新機能を使用する

### 9.2 HART 経由の測定変数

次のプロセス変数 (HART 機器変数) は、工場出荷時に動的変数に割り当てられています。

動的変数	測定変数 (HART 機器変数)
一次動的変数 (PV)	体積流量
二次動的変数 (SV)	積算計 1
三次動的変数 (TV)	積算計 2
四次動的変数 (QV)	積算計 3

測定変数の動的変数への割り当ては、現場操作および操作ツールで以下のパラメータを用いて、変更または割り当てることができます。

- エキスパート → 通信 → HART 出力 → 出力 → PV 割当
- エキスパート → 通信 → HART 出力 → 出力 → SV 割当
- エキスパート → 通信 → HART 出力 → 出力 → TV 割当
- エキスパート → 通信 → HART 出力 → 出力 → QV 割当


次の測定変数は動的変数に割り当てることが可能です。

#### **PV（一次動的変数）に割り当て可能なプロセス変数**

- オフ
- 体積流量
- 質量流量
- 基準体積流量
- 流速
- 補正導電率
- 温度
- 電気部内温度

#### **SV、TV、QV（二次、三次、四次動的変数）に割り当て可能なプロセス変数**

- 体積流量
- 質量流量
- 基準体積流量
- 流速
- 補正導電率
- 温度
- 電気部内温度
- 積算計 1
- 積算計 2
- 積算計 3

 機器に 1 つ以上のアプリケーションパッケージがある場合、オプションの範囲が広がります。

#### **機器変数**

機器変数は恒久的に割り当てられます。最大 8 つの機器変数を送信できます。

- 0 = 体積流量
- 1 = 質量流量
- 2 = 基準体積流量
- 3 = 流速
- 4 = 導電率
- 5 = 補正導電率
- 6 = 温度
- 7 = 電子モジュール温度
- 8 = 積算計 1
- 9 = 積算計 2
- 10 = 積算計 3

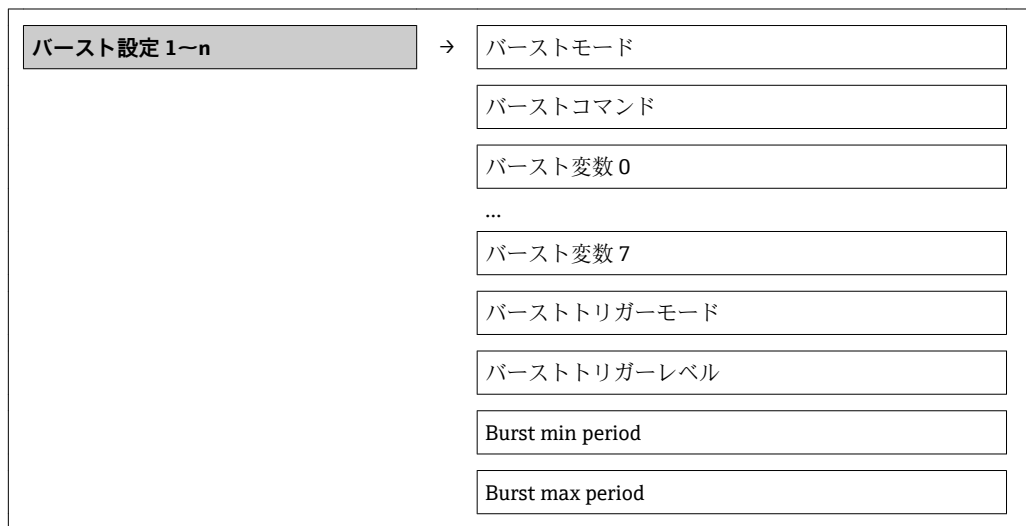
## 9.3 その他の設定

### 9.3.1 HART 7 仕様に準拠するバーストモード機能

#### ナビゲーション

「エキスパート」メニュー → 通信 → HART 出力 → バースト設定 → バースト設定 1~n

#### サブメニューの構成



#### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
バーストモード	バーストメッセージ X 用に HART バーストモードを作動させます。 外部の圧力または温度センサもバーストモードにする必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> </ul>	オフ
バーストコマンド	HART マスタに送信する HART コマンドを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>コマンド 1</b> オプション: 一次変数を読み取ります。</li> <li>■ <b>コマンド 2</b> オプション: 電流値およびメイン測定値をパーセンテージとして読み取ります。</li> <li>■ <b>コマンド 3</b> オプション: ダイナミック HART 変数と電流値を読み取ります。</li> <li>■ <b>コマンド 9</b> オプション: 関連するステータスを含むダイナミック HART 変数と電流値を読み取ります。</li> <li>■ <b>コマンド 33</b> オプション: 関連する単位を含むダイナミック HART 変数と電流値を読み取ります。</li> <li>■ <b>コマンド 48</b> オプション: 機器診断一式を読み取ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コマンド 1</li> <li>■ コマンド 2</li> <li>■ コマンド 3</li> <li>■ コマンド 9</li> <li>■ コマンド 33</li> <li>■ コマンド 48</li> </ul>	コマンド 2

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
バースト変数 0	個別の HART 変数 (PV、SV、TV、QV) の割当ておよび HART コマンドに対して機器で使用できるプロセス変数の割当て。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 電気部内温度</li> <li>■ 積算計 1</li> <li>■ 積算計 2</li> <li>■ 積算計 3</li> <li>■ 密度</li> <li>■ 温度</li> <li>■ HART 入力</li> <li>■ Percent Of Range</li> <li>■ 測定された電流値</li> <li>■ PV 値</li> <li>■ SV 値</li> <li>■ TV 値</li> <li>■ QV 値</li> <li>■ 未使用</li> </ul>	体積流量
バースト変数 1	バースト変数 0 を参照。	バースト変数 0 を参照	未使用
バースト変数 2	バースト変数 0 を参照。	バースト変数 0 を参照	未使用
バースト変数 3	バースト変数 0 を参照。	バースト変数 0 を参照	未使用
バースト変数 4	バースト変数 0 を参照。	バースト変数 0 を参照	未使用
バースト変数 5	バースト変数 0 を参照。	バースト変数 0 を参照	未使用
バースト変数 6	バースト変数 0 を参照。	バースト変数 0 を参照	未使用
バースト変数 7	バースト変数 0 を参照。	バースト変数 0 を参照	未使用
バーストリガーモード	<p>この機能を使用して、バーストメッセージ X をトリガーするイベントを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>Continuos</b> オプション: メッセージは時間制御方式でトリガーされます。少なくとも <b>Burst min period</b> パラメータで設定した時間間隔が監視されます。</li> <li>■ <b>Window</b> オプション: <b>バーストリガーレベル</b> パラメータの値によって特定の測定値が変化した場合に、メッセージはトリガーされます。</li> <li>■ <b>Rising</b> オプション: <b>バーストリガーレベル</b> パラメータの値を特定の測定値が超過した場合に、メッセージはトリガーされます。</li> <li>■ <b>Falling</b> オプション: <b>バーストリガーレベル</b> パラメータの値を特定の測定値が下回った場合に、メッセージはトリガーされます。</li> <li>■ <b>On change</b> オプション: 測定値が変化した場合に、メッセージはトリガーされます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Continuos</li> <li>■ Window</li> <li>■ Rising</li> <li>■ Falling</li> <li>■ On change</li> </ul>	Continuos
バーストリガーレベル	<p>バーストリガー値の入力用。</p> <p><b>バーストリガーモード</b> パラメータで選んだ選択項目とバーストリガー値によって、バーストメッセージ X の時間が規定されます。</p>	正の浮動小数点数	2.0E-38
Min. update period	この機能を使用して、バーストメッセージ X の 2 つのバーストコマンド間の最小時間間隔を入力します。	正の整数	1 000 ms
Max. update period	この機能を使用して、バーストメッセージ X の 2 つのバーストコマンド間の最大時間間隔を入力します。	正の整数	2 000 ms

## 10 設定

### 10.1 機能確認

機器を設定する前に、設置状況および配線状況の確認を行なってください。

- 「設置状況の確認」チェックリスト → ㉮ 25
- 「配線状況の確認」チェックリスト → ㉮ 32

### 10.2 機器の設定


**設定** メニュー（サブメニュー付き）には、通常運転に必要なパラメータがすべて含まれています。


#### 「設定」メニューの構成

設定	→	デバイスのタグ	→ ㉮ 48
		電流出力 1	→ ㉮ 49
		パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え	→ ㉮ 50
		表示	→ ㉮ 54
		出力の設定	→ ㉮ 56
		ローフローカットオフ	→ ㉮ 57
		空検知	→ ㉮ 59
		HART 入力	→ ㉮ 55
		高度な設定	→ ㉮ 60

#### 10.2.1 タグ番号の設定

システム内の測定ポイントを迅速に識別するため、**デバイスのタグ** パラメータを使用して一意的な名称を入力できます。このようにして初期設定を変更できます。

 表示される文字数は使用される文字に応じて異なります。

 「FieldCare」操作ツールのタグ番号に関する詳細 → ㉮ 42

#### ナビゲーション

「設定」メニュー → デバイスのタグ

#### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザー入力	工場出荷時設定
デバイスのタグ	機器のタグを入力。	最大 32 文字（英字、数字、または特殊文字（例：@, %, /）など）	プロマグ



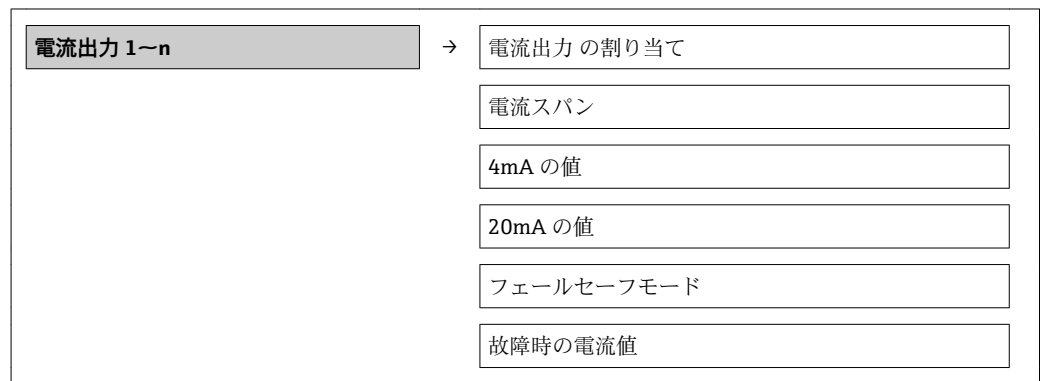
## 10.2.2 電流出力の設定

「電流出力 2」サブメニューには、電流出力の設定に関して設定しなければならないパラメータがすべて含まれています。

### ナビゲーション

「設定」メニュー → 電流出力 1～n

### サブメニューの構成



### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
電流出力の割り当て	電流出力に割り当てるプロセス変数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> </ul>	体積流量
質量流量単位	質量流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出力</li> <li>■ ローフローカットオフ</li> <li>■ シミュレーションするプロセス変数</li> </ul>	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ kg/h</li> <li>■ lb/min</li> </ul>
体積流量単位	体積流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出力</li> <li>■ ローフローカットオフ</li> <li>■ シミュレーションするプロセス変数</li> </ul>	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ l/h</li> <li>■ gal/min (us)</li> </ul>
電流スパン	プロセス値出力の電流範囲とアラーム信号の上限/下限レベルを選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4...20 mA NAMUR</li> <li>■ 4...20 mA US</li> <li>■ 4...20 mA</li> <li>■ 0...20 mA</li> <li>■ 固定電流値</li> </ul>	4...20 mA NAMUR
0/4mA の値	4 mA の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0 l/h
20mA の値	20 mA の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0.025 l/h

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
フェールセーフモード	アラーム状態の時の出力動作の定義。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最少</li> <li>■ 最大</li> <li>■ 最後の有効値</li> <li>■ 実際の値</li> <li>■ 決めた値</li> </ul>	最大
故障時の電流値	アラーム状態の電流出力値を設定。	3.59 <sup>-3</sup> ~22.5 <sup>-3</sup> mA	22.5 mA

### 10.2.3 パルス/周波数/スイッチ出力の設定

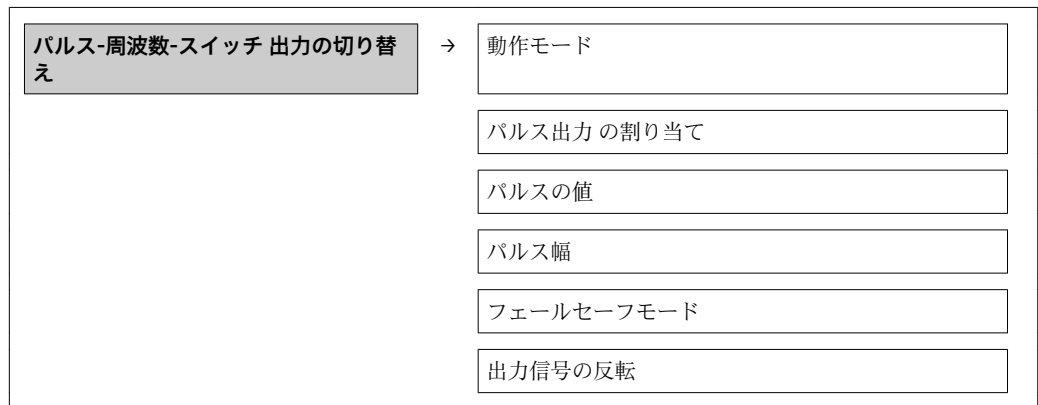
パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1 サブメニュー には、出力タイプの選択に関して設定しなければならないパラメータがすべて含まれています。

#### パルス出力

#### ナビゲーション

「設定」メニュー → パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え

#### パルス出力用サブメニューの構成



#### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
動作モード	出力をパルス、周波数またはスイッチ出力として定義。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ パルス</li> <li>■ 周波数</li> <li>■ スイッチ出力</li> </ul>	パルス
パルス出力の割り当て	パルス出力するプロセス変数の選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>	オフ
質量単位	質量の単位を選択。 結果 選択した単位は、以下の設定が用いられます。 <b>質量流量単位</b> パラメータ	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ kg</li> <li>■ lb</li> </ul>
体積単位	体積の単位を選択。 結果 選択した単位は、以下の設定が用いられます。 <b>体積流量単位</b> パラメータ	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ l</li> <li>■ gal (us)</li> </ul>
パルスの値	パルス出力する測定値の入力（パルス値）。	符号付き浮動小数点数	0
パルス幅	パルス出力のパルス幅を定義。	0.05~2000 ms	100 ms

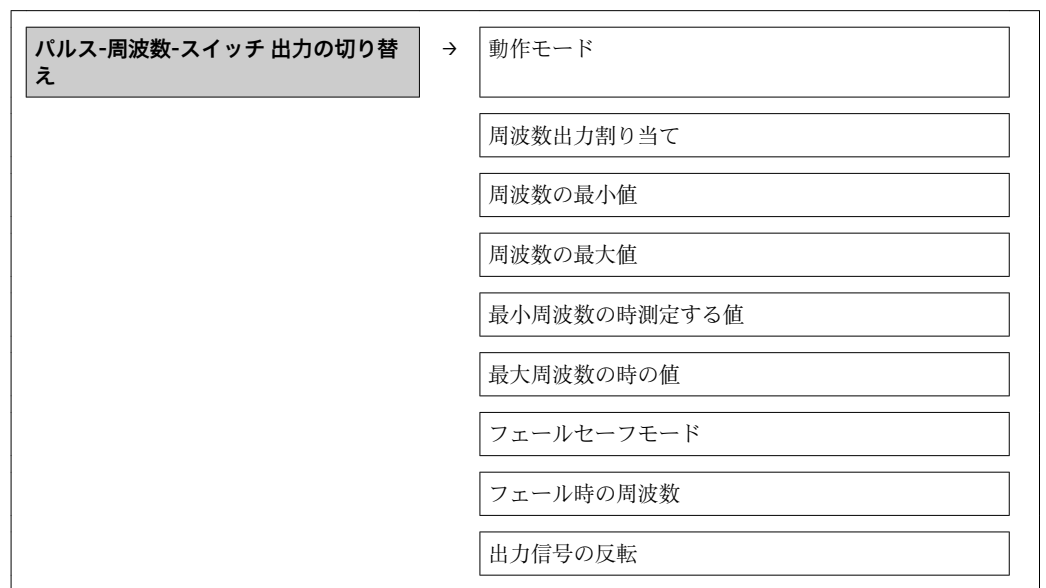
パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
フェールセーフモード	アラーム状態の時の出力動作の定義。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際の値</li> <li>■ パルスなし</li> </ul>	パルスなし
出力信号の反転	出力信号の反転。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いいえ</li> <li>■ はい</li> </ul>	いいえ

## 周波数出力

### ナビゲーション

「設定」メニュー → パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え

### 周波数出力用サブメニューの構成



### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
動作モード	出力をパルス、周波数またはスイッチ出力として定義。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ パルス</li> <li>■ 周波数</li> <li>■ スイッチ出力</li> </ul>	パルス
周波数出力割り当て	周波数出力するプロセス変数の選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> </ul>	オフ
質量流量単位	質量流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出力</li> <li>■ ローフローカットオフ</li> <li>■ シミュレーションするプロセス変数</li> </ul>	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ kg/h</li> <li>■ lb/min</li> </ul>

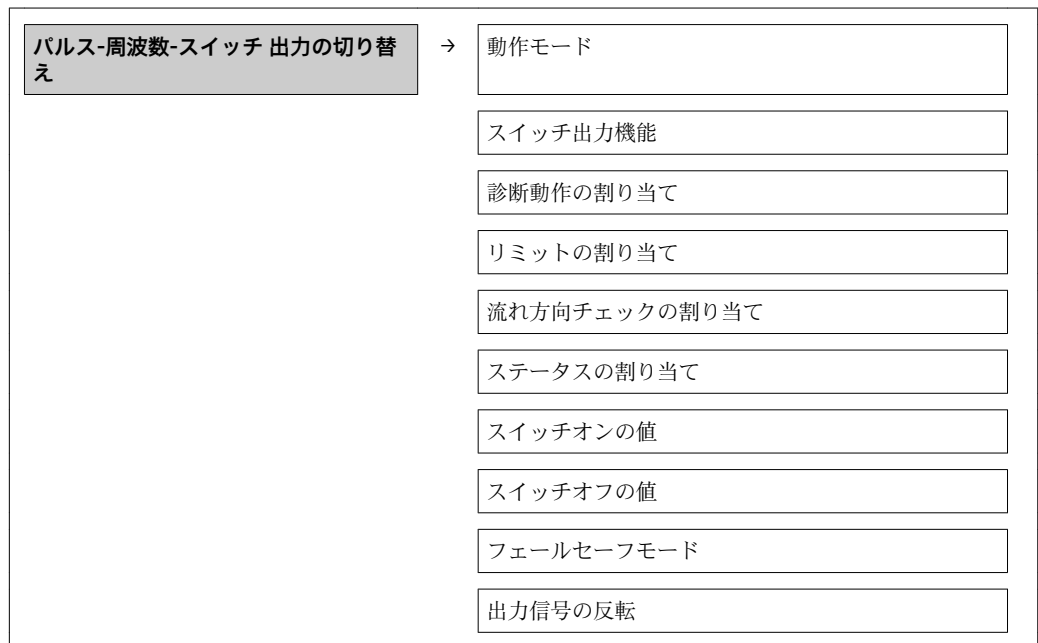
パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
体積流量単位	体積流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出力</li> <li>■ ローフローカットオフ</li> <li>■ シミュレーションするプロセス変数</li> </ul>	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ l/h</li> <li>■ gal/min (us)</li> </ul>
周波数の最小値	最小周波数を入力。	0.0～10000.0 Hz	0.0 Hz
周波数の最大値	最大周波数を入力。	0.0～10000.0 Hz	10000.0 Hz
最小周波数の時測定する値	最小周波数に対する測定値を入力。	符号付き浮動小数点数	0
最大周波数の時の値	最大周波数に対する測定値を入力。	符号付き浮動小数点数	0
フェールセーフモード	アラーム状態の時の出力動作の定義。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際の値</li> <li>■ 決めた値</li> <li>■ 0 Hz</li> </ul>	0 Hz
フェール時の周波数	アラーム状態の時の周波数出力の値を入力。	0.0～12500.0 Hz	0.0 Hz
出力信号の反転	出力信号の反転。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いいえ</li> <li>■ はい</li> </ul>	いいえ

### スイッチ出力

#### ナビゲーション

「設定」メニュー → パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え

#### スイッチ出力用サブメニューの構成



## パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
動作モード	出力をパルス、周波数またはスイッチ出力として定義。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ パルス</li> <li>■ 周波数</li> <li>■ スイッチ出力</li> </ul>	パルス
スイッチ出力機能	スイッチ出力の機能を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> <li>■ 診断動作</li> <li>■ リミット</li> <li>■ 流れ方向チェック</li> <li>■ ステータス</li> </ul>	オフ
診断動作の割り当て	スイッチ出力の診断動作を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アラーム</li> <li>■ アラーム + 警告</li> <li>■ 警告</li> </ul>	アラーム
リミットの割り当て	リミット機能のためのプロセス変数の選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 積算計 1</li> <li>■ 積算計 2</li> <li>■ 積算計 3</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> </ul>	体積流量
流れ方向チェックの割り当て	流れ方向の監視のためのプロセス変数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>	体積流量
ステータスの割り当て	スイッチ出力するデバイスステータスの選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 空検知</li> <li>■ ローフローカットオフ</li> </ul>	空検知
質量流量単位	質量流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出力</li> <li>■ ローフローカットオフ</li> <li>■ シミュレーションするプロセス変数</li> </ul>	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ kg/h</li> <li>■ lb/min</li> </ul>
体積流量単位	体積流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出力</li> <li>■ ローフローカットオフ</li> <li>■ シミュレーションするプロセス変数</li> </ul>	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ l/h</li> <li>■ gal/min (us)</li> </ul>
積算計の単位	積算計の単位を選択。	単位の選択リスト	l
スイッチオンの値	スイッチオンポイントの測定値を入力します。	符号付き浮動小数点数	0 l/h
スイッチオフの値	スイッチオフポイントの測定値を入力します。	符号付き浮動小数点数	0 l/h
スイッチオンの遅延	ステータス出力をスイッチオンする遅延時間を定義。	0.0～100.0 秒	0.0 秒
スイッチオフの遅延	ステータス出力をスイッチオフする遅延時間を定義。	0.0～100.0 秒	0.0 秒
フェールセーフモード	アラーム状態の時の出力動作の定義。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際のステータス</li> <li>■ オープン</li> <li>■ クローズ</li> </ul>	オープン
出力信号の反転	出力信号の反転。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いいえ</li> <li>■ はい</li> </ul>	いいえ

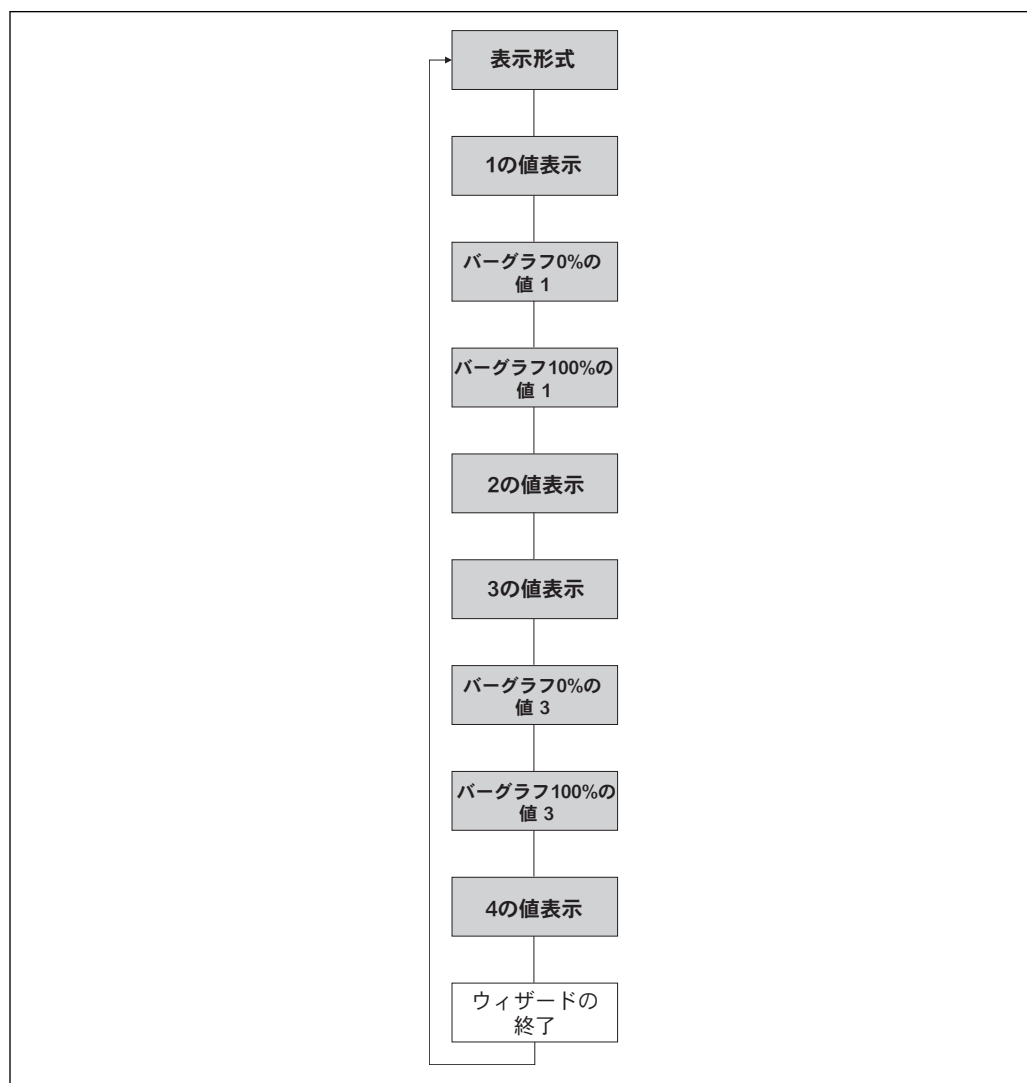
### 10.2.4 現場表示器の設定

表示ウィザードを使用すると、現場表示器の設定に必要なすべてのパラメータを体系的に設定できます。

#### ナビゲーション

「設定」メニュー → 表示

#### ウィザードの構成



A0013797-JA

図 15 「設定」メニューの「表示」ウィザード

## パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
表示形式	測定値のディスプレイへの表示方法を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1つの値、最大サイズ</li> <li>■ 1つの値 + バーグラフ</li> <li>■ 2つの値</li> <li>■ 1つの値はサイズ大 + 2つの値</li> <li>■ 4つの値</li> </ul>	1つの値、最大サイズ
1の値表示	ローカルディスプレイに表示する測定値を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> <li>■ 積算計 1</li> <li>■ 積算計 2</li> <li>■ 積算計 3</li> <li>■ 電流出力 1</li> <li>■ なし</li> </ul>	体積流量
バーグラフ 0%の値 1	バーグラフ 0% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0 l/h
バーグラフ 100%の値 1	バーグラフ 100% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0.025 l/h
2の値表示	ローカルディスプレイに表示する測定値を選択。	候補リスト（第1表示値を参照）	なし
3の値表示	ローカルディスプレイに表示する測定値を選択。	候補リスト（第1表示値を参照）	なし
バーグラフ 0%の値 3	バーグラフ 0% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0
バーグラフ 100%の値 3	バーグラフ 100% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0
4の値表示	ローカルディスプレイに表示する測定値を選択。	候補リスト（第1表示値を参照）	なし

## 10.2.5 HART 入力の設定


**HART 入力** サブメニューには、HART 入力の設定に関して設定しなければならないパラメータがすべて含まれています。

## ナビゲーション

「エキスパート」メニュー → 通信 → HART 入力 → 設定

<b>HART 入力</b>	→	キャプチャーモード
		機器 ID
		機器タイプ
		製造者 ID
		バーストコマンド
		スロット番号
		Timeout
		フェールセーフモード
		フェールセーフの値

## パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
キャプチャーモード	データ取得がバーストモードかマスターモードかを選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ バーストモードから</li> <li>■ 機器から</li> </ul>	オフ
製造者 ID	外部デバイスの製造者 ID (hex) を入力。	0~255	0
機器 ID	外部デバイスのデバイス ID (hex) を入力。	正の整数	0
機器タイプ	外部デバイスのデバイスタイプ (hex) を入力。	0~255	0
バーストコマンド	外部プロセス変数を読み込むコマンドの選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コマンド 1</li> <li>■ コマンド 3</li> <li>■ コマンド 9</li> <li>■ コマンド 33</li> </ul>	コマンド 1
スロット番号	バーストコマンドでの外部変数のポジションの定義。	1~4	1
Timeout	外部デバイスのプロセス変数のデッドラインの入力。  設定時間を越えた場合は、診断メッセージ <b>F410 データ送信</b> が表示されます。	1~120 秒	5 秒
フェールセーフモード	外部プロセス変数の値がない時の動作を定義してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アラーム</li> <li>■ 最後の有効値</li> <li>■ 決めた値</li> </ul>	アラーム
フェールセーフの値	外部機器からの入力値がない場合に使用する値を入力してください。	符号付き浮動小数点数	0

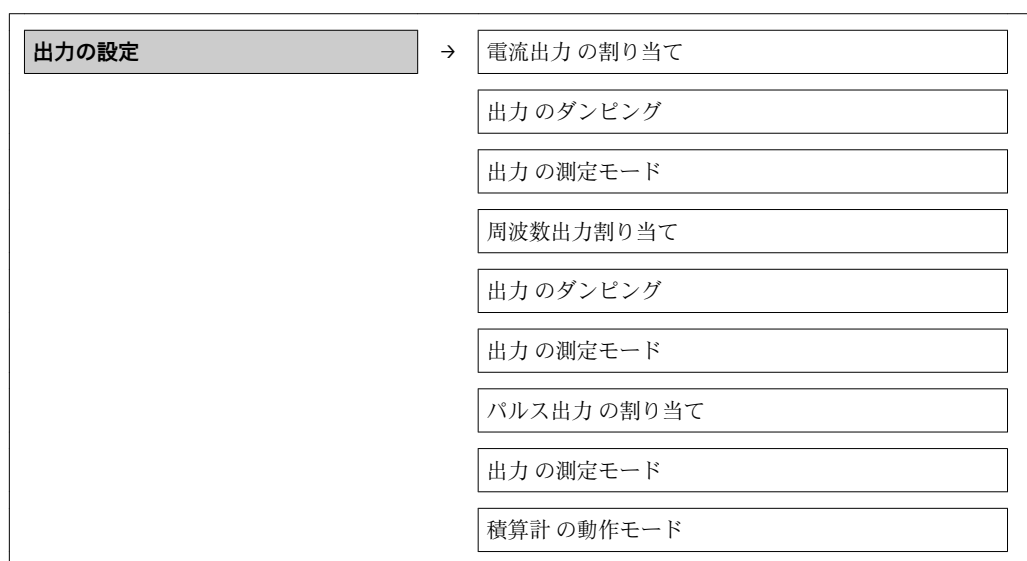
## 10.2.6 出力状態の設定

**出力の設定** ウィザードには、出力状態の設定に関して設定しなければならないパラメータがすべて含まれています。

## ナビゲーション

「設定」メニュー → 出力の設定

## 出力状態用サブメニューの構成





## パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
電流出力の割り当て	電流出力に割り当てるプロセス変数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> </ul>	体積流量
出力1のダンピング	測定値の変動に対する電流出力信号の応答時間を設定。	0~999.9 秒	1 秒
出力1の測定モード	電流出力の測定モードを選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 正方向流量</li> <li>■ 正方向/逆方向の流量</li> <li>■ 逆方向流量の補正</li> </ul>	正方向流量
周波数出力割り当て	周波数出力するプロセス変数の選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> </ul>	オフ
出力1のダンピング	測定値の変動に対する電流出力信号の応答時間を設定。	0~999.9 秒	1 秒
出力1の測定モード	電流出力の測定モードを選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 正方向流量</li> <li>■ 正方向/逆方向の流量</li> <li>■ 逆方向の流量</li> <li>■ 逆方向流量の補正</li> </ul>	正方向流量
パルス出力の割り当て	パルス出力するプロセス変数の選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>	オフ
出力1の測定モード	電流出力の測定モードを選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 正方向流量</li> <li>■ 正方向/逆方向の流量</li> <li>■ 逆方向の流量</li> <li>■ 逆方向流量の補正</li> </ul>	正方向流量
積算計の動作モード	積算計の計算モードを選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 正味流量の積算</li> <li>■ 正方向流量の積算</li> <li>■ 逆方向流量の積算</li> </ul>	正味流量の積算

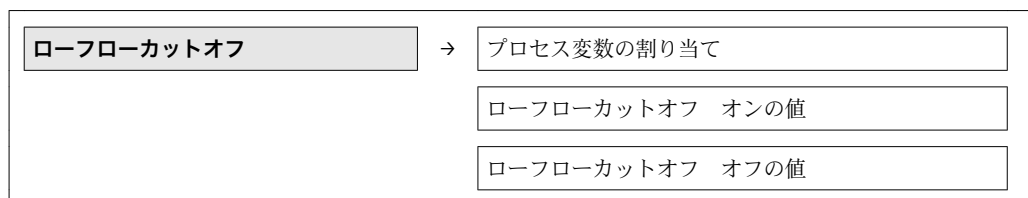
## 10.2.7 ローフローカットオフの設定

**ローフローカットオフ** サブメニューには、ローフローカットオフの設定に関して設定しなければならないパラメータが含まれています。

## ナビゲーション

「設定」メニュー → ローフローカットオフ

## サブメニューの構成



	プレッシャショックの排除
--	--------------

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
プロセス変数の割り当て	-	ローフローカット オフに割り当てるプロセス変数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>	体積流量
ローフローカットオフ オンの値	<b>プロセス変数の割り当て</b> で、以下の選択項目のいずれかが選択されていること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>	ローフローカット オフがオンになる値を入力。	符号付き浮動小数点数	液体の場合：国および呼び口径に応じて異なります。
ローフローカットオフ オフの値	<b>プロセス変数の割り当て</b> で、以下の選択項目のいずれかが選択されていること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>	ローフローカット オフにする値を入力。	0~100.0 %	50 %
プレッシャショックの排除	<b>プロセス変数の割り当て</b> で、以下の選択項目のいずれかが選択されていること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>	大きな圧力変動時の信号抑制 (=プレッシャショックさプレス) の期間を入力。	0~100 秒	0 秒

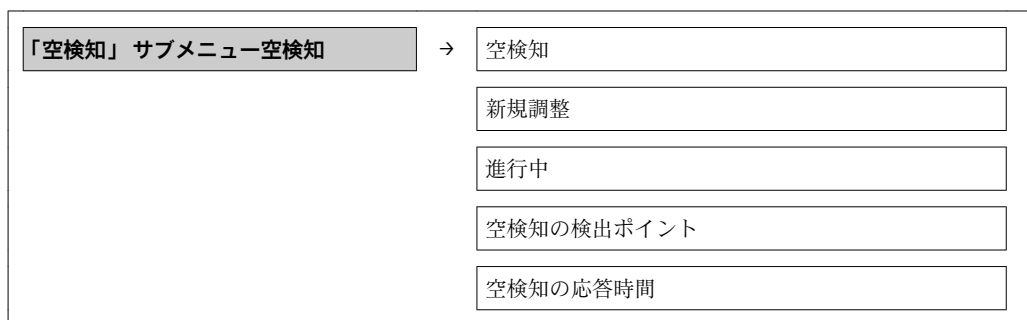
## 10.2.8 空検知の設定

**空検知** サブメニューには、ローフローカットオフの設定に関して設定しなければならないパラメータが含まれています。

### ナビゲーション

「設定」メニュー → 空検知

### サブメニューの構成



### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザーインターフェイス/ユーザー入力	工場出荷時設定
空検知	-	空検知のオンとオフの切り替え。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> </ul>	オフ
新規調整	-	調整の種類を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キャンセル</li> <li>■ 空検知調整</li> <li>■ 満管調整</li> </ul>	キャンセル
進行中	-		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Ok</li> <li>■ 進行中</li> <li>■ 不可</li> </ul>	-
空検知の検出ポイント	-	ヒステリシスの値を%で入力します。この値以下では計測管は空と検出されません。	0~100 %	10 %
空検知の応答時間	<b>プロセス変数の割り当て</b> で、以下の選択項目のいずれかが選択されていること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 密度</li> <li>■ 基準密度</li> </ul>	空検知したときに、診断メッセージ S862 "パイプ空" を表示するまでの時間を入力します。	0~100 秒	1 秒

### 10.3 高度な設定

**高度な設定** サブメニュー とそのサブメニューには、特定の設定に必要なパラメータがすべて含まれています。

#### 「高度な設定」サブメニューのパラメータおよびサブメニューの概要

高度な設定	→	アクセスコード入力	
		アクセスコード設定	→ 67
		システムの単位	→ 60
		センサの調整	→ 61
		積算計 1~n	→ 62
		電極洗浄回路	→ 65

#### 10.3.1 システムの単位の設定

**システムの単位** サブメニュー で、すべての測定値の単位を設定できます。

##### ナビゲーション

「設定」メニュー → システムの単位

システムの単位	→	体積流量単位
		体積単位
		導電率の単位
		温度の単位
		質量流量単位
		質量単位
		密度単位
		基準体積流量単位
		基準体積単位

#### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択	工場出荷時設定
体積流量単位	体積流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 出力</li> <li>▪ ローフローカットオフ</li> <li>▪ シミュレーションするプロセス変数</li> </ul>	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ l/h</li> <li>▪ gal/min (us)</li> </ul>
体積単位	体積の単位を選択。 結果 選択した単位は、以下の設定が用いられます。 <b>体積流量単位</b> パラメータ	単位の選択リスト	国に応じて異なります： <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ l</li> <li>▪ gal (us)</li> </ul>

パラメータ	説明	選択	工場出荷時設定
導電率の単位	導電率の単位の選択。 結果 選択した単位は以下に適用： ▪ 電流出力 ▪ 周波数出力 ▪ スイッチ出力 ▪ シミュレーションするプロセス変数	単位の選択リスト	μS/cm
温度の単位	温度の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： ▪ 出力 ▪ 基準温度 ▪ シミュレーションするプロセス変数	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ▪ °C (Celsius) ▪ °F (Fahrenheit)
質量流量単位	質量流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： ▪ 出力 ▪ ローフローカットオフ ▪ シミュレーションするプロセス変数	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ▪ kg/h ▪ lb/min
質量単位	質量の単位を選択。 結果 選択した単位は、以下の設定が用いられます。 <b>質量流量単位</b> パラメータ	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ▪ kg ▪ lb
密度単位	密度単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： ▪ 出力 ▪ シミュレーションするプロセス変数 ▪ 密度調整 (エキスパートメニュー)	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ▪ kg/l ▪ lb/ft <sup>3</sup>
基準体積流量単位	基準体積流量の単位を選択。 結果 選択した単位は以下に適用： ▪ 出力 ▪ ローフローカットオフ ▪ シミュレーションするプロセス変数	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ▪ NI/h ▪ Sft <sup>3</sup> /h
基準体積単位	基準体積の単位を選択。 結果 選択した単位は、以下の設定が用いられます。 <b>基準体積流量単位</b> パラメータ	単位の選択リスト	国に応じて異なります： ▪ NI ▪ Sft <sup>3</sup>

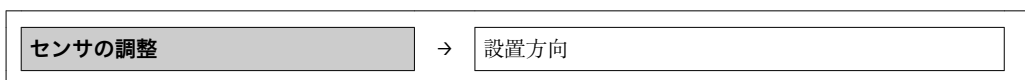
### 10.3.2 センサの調整の実施

**センサの調整** サブメニューには、センサの機能に関するパラメータがすべて含まれています。

#### ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → センサの調整

#### サブメニューの構成



パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択	工場出荷時設定
設置方向	センサ上の矢印の方向と一致する流れ方向の符号を設定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 矢印方向の流れ</li> <li>■ 矢印の反対方向の流れ</li> </ul>	矢印方向の流れ

10.3.3 積算計の設定

「積算計 1～n」サブメニューで個別の積算計を設定できます。

ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 積算計 1～n

<div style="border: 1px solid black; background-color: #e0e0e0; padding: 2px; display: inline-block;">積算計 1～n</div>	→	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">プロセス変数の割り当て</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">積算計の単位</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">フェールセーフモード</div>
---	---	---

パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択	工場出荷時設定
プロセス変数の割り当て	積算計に割り当てるプロセス変数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>	体積流量
積算計の単位	積算計の単位を選択。	単位の選択リスト	1
積算計動作モード	積算計の計算モードを選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 正味流量の積算</li> <li>■ 正方向流量の積算</li> <li>■ 逆方向流量の積算</li> </ul>	正味流量の積算
フェールセーフモード	アラーム状態の積算計の出力を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 停止</li> <li>■ 実際の値</li> <li>■ 最後の有効値</li> </ul>	停止

### 10.3.4 表示の追加設定

「表示」サブメニューを使用して、現場表示器の設定に関するすべてのパラメータを設定できます。

#### ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 表示

#### サブメニューの構成

表示	→	表示形式
		1 の値表示
		バーグラフ 0%の値 1
		バーグラフ 100%の値 1
		小数点桁数 1
		2 の値表示
		小数点桁数 2
		3 の値表示
		バーグラフ 0%の値 3
		バーグラフ 100%の値 3
		小数点桁数 3
		4 の値表示
		小数点桁数 4
		Display language
		表示間隔
		表示のダンピング
		ヘッダー
		ヘッダーテキスト
		区切り記号
		バックライト

## パラメータ概要（簡単な説明付き）


パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
表示形式	測定値のディスプレイへの表示方法を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1つの値、最大サイズ</li> <li>■ 1つの値 + バーグラフ</li> <li>■ 2つの値</li> <li>■ 1つの値はサイズ大 + 2つの値</li> <li>■ 4つの値</li> </ul>	1つの値、最大サイズ
1の値表示	ローカルディスプレイに表示する測定値を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> <li>■ 積算計 1</li> <li>■ 積算計 2</li> <li>■ 積算計 3</li> <li>■ 電流出力 1</li> <li>■ なし</li> </ul>	体積流量
バーグラフ 0%の値 1	バーグラフ 0% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0 l/h
バーグラフ 100%の値 1	バーグラフ 100% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0.025 l/h
小数点桁数 1	表示値の小数点以下の桁数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ x</li> <li>■ x.x</li> <li>■ x.xx</li> <li>■ x.xxx</li> <li>■ x.xxxx</li> </ul>	x.xx
2の値表示	ローカルディスプレイに表示する測定値を選択。	候補リスト（第1表示値を参照）	なし
小数点桁数 2	表示値の小数点以下の桁数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ x</li> <li>■ x.x</li> <li>■ x.xx</li> <li>■ x.xxx</li> <li>■ x.xxxx</li> </ul>	x.xx
3の値表示	ローカルディスプレイに表示する測定値を選択。	候補リスト（第1表示値を参照）	なし
バーグラフ 0%の値 3	バーグラフ 0% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0
バーグラフ 100%の値 3	バーグラフ 100% の値を入力。	符号付き浮動小数点数	0
小数点桁数 3	表示値の小数点以下の桁数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ x</li> <li>■ x.x</li> <li>■ x.xx</li> <li>■ x.xxx</li> <li>■ x.xxxx</li> </ul>	x.xx
4の値表示	ローカルディスプレイに表示する測定値を選択。	候補リスト（第1表示値を参照）	なし
小数点桁数 4	表示値の小数点以下の桁数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ x</li> <li>■ x.x</li> <li>■ x.xx</li> <li>■ x.xxx</li> <li>■ x.xxxx</li> </ul>	x.xx



パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
Display language	表示言語を設定。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ English</li> <li>▪ Deutsch</li> <li>▪ Français</li> <li>▪ Español</li> <li>▪ Italiano</li> <li>▪ Nederlands</li> <li>▪ Portuguesa</li> <li>▪ Polski</li> <li>▪ русский язык (Russian)</li> <li>▪ Svenska</li> <li>▪ Türkçe</li> <li>▪ 中文 (Chinese)</li> <li>▪ 日本語 (Japanese)</li> <li>▪ 한국어 (Korean)</li> <li>▪ العربية (Arabic)</li> <li>▪ Bahasa Indonesia</li> <li>▪ ภาษาไทย (Thai)</li> <li>▪ tiếng Việt (Vietnamese)</li> <li>▪ čeština (Czech)</li> </ul>	英語（または、注文した言語が機器にプリセットされます）
表示間隔	測定値の切り替え表示の時に測定値を表示する時間を設定。	1～10 秒	5 秒
表示のダンピング	測定値の変動に対する表示の応答時間を設定。	0.0～999.9 秒	0.0 秒
ヘッダー	ローカルディスプレイのヘッダーの内容を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ デバイスのタグ</li> <li>▪ フリーテキスト</li> </ul>	デバイスのタグ
ヘッダーテキスト	ディスプレイのヘッダーのテキストを入力。		-----
区切り記号	数値表示の桁区切り記号を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ .</li> <li>▪ ,</li> </ul>	.
バックライト	ローカルディスプレイのバックライトのオンとオフを切り替え。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 無効</li> <li>▪ 有効</li> </ul>	有効

### 10.3.5 電極洗浄の実行

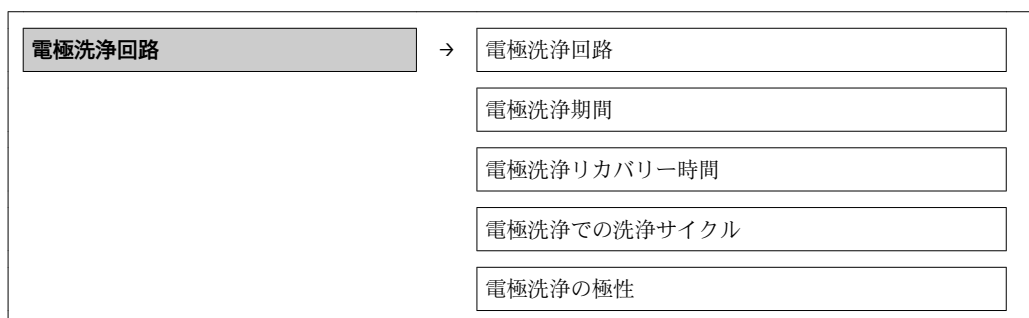
**電極洗浄回路** サブメニューには、電極洗浄の設定に関して設定しなければならないパラメータが含まれています。

 このサブメニューは、電極洗浄機能付きの機器が注文された場合にのみ表示されません。

#### ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 電極洗浄回路

#### サブメニューの構成



## パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力/ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
電極洗浄回路	周期的に電極洗浄回路を稼働させます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> </ul>	オフ
電極洗浄期間	電極洗浄期間を秒単位で入力。	0.01～30 秒	2 秒
電極洗浄リカバリー時間	電極洗浄後のリカバリー時間を定義。この間は電流出力は最後の有効な値を保持します。	正の浮動小数点数	60 秒
電極洗浄での洗浄サイクル	電極洗浄周期の休止期間を入力。	0.5～168 h	0.5 h
電極洗浄の極性	電極洗浄回路の極性の選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プラス</li> <li>■ マイナス</li> </ul>	プラス

## 10.4 シミュレーション

「シミュレーション」サブメニューにより、実際の流量がなくても、各種プロセス変数や機器アラームモードをシミュレーションし、下流側の信号接続を確認することが可能です（バルブの切り替えまたは閉制御ループ）。

## ナビゲーション

「診断」メニュー → シミュレーション

シミュレーション	→	シミュレーションする測定パラメータ割り当て
		測定値
		電流出力のシミュレーション
		電流出力の値
		周波数シミュレーション
		周波数の値
		パルスシミュレーション
		パルスの値
		シミュレーションスイッチ出力
		ステータス切り替え
		機器アラームのシミュレーション
		診断イベントのシミュレーション

## パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	必須条件	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
シミュレーションする測定パラメータ割り当て	-	シミュレーションするプロセス変数を選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正後の導電率</li> <li>■ 温度</li> </ul>	オフ
測定値	シミュレーションする測定パラメータ割り当てでプロセス変数が選択されていること。	選択したプロセス変数のシミュレーション値を入力。	符号付き浮動小数点数	0
電流出力1のシミュレーション	-	電流出力シミュレーションのオン/オフ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> </ul>	オフ
電流出力1の値	電流出力シミュレーションで、選択項目オンが選択されていること。	シミュレーションする電流値を入力。	3.59 <sup>-3</sup> ~22.5 <sup>-3</sup> mA	3.59 mA
周波数シミュレーション1	-	周波数出力シミュレーションのオン/オフ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> </ul>	オフ
周波数の値1	周波数出力シミュレーションで、選択項目オンが選択されていること。	シミュレーションする周波数値を入力。	0.0~12 500.0 Hz	0.0 Hz
パルスシミュレーション1	パルス出力のシミュレーションで、カウントダウンする値が選択されていること。	パルス出力シミュレーションのオン/オフ。  固定値を選択した場合は、パルス幅によってパルス出力のパルス幅が決定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 固定値</li> <li>■ カウントダウンする値</li> </ul>	オフ
パルスの値1	パルス出力のシミュレーションで、カウントダウンする値が選択されていること。	シミュレーションするパルス数を入力。	0~65 535	0
シミュレーションスイッチ出力1	-	スイッチ出力シミュレーションのオン/オフ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> </ul>	オフ
ステータス切り替え1	シミュレーションスイッチ出力で、選択項目オンが選択されていること。	シミュレーションするステータス出力のステータスを選択。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オープン</li> <li>■ クローズ</li> </ul>	オープン
機器アラームのシミュレーション	-	機器アラームのオン/オフ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> </ul>	オフ
診断イベントのシミュレーション	-	診断イベントシミュレーションのオン/オフ。 シミュレーション用に、診断イベントの種類パラメータで選択したカテゴリの診断イベントを選ぶことが可能です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ 候補リスト 診断イベント (選択したカテゴリに応じて)</li> </ul>	オフ

## 10.5 不正アクセスからの設定の保護

以下のオプションにより、設定後に意図せずに変更されないことがないように機器設定を保護することが可能です。

- ウェブブラウザのアクセスコードによる書き込み保護 → 67
- 書き込み保護スイッチによる書き込み保護 → 68

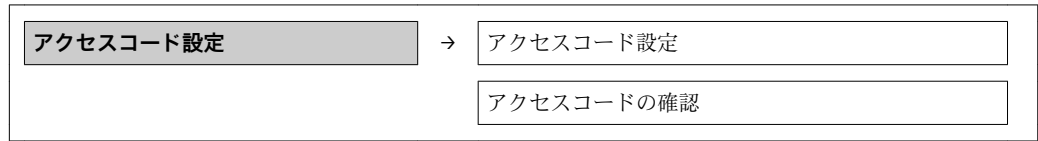
## 10.5.1 アクセスコードによる書き込み保護

ユーザ固有のアクセスコードにより、ウェブブラウザを介した機器へのアクセスを防止し、機器設定用パラメータを保護します。

## ナビゲーション

「設定」メニュー → 高度な設定 → 管理 → アクセスコード設定

## サブメニューの構成



## ウェブブラウザによるアクセスコードの設定

1. **アクセスコード入力** パラメータに移動します。
2. アクセスコードとして最大 4 桁の数値コードを設定します。
3. 再度アクセスコードを入力して、コードを確定します。  
↳ ウェブブラウザがログイン画面に切り替わります。

- i** 10 分間何も操作されなかった場合、ウェブブラウザは自動的にログイン画面に戻ります。
- i** 現在、ウェブブラウザを介してログインしているユーザの役割は、**アクセスステータスツール**に表示されます。ナビゲーションパス：操作 → アクセスステータスツール

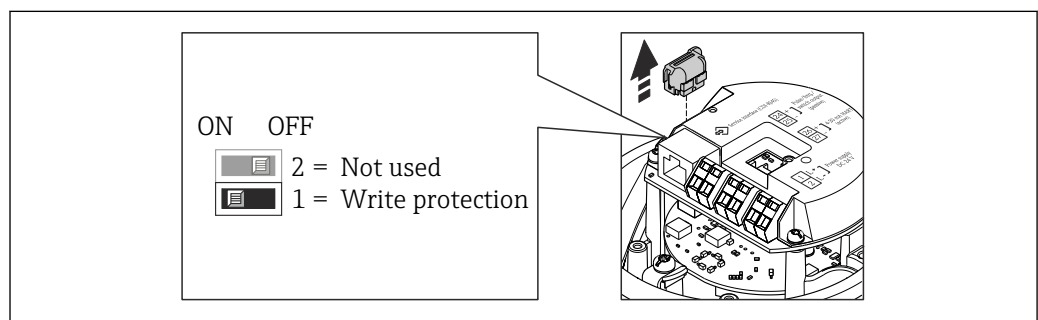
## 10.5.2 書き込み保護スイッチによる書き込み保護

書き込み保護スイッチを使用すると、以下のパラメータ以外のすべての操作メニューへの書き込みアクセスを防ぐことができます。

- 外部の圧力
- 外部の温度
- 基準密度
- 積算計のすべての設定用パラメータ

これによりパラメータ値は読み取り専用となり、編集できなくなります。

- サービスインターフェイス (CDI) 経由
- HART プロトコル経由



A0022571

1. ハウジングの種類に応じて、ハウジングカバーの固定クランプまたは固定ネジを緩めます。
2. ハウジングの種類に応じてハウジングカバーを開くか緩めて外し、必要に応じて、現場表示器をメイン電子モジュールから取り外します → 105。
3. T-DAT をメイン電子モジュールから取り外します。

4. メイン電子モジュールの書き込み保護スイッチを ON 位置に設定すると、ハードウェア書き込み保護が有効になります。メイン電子モジュールの書き込み保護スイッチを OFF 位置（初期設定）に設定すると、ハードウェア書き込み保護が無効になります。
  - ↳ ハードウェア書き込み保護が有効な場合：**ロック状態** パラメータに**ハードウェア書き込みロック** オプション → 70 が表示されます。保護が無効な場合、**ロック状態** パラメータにはオプションが表示されません。→ 70
5. 変換器を再度取り付ける場合は、取り外しと逆の手順を実施してください。

# 11 操作

## 11.1 機器ロック状態の読取り

**ロック状態** パラメータを使用して、現在有効な書き込み保護のタイプを確認することができます。

### ナビゲーション

「操作」メニュー → ロック状態

#### 「ロック状態」パラメータの機能範囲

選択項目	説明
ハードウェア書き込みロック	メイン電子モジュールのハードウェア書き込みロック用ロックスイッチ (DIP スイッチ) が有効になっています。これにより、パラメータへの書き込みアクセスを防ぐことができます → 図 68。
一時ロック	機器の内部処理により (例: データのアップロード/ダウンロード、リセット)、一時的にパラメータへの書き込みアクセスがブロックされます。内部処理が完了すると、再びパラメータを変更することが可能です。

## 11.2 測定値の読取り

**測定値** サブメニューを使用して、すべての測定値を読み取ることが可能です。

「診断」メニュー → 測定値

### 11.2.1 プロセス変数

**プロセス変数** サブメニューには、各プロセス変数の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

#### ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → プロセス変数

#### サブメニューの構成

プロセス変数	→	体積流量
		質量流量
		導電率
		基準体積流量
		温度

#### サブメニューの構成

##### パラメータ概要 (簡単な説明付き)

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス
体積流量	現在測定されている体積流量を表示。	符号付き浮動小数点数
質量流量	現在計算されている質量流量を表示。	符号付き浮動小数点数
導電率	現在計算されている基準体積流量を表示。	符号付き浮動小数点数

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス
基準体積流量	現在の測定温度を表示します。	符号付き浮動小数点数
温度	現在計算されている飽和蒸気圧を表示します。	正の浮動小数点数

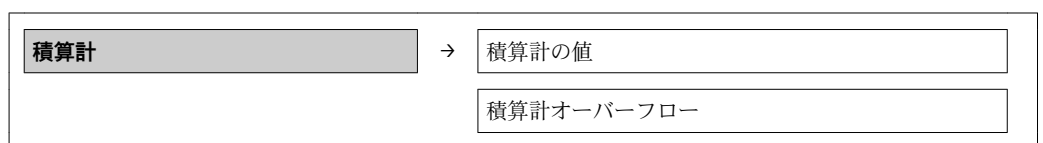
### 11.2.2 積算計

「積算計」サブメニューには、各積算計の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

#### ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → 積算計

#### サブメニューの構成



#### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
積算計の値 1~n	現在の積算計カウンタ値を表示。	符号付き浮動小数点数	01
積算計オーバーフロー 1~n	現在の積算計オーバーフローを表示。	-32000.0~32000.0	0

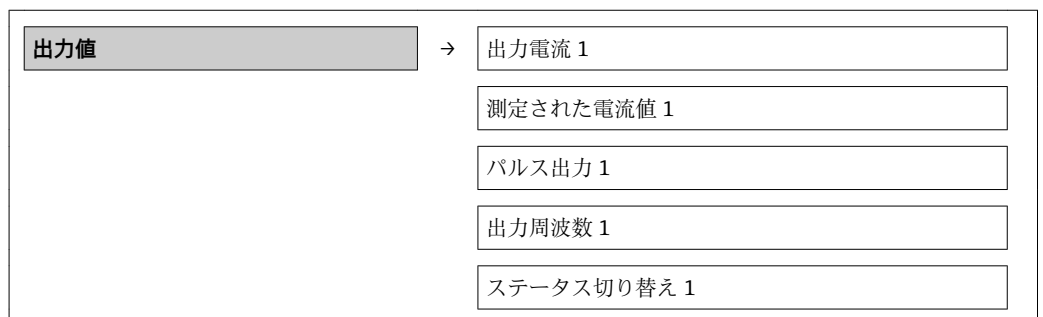
### 11.2.3 出力値

「出力値」サブメニューには、各出力の現在の測定値を表示させるために必要なパラメータがすべて含まれています。

#### ナビゲーション

「診断」メニュー → 測定値 → 出力値

#### サブメニューの構成



#### パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
出力電流 1	電流出力の現在計算されている電流値を表示。	3.59~22.5 mA	3.59 mA
測定された電流値 1	電流出力の現在測定されている電流値を表示。	0~30 mA	0 mA

パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
パルス出力 1	パルス出力の現在測定されている値を表示。	正の浮動小数点数	0 Hz
出力周波数 1	周波数出力の現在測定されている値を表示。	0.0~12 500.0 Hz	0.0 Hz
ステータス切り替え 1	現在のスイッチ出力ステータスを表示。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オープン</li> <li>■ クローズ</li> </ul>	オープン

### 11.3 プロセス条件への機器の適合

プロセス条件に適合させるために、以下の機能があります。

- 基本設定を行う：設定 メニュー → 48
- 高度な設定を行う：高度な設定 サブメニュー → 60

### 11.4 積算計リセットの実行

**操作** サブメニューで積算計をリセット：

- 積算計のコントロール
- すべての積算計をリセット

#### 「積算計のコントロール」パラメータの機能範囲

オプション	説明
積算開始	積算計が開始されます。
停止	積算処理が停止します。
リセット + ホールド	積算処理が停止し、積算計が 0 にリセットされます。
プリセット + ホールド	積算処理が停止し、積算計が <b>プリセット値</b> パラメータ から定義された開始値に設定されます。
リセット + 積算開始	積算計が 0 にリセットされ、積算処理が再開します。
プリセット + 積算開始	積算計が <b>プリセット値</b> パラメータ で定義した開始値に設定され、積算処理が再開します。

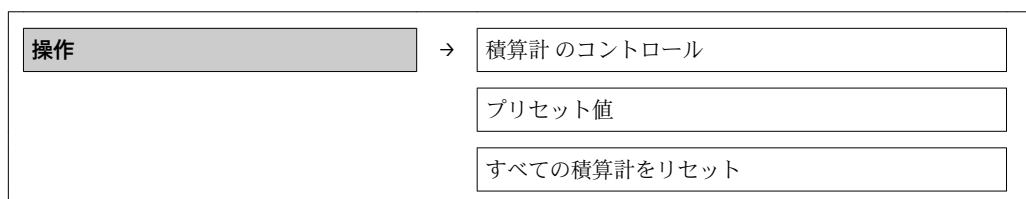
#### 「すべての積算計をリセット」パラメータの機能範囲

オプション	説明
リセット + 積算開始	すべての積算計を 0 にリセットし、積算処理を再開します。それ以前に積算した流量値は消去されません。

#### ナビゲーション

「操作」メニュー → 操作

#### サブメニューの構成





## パラメータ概要（簡単な説明付き）

パラメータ	説明	選択/ユーザー入力	工場出荷時設定
積算計のコントロール	積算計の値をコントロール。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 積算開始</li> <li>■ リセット+ホールド</li> <li>■ プリセット+ホールド</li> <li>■ リセット+積算開始</li> <li>■ プリセット+積算開始</li> </ul>	積算開始
プリセット値	積算計の開始値を指定。	符号付き浮動小数点数	01
すべての積算計をリセット	すべての積算計を0にリセットして積算の開始。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ キャンセル</li> <li>■ リセット+積算開始</li> </ul>	キャンセル


## 12 診断およびトラブルシューティング

### 12.1 一般トラブルシューティング

#### 出力信号用

問題	可能性のある原因	対処法
変換器のメイン電子モジュールの緑色の電源 LED が暗い	電源電圧が銘板に明記された電圧と異なる	正しい電源電圧を印加する → 図 28。
機器測定が正しくない	設定エラーまたは機器が用途範囲外で使用されている	1. 正しいパラメータ設定を確認する。 2. 「技術データ」に明記されたりミット値に従う。

#### アクセス用

問題	可能性のある原因	対処法
パラメータへの書き込みアクセス権がない	ハードウェア書き込み保護が有効	メイン電子モジュールの書き込み保護スイッチを OFF 位置に設定する → 図 68。
HART プロトコル経由の通信が確立されない	通信用抵抗がない、または正しく設置されていない	通信用抵抗 (250 Ω) を正しく設置する。最大負荷に注意する → 図 93。
HART プロトコル経由の通信が確立されない	コミュボックス <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 接続が正しくない</li> <li>▪ 設定が正しくない</li> <li>▪ ドライバが正しくインストールされていない</li> <li>▪ コンピュータの USB インターフェイスの設定が正しくない</li> </ul>	コミュボックスの関連資料を参照する。  FXA195 HART : 技術仕様書 TI00404F
ウェブサーバと接続できない	コンピュータの Ethernet インターフェイスの設定が正しくない	1. インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティを確認する → 図 36。 2. IT マネージャを使用してネットワーク設定を確認する。
ウェブサーバと接続できない	ウェブサーバが無効	「FieldCare」操作ツールを使用して機器のウェブサーバが有効か確認し、必要に応じて有効にする → 図 38。
ウェブブラウザの内容が不完全、または、表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ JavaScript が有効になっていない</li> <li>▪ JavaScript を有効にできない</li> </ul>	1. JavaScript を有効にする。 2. IP アドレスとして http://XXX.XXX.X.XXX/basic.html を入力する。
ウェブブラウザがフリーズし、操作できない	データ転送が作動中	データ転送または現在の動作が完了するまで待ってください。
ウェブブラウザがフリーズし、操作できない	接続が失われた	1. ケーブル接続と電源を確認する。 2. ウェブブラウザを再読み込みし、必要に応じて再起動する。
ウェブブラウザの内容が不完全、または読めない	ウェブブラウザの最適なバージョンが使用されていない	1. 適切なウェブブラウザのバージョンを使用する → 図 36。 2. ウェブブラウザのキャッシュを消去し、ウェブブラウザを再起動する。
ウェブブラウザの内容が不完全、または読めない	不適切な表示設定	ウェブブラウザのフォントサイズ/表示比率を変更する。

## 12.2 発光ダイオードによる診断情報

### 12.2.1 変換器

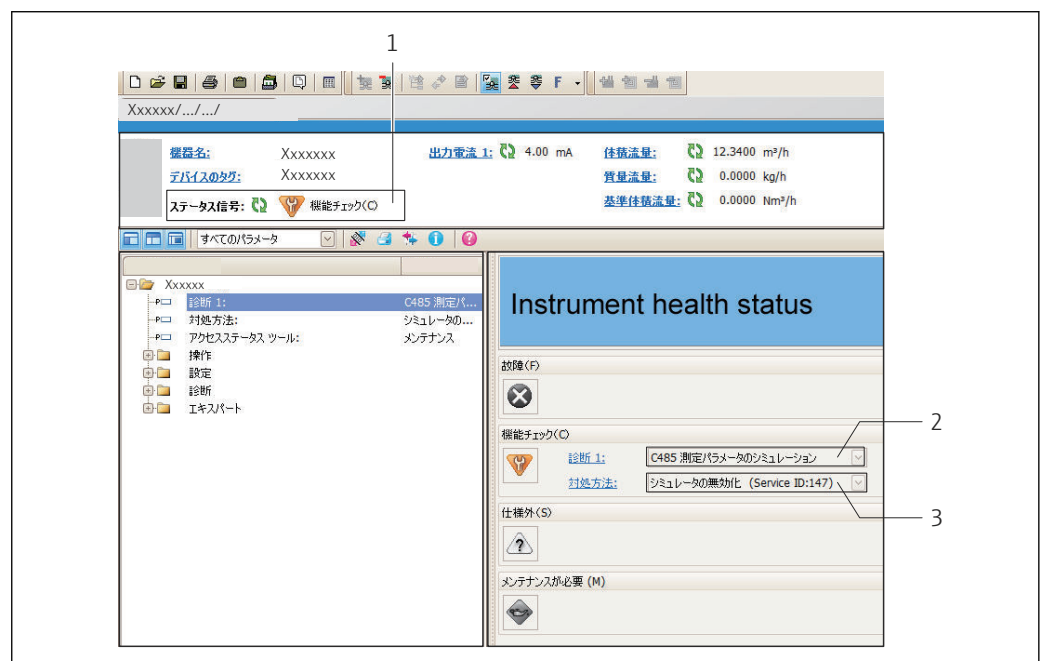
変換器のメイン電子モジュールにある各種の発光ダイオード (LED) が機器ステータス情報を示します。

LED	色	意味
電源	オフ	電源オフまたは供給電圧不足
	緑色	電源 OK
リンク/アクティビティ	オレンジ色	リンクはあるがアクティビティがない
	オレンジ色点滅	アクティビティあり
通信	白色点滅	HART 通信がアクティブ

## 12.3 FieldCare の診断情報

### 12.3.1 診断オプション

機器が検知したエラーは、接続が確立されると操作ツールのホームページに表示されます。








- 1 ステータスエリアとステータス信号
- 2 診断情報 → 76
- 3 対処法とサービス ID

- i** また、発生した診断イベントは、**診断**メニューに表示されます。
- パラメータを使用 → 80
  - サブメニューを使用 → 81

### ステータス信号

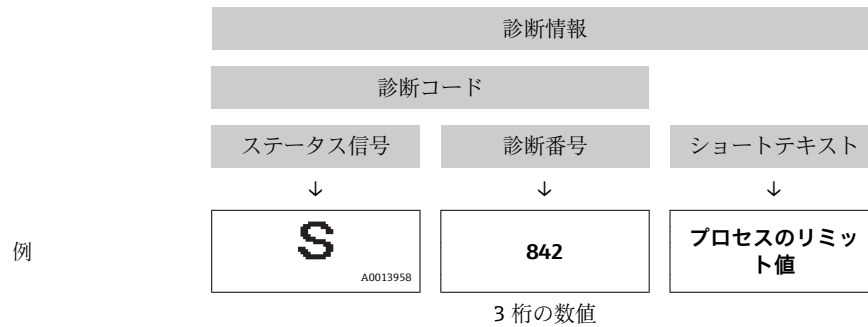
ステータス信号は、診断情報 (診断イベント) の原因を分類することにより、機器の状態および信頼性に関する情報を提供します。

シンボル	意味
 A0017271	<b>エラー</b> 機器エラーが発生。測定値は無効。
 A0017278	<b>機能確認</b> 機器はサービスモード（例：シミュレーション中）
 A0017277	<b>仕様範囲外</b> 機器は作動中： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 技術仕様の範囲外（例：プロセス温度レンジの範囲外）</li> <li>■ ユーザーが実施した設定の範囲外（例：<b>20mAの値</b>の最大流量）</li> </ul>
 A0017276	<b>メンテナンスが必要</b> メンテナンスが必要。測定値は依然として有効。

 ステータス信号は VDI/VDE 2650 および NAMUR 推奨基準 NE 107 に準拠して分類されます。

### 診断情報

診断情報を使用してエラーを特定することが可能です。ショートテキストにより、エラーに関する情報が提供されます。



### 12.3.2 対策情報の呼び出し

問題を迅速に是正できるよう、各診断イベントに対して対策情報が提供されます。

- ホームページ上  
対策情報は、診断情報の下の別個フィールドに表示されます。
- 診断メニュー内  
対策情報はユーザーインターフェイスの作業エリアに呼び出すことが可能です。

診断メニュー内で

1. 必要なパラメータを呼び出します。
2. 作業エリアの右側で、パラメータの上にマウスポインタを移動させます。  
↳ 診断イベントに対する対策情報のヒントが表示されます。

## 12.4 診断情報の適合

### 12.4.1 診断動作の適合

診断情報の各項目には、工場出荷時に特定の診断動作が割り当てられています。特定の診断情報については、ユーザがこの割り当てを**診断j時の動作**サブメニューで変更できます。

「エキスパート」メニュー → システム → 診断イベントの処理 → 診断j時の動作

診断番号に診断動作として次の選択項目を割り当てることが可能です。

オプション	説明
アラーム	測定が中断します。信号出力と積算計が設定されたアラーム状態になります。診断メッセージが生成されます。
警告	測定が再開します。信号出力と積算計は影響を受けません。診断メッセージが生成されます。
ログブック入力のみ	機器は測定を継続します。診断メッセージはイベントログブック（イベントリスト）サブメニューに入力されるだけで、測定値表示と交互に表示されることはありません。
オフ	診断イベントは無視され、診断メッセージの生成または入力には行われません。

## 12.4.2 ステータス信号の適合

診断情報の各項目には、工場出荷時に特定のステータス信号が割り当てられています。特定の診断情報については、ユーザがこの割り当てを**診断イベントの種類**サブメニューで変更できます。


「エキスパート」メニュー → 通信 → 診断イベントの種類


### 使用可能なステータス信号

HART 7 仕様（簡約ステータス）に基づく設定、NAMUR NE107 に準拠

シンボル	意味
<b>F</b> A0013956	<b>エラー</b> 機器エラーが発生。測定値は無効。
<b>C</b> A0013959	<b>機能チェック</b> 機器はサービスモード（例：シミュレーション中）
<b>S</b> A0013958	<b>仕様範囲外</b> 機器は作動中： <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 技術仕様の範囲外（例：許容プロセス温度の範囲外）</li> <li>▪ ユーザーが実施した設定の範囲外（例：<b>20mA</b>の値の最大流量）</li> </ul>
<b>M</b> A0013957	<b>メンテナンスが必要</b> メンテナンスが必要。測定値は依然として有効。
<b>N</b> A0023076	簡約ステータスに影響しません。

## 12.5 診断情報の概要

 機器に1つ以上のアプリケーションパッケージがある場合は、診断情報および関係する測定変数の数は増加します。

 診断情報の一部の項目では、ステータス信号と診断動作を変更することが可能です。診断情報の適合 → 76

診断番号	ショートテキスト	修理	ステータス信号 [工場出荷時]	診断動作 [工場出荷時]
<b>センサの診断</b>				
004	センサ	1. センサを交換 2. 弊社サービスへ連絡	S	Alarm <sup>1)</sup>

診断番号	ショートテキスト	修理	ステータス信号 [工場出荷時]	診断動作 [工場出荷時]
022	センサ温度	1. メイン電子モジュールを交換して下さい。 2. センサを交換して下さい。	F	Alarm
043	センサの短絡	1. センサとケーブルを確認してください。 2. センサまたはケーブルを交換してください。	S	Warning
062	センサ接続	1. センサの接続を確認して下さい。 2. 弊社サービスへご連絡ください。	F	Alarm
082	データストレージ	1. モジュールの接続をチェック 2. 弊社サービスへ連絡	F	Alarm
083	電子メモリ内容	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	F	Alarm
190	Special event 1	Contact service	F	Alarm
<b>電子部の診断</b>				
201	機器の故障	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	F	Alarm
222	電氣的なドリフト	メイン電子モジュールの変更	F	Alarm
242	ソフトウェアの互換性なし	1. ソフトウェアをチェックして下さい。 2. メイン電子モジュールのフラッシュまたは交換をして下さい。	F	Alarm
252	モジュールの互換性なし	1. 電子モジュールをチェック 2. 電子モジュールの交換	F	Alarm
261	電子モジュール	1. 機器を再起動して下さい。 2. 電子モジュールをチェックして下さい。 3. IO モジュールまたはメイン電子モジュールを交換してください。	F	Alarm
262	モジュール接続	1. モジュールの接続をチェック 2. メイン基板の交換	F	Alarm
270	メイン電子モジュール故障	メイン電子モジュールの変更	F	Alarm
271	メイン電子モジュール故障	1. 機器を再起動して下さい。 2. メイン電子モジュールを交換して下さい。	F	Alarm
272	メイン電子モジュール故障	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	F	Alarm
273	メイン電子モジュール故障	電子基板を交換	F	Alarm
281	電氣的な初期化	ファームウェアのアップデート中です、お待ちください！	F	Alarm
283	電子メモリ内容	1. 機器をリセット 2. 弊社サービスへ連絡	F	Alarm
302	機器の検証がアクティブ	機器の検証がアクティブです、お待ちください。	C	Warning
311	電子モジュール故障	1. 機器をリセット 2. 弊社サービスへ連絡	F	Alarm
311	電子モジュール故障	1. 機器をリセットしないでください 2. 弊社サービスへ連絡	M	Warning
322	電氣的なドリフト	1. 検証をマニュアルで実行する。 2. 電子基板を交換する。	S	Warning
375	I/O 通信フェール	1. 機器を再起動して下さい。 2. メイン電子モジュールを交換して下さい。	F	Alarm
382	データストレージ	1. DAT モジュールを挿入 2. DAT モジュールの交換	F	Alarm

診断番号	ショートテキスト	修理	ステータス信号 [工場出荷時]	診断動作 [工場出荷時]
383	電子メモリ内容	1. 機器の再起動 2. DAT モジュールをチェックまたは交換 3. 弊社サービスへ連絡	F	Alarm
390	Special event 2	Contact service	F	Alarm
<b>設定の診断</b>				
410	データ転送	1. 接続をチェックして下さい。 2. データ転送を再試行して下さい。	F	Alarm
411	アップロード/ダウンロードアクティブ	アップロード/ダウンロードがアクティブです。 おまちください。	C	Warning
431	トリム 1	調整の実行	C	Warning
437	設定の互換性なし	1. 機器を再起動して下さい。 2. 弊社サービスへ連絡して下さい。	F	Alarm
438	データセット	1. データセットファイルのチェック 2. 機器設定のチェック 3. 新規設定のアップロード/ダウンロード	M	Warning
441	電流出力 1	1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. 電流出力の設定をチェックして下さい。	S	Warning <sup>1)</sup>
442	周波数出力	1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. 周波数出力の設定をチェックして下さい。	S	Warning <sup>1)</sup>
443	パルス出力	1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. パルス出力の設定をチェックして下さい。	S	Warning <sup>1)</sup>
453	流量の強制ゼロ出力	流量オーバーライドの無効化	C	Warning
484	シミュレーションエラーモード	シミュレータの無効化	C	Alarm
485	測定パラメータのシミュレーション	シミュレータの無効化	C	Warning
491	電流出力 1 のシミュレーション	シミュレータの無効化	C	Warning
492	周波数出力のシミュレーション	シミュレーション周波数出力を無効にする。	C	Warning
493	パルス出力のシミュレーション	シミュレーションパルス出力を無効にする	C	Warning
494	シミュレーションスイッチ出力	シミュレーションスイッチ出力を無効にする。	C	Warning
495	診断イベントのシミュレーション	シミュレータの無効化	C	Warning
500	電極 1 電位が超過	1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. プロセス圧力を上げてください。	F	Alarm
500	電極の電位差が大きすぎる		F	Alarm
530	電極洗浄中。	1. プロセスの状態をチェックして下さい。 2. プロセス圧力を上げてください。	C	Warning
531	空検知	空検知調整の実行	S	Warning <sup>1)</sup>
537	設定	1. IP アドレスの確認 2. IP アドレスの変更	F	Warning
590	Special event 3	Contact service	F	Alarm
<b>プロセスの診断</b>				
803	電流ループ	1. 配線のチェックをして下さい。 2. IO モジュールを交換して下さい。	F	Alarm

診断番号	ショートテキスト	修理	ステータス信号 [工場出荷時]	診断動作 [工場出荷時]
832	基板温度が高すぎます	周囲温度を下げてください。	S	Warning <sup>1)</sup>
833	基板温度が低すぎます	周囲温度を上げて下さい。	S	Warning <sup>1)</sup>
834	プロセス温度が高すぎます	プロセス温度を下げてください。	S	Warning <sup>1)</sup>
835	プロセス温度が低すぎます	プロセス温度を上げてください。	S	Warning <sup>1)</sup>
842	プロセスのリミット値	ローフローカットオフ有効! 1. ローフローカットオフの設定を確認してください。	S	Warning
862	パイプ空	1. プロセス中の気泡をチェックしてください。 2. 空検知の調整をしてください。	S	Warning <sup>1)</sup>
882	入力信号	1. 入力設定をチェック 2. 圧力センサまたはプロセス状態をチェック	F	Alarm
937	EMC 干渉	メイン電子モジュールの変更	S	Warning <sup>1)</sup>
938	EMC 干渉	1. EMC の影響を確認して下さい。 2. 電子基板を交換して下さい。	F	Alarm
990	Special event 4	Contact service	F	Alarm

1) 診断動作を変更できます。

## 12.6 未処理の診断イベント

**診断** メニューを使用すると、現在の診断イベントおよび前回の診断イベントを個別に表示させることが可能です。

**i** 診断イベントの是正策を呼び出す方法：

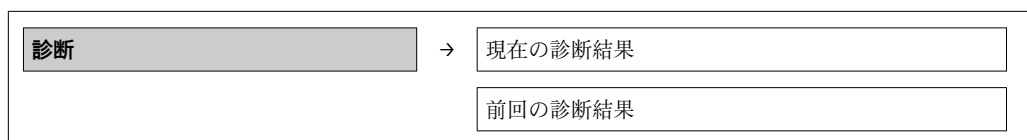
- ウェブブラウザを經由：
- 「FieldCare」操作ツールを經由 → 76

**i** その他の未処理の診断イベントは次に表示されます：**診断リスト** サブメニュー → 81

### ナビゲーション


「診断」メニュー

### サブメニューの構成





## パラメータ概要（簡単な説明付き）



パラメータ	必須条件	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
現在の診断結果	1つの診断イベントが発生していること。	現在の診断イベントが診断情報とともに表示されます。  2つあるいはそれ以上のメッセージが同時に発生した場合は、最優先に処理する必要のあるメッセージが表示されます。	診断動作のシンボル、診断コード、ショートメッセージ	-
前回の診断結果	すでに2つの診断イベントが発生	現在の診断イベントの前に発生した診断イベントが診断情報とともに表示されます。	診断動作のシンボル、診断コード、ショートメッセージ	-

## 12.7 診断リスト

診断リストサブメニューには、関連する診断情報とともに現在未処理の診断イベントが最大5件表示されます。5件以上の診断イベントが未処理の場合は、最優先に処理する必要のあるイベントが表示部に示されます。

## ナビゲーションパス

診断 メニュー → 診断リスト サブメニュー

-  診断イベントの是正策を呼び出す方法：
- ウェブブラウザを經由：
  - 「FieldCare」操作ツールを經由 →  76

## 12.8 イベントログブック



## 12.8.1 イベント履歴

イベントリストサブメニューでは、発生したイベントメッセージの一覧を時系列に表示できます。




## ナビゲーションパス



「診断」メニュー → イベントログブック → イベントリスト



イベント履歴には、次の入力項目が含まれます。

- 診断イベント →  77
- 情報イベント →  82

各イベントの発生時間に加えて、そのイベントの発生または終了を示すシンボルが割り当てられます。

- 診断イベント
  -  : イベント発生
  -  : イベント終了
- 情報イベント
  -  : イベント発生

-  診断イベントの是正策を呼び出す方法：
- ウェブブラウザを經由：
  - 「FieldCare」操作ツールを經由 →  76

-  表示されたイベントメッセージをフィルタリングする場合は、次を参照してください →  82。

## 12.8.2 イベントログブックのフィルタリング

フィルタオプションを使用して、イベントリストサブメニューに表示させるイベントメッセージのカテゴリを設定できます。

### ナビゲーションパス

「診断」メニュー → イベントログブック → フィルタオプション

### フィルタカテゴリ

- すべて
- 故障 (F)
- 機能チェック (C)
- 仕様範囲外 (S)
- メンテナンスが必要 (M)
- 情報 (I)

## 12.8.3 情報イベントの概要

診断イベントとは異なり、情報イベントは診断リストには表示されず、イベントログブックにのみ表示されます。

情報番号	情報名
I1000	----- (装置 OK)
I1089	電源オン
I1090	設定のリセット
I1091	設定変更済
I1110	書き込み保護スイッチ変更
I1137	電子部が交換されました
I1151	履歴のリセット
I1155	電子部内温度のリセット
I1157	メモリエラー イベントリスト
I1185	表示バックアップ完了
I1186	表示ディスプレイでの復元
I1187	表示ディスプレイでダウンロードされた設定
I1188	表示データクリア済
I1189	バックアップ比較完了
I1256	表示: アクセスステータス変更
I1264	安全機能が中断されました
I1278	I/O モジュールのリセットを検出
I1335	ファームウェアの変更
I1351	空検知調整の失敗
I1353	空検知調整の完了
I1361	間違った Web サーバへのログイン
I1397	フィールドバス: アクセスステータス変更
I1398	CDI: アクセスステータス変更
I1444	機器の検証パス
I1445	機器の検証のフェール
I1457	フェール: 測定エラー検証
I1459	フェール: I/O モジュールの検証


情報番号	情報名
I1461	フェール：センサの検証
I1462	フェール：センサの電子機器モジュールの検証

## 12.9 機器のリセット

**機器リセット** パラメータを使用すると、機器設定全体または設定の一部を決められた状態にリセットできます。

「設定」メニュー → 高度な設定 → 管理

### 「機器リセット」パラメータの機能範囲

オプション	説明
キャンセル	何も実行せずにこのパラメータを終了します。
納入時の状態に	ユーザ固有の初期設定で注文されたすべてのパラメータをユーザ固有の値にリセットします。その他のパラメータはすべて、工場出荷時の設定にリセットされます。  ユーザ固有の設定を注文していない場合、この選択項目は表示されません。
機器の再起動	再起動により、揮発性メモリ (RAM) に保存されているすべてのパラメータを工場出荷時の設定にリセットします (例：測定値データ)。機器設定に変更はありません。
履歴のリセット	すべてのパラメータを工場出荷時の設定にリセットします。

## 12.10 機器情報

**機器情報** サブメニューには、機器の識別に必要な各種情報を表示するパラメータがすべて含まれています。

### ナビゲーション

「診断」メニュー → 機器情報

機器情報	→	デバイスのタグ
		シリアル番号
		ファームウェアのバージョン
		機器名
		オーダーコード
		拡張オーダーコード 1
		拡張オーダーコード 2
		拡張オーダーコード 3
		ENP バージョン
		機器リビジョン
		機器 ID
		機器タイプ


	製造者 ID
	IP アドレス
	Subnet mask
	Default gateway


パラメータ概要（簡単な説明付き）


パラメータ	説明	ユーザーインターフェイス	工場出荷時設定
デバイスのタグ	機器のタグを入力。	最大 32 文字（英字、数字、または特殊文字（例：@, %, /）など）	Promag 100
シリアル番号	機器のシリアル番号を表示。	最大 11 文字の英字および数字	79AFF16000
ファームウェアのバージョン	インストールされている機器のファームウェアバージョンを表示。	次の形式の文字列： xx.yy.zz	01.01
機器名	変換器の名称を表示。	英字、数字、特定の句読点から成る文字列	Promag 100
オーダーコード	機器のオーダーコードを表示。	英字、数字、特定の句読点から成る文字列	-
拡張オーダーコード 1	拡張オーダーコードの第 1 部分を表示します。	文字列	-
拡張オーダーコード 2	拡張オーダーコードの第 2 部分を表示します。	文字列	-
拡張オーダーコード 3	拡張オーダーコードの第 3 部分を表示します。	文字列	-
ENP バージョン	電子銘板のバージョンを表示します。	形式 xx.yy.zz の文字列	2.02.00
機器リビジョン	HART Communication Foundation に登録されている、機器の機器リビジョンを表示。	0~255	2
機器 ID	HART ネットワーク内で機器を識別するための機器 ID を表示。	正の整数	6 桁の 16 進数
機器タイプ	HART Communication Foundation に登録されている、機器の機器タイプを表示。	0~255	58
製造者 ID	HART Communication Foundation に登録されている、機器の製造者 ID を表示。	0~255	17
IP アドレス	機器のウェブサーバ IP アドレスを表示。	4 オクテット：0 ~ 255（特定のオクテットにおいて）	192.168.1.212
Subnet mask	サブネットマスクを表示。	4 オクテット：0 ~ 255（特定のオクテットにおいて）	255.255.255.0
Default gateway	デフォルトゲートウェイを表示。	4 オクテット：0 ~ 255（特定のオクテットにおいて）	0.0.0.0

## 12.11 ファームウェアの履歴

リリース日付	ファームウェアのバージョン	「ファームウェアのバージョン」のオーダーコード	ファームウェア変更	資料の種類	関連資料
2013年4月	01.00.00	オプション76	オリジナルファームウェア	取扱説明書	BA01172D/06/EN/01.13
2014年6月	01.01.zz	オプション70	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HART 7 仕様に準拠</li> <li>■ 現場表示器 (オプション) の統合</li> <li>■ 新しい単位「ビールバレル (BBL)」</li> <li>■ 診断イベントのシミュレーション</li> <li>■ Heartbeat アプリケーションパッケージを介した電流および PFS 出力の外部検証</li> <li>■ シミュレーションパルス用の固定値</li> </ul>	取扱説明書	BA01172D/06/EN/02.14

 現行バージョンまたは旧バージョンへのファームウェアの書き換えは、サービスインターフェイス (CDI) を経由して実行できます。

 ファームウェアのバージョンと以前のバージョン、インストールされたデバイス記述ファイルおよび操作ツールとの互換性については、メーカー情報資料の機器情報を参照してください。

 メーカー情報は、以下から入手できます。

- 弊社ウェブサイトのダウンロードエリアより：[www.endress.com](http://www.endress.com) → Download
- 次の詳細を指定します。
  - 製品ルートコード、例：5H1B
  - テキスト検索：メーカー情報
  - 検索範囲：関連資料

## 13 メンテナンス

### 13.1 メンテナンス作業

特別なメンテナンスは必要ありません。

#### 13.1.1 外部洗浄

機器の外部を洗浄する場合は、必ずハウジングまたはシールの表面に傷をつけない洗浄剤を使用してください。

#### 13.1.2 内部洗浄

本機器には、内部洗浄は計画されていません。

#### 13.1.3 シールの交換


センサのシール（特に、無菌成形シール）は定期的に交換する必要があります。


交換間隔は、洗浄サイクルの頻度、洗浄温度、および流体温度に左右されます。

交換用シール（アクセサリ） →  108

### 13.2 測定機器およびテスト機器


エンドレスハウザー社は、W@M またはテスト機器など各種の測定機器やテスト機器を提供しています。

 サービスの詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

 一部の測定機器やテスト機器のリストについては、本機器の技術仕様書の「アクセサリ」章を参照してください。

### 13.3 エンドレスハウザー社サービス

エンドレスハウザー社では、再校正、メンテナンスサービス、またはテスト機器など、メンテナンスに関する幅広いサービスを提供しています。

 サービスの詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

## 14 修理

### 14.1 一般的注意事項

#### 修理および変更コンセプト

エンドレスハウザー社の修理および変更コンセプトでは、次のことが考慮されています。


- 機器はモジュール式の構造となっています。
- スペアパーツは合理的なキットに分類され、関連する取付指示が付属します。
- 修理は、エンドレスハウザー社サービス担当または適切な相応の訓練を受けたユーザーが実施します。
- 認証を取得した機器は、エンドレスハウザー社サービス担当または工場でのみ別の認証取得機器に交換できます。


#### 修理および変更に関する注意事項

機器の修理および変更を行う場合は、次の点に注意してください。


- 弊社純正スペアパーツのみを使用してください。
- 取付指示に従って修理してください。
- 適用される規格、各地域/各国の規定、防爆資料 (XA)、認証を遵守してください。
- 修理および変更はすべて記録し、W@M ライフサイクル管理データベースに入力してください。

### 14.2 スペアパーツ

 機器シリアル番号：

- 機器の銘板に明記されています。
- **機器情報**サブメニューの**シリアル番号**から読み取ることができます →  83。

### 14.3 エンドレスハウザー社サービス

 サービスおよびスペアパーツの詳細については、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。

### 14.4 返却

測定機器の修理または出荷時校正が必要な場合、あるいは間違った注文により測定機器が納入された場合、その測定機器を返却する必要があります。エンドレスハウザーは ISO 認定企業として法規制に基づいて、測定物と接触する返却製品に対して所定の手順を実行する必要があります。

安全かつ確実な機器の返却を迅速に行うために、エンドレスハウザーの Web サイト ([www.services.endress.com/return-material](http://www.services.endress.com/return-material)) の返却の手順と条件をご覧ください。

### 14.5 廃棄

#### 14.5.1 機器の取外し

1. 機器の電源をオフにします。

**2. ⚠ 警告**

プロセス条件によっては、危険が及ぶ可能性があります。

- ▶ 機器内の圧力、高温、腐食性流体を使用するなど、危険なプロセス条件の場合には注意してください。

「機器の取付け」および「機器の接続」章に明記された取付けおよび接続手順と論理的に逆の手順を実施してください。安全注意事項に従ってください。

**14.5.2 機器の廃棄****⚠ 警告**

健康に有害な流体によって、人体や環境に危険が及ぶ可能性があります。

- ▶ 隙間に入り込んだ、またはプラスチックから拡散した物質など、健康または環境に有害な残留物を、機器および隙間の溝からすべて確実に除去してください。

廃棄する際には、以下の点に注意してください。

- 適用される各地域/各国の規定を遵守してください。
- 機器コンポーネントを適切に分別および再利用してください。



## 15 アクセサリ


機器と一緒に、もしくは別途注文可能なアクセサリが多種用意されています。詳細は、最寄りの弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせください。オーダーコードに関する詳細は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせいただくか、弊社ウェブサイトの製品ページをご覧ください：[www.endress.com](http://www.endress.com)。

### 15.1 機器固有のアクセサリ

#### 15.1.1 変換器用



アクセサリ	説明
接地ケーブル	電位平衡用のアース線 2 本を含むセット

#### 15.1.2 センサ用


アクセサリ	説明
アースリング	<p>確実に正確な測定が行われるよう、ライニングされた計測チューブ内の流体を接地するために使用します。</p> <p> 詳細については、インストールガイド EA00070D (英文) を参照してください。</p>

### 15.2 通信関連のアクセサリ


アクセサリ	説明
Commubox FXA195 HART	<p>USB インターフェイスを介して、FieldCare と本質安全な HART 通信を行うため使用します。</p> <p> 詳細については、「技術仕様書」TI00404F を参照してください。</p>
HART ループコンバータ HMX50	<p>ダイナミック HART プロセス変数からアナログ電流信号またはリミット値への演算および変換のために使用されます。</p> <p> 詳細については、「技術仕様書」TI00429F および「取扱説明書」BA00371F を参照してください。</p>
Wireless HART アダプタ SWA70	<p>フィールド機器の無線接続に使用されます。</p> <p>WirelessHART アダプタは、容易にフィールド機器や既存設備に統合できます。データ保護および伝送の安全性を確保し、複雑なケーブル配線を最低限に抑えて、その他の無線ネットワークと同時に使用できます。</p> <p> 詳細については、「取扱説明書」BA00061S を参照してください。</p>
Fieldgate FXA320	<p>接続された 4~20 mA 機器を、ウェブブラウザを介してリモート監視するためのゲートウェイです。</p> <p> 詳細については、「技術仕様書」TI00025S および「取扱説明書」BA00053S を参照してください。</p>
Fieldgate FXA520	<p>接続された HART 機器を、ウェブブラウザを介してリモート診断およびリモート設定するためのゲートウェイです。</p> <p> 詳細については、「技術仕様書」TI00025S および「取扱説明書」BA00051S を参照してください。</p>

Field Xpert SFX350	Field Xpert SFX350 は、設定およびメンテナンス用のモバイルコンピュータです。 <b>非危険場所</b> での HART および FOUNDATION Fieldbus 機器の効率的な機器設定および診断が可能です。  詳細については、「取扱説明書」BA01202S を参照してください。
Field Xpert SFX370	Field Xpert SFX370 は、設定およびメンテナンス用のモバイルコンピュータです。 <b>非危険場所</b> および <b>危険場所</b> での HART および FOUNDATION fieldbus 機器の効率的な機器設定および診断が可能です。  詳細については、「取扱説明書」BA01202S を参照してください。

### 15.3 サービス関連のアクセサリ

アクセサリ	説明
アプリケーション	<p>エンドレスハウザー社製機器のセレクション/サイジング用ソフトウェア。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最適な流量計を選定するために必要なあらゆるデータの計算（例：呼び口径、圧力損失、精度、プロセス接続）</li> <li>■ 計算結果を図で表示</li> </ul> <p>プロジェクトの全期間中、あらゆるプロジェクト関連データおよびパラメータの管理、文書化、アクセスが可能です。</p> <p>アプリケーションは以下から入手できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ インターネット経由：<a href="https://wapps.endress.com/appliator">https://wapps.endress.com/appliator</a></li> <li>■ 現場 PC へのインストール用 CD-ROM</li> </ul>
W@M	<p>プラントのライフサイクル管理</p> <p>W@M は幅広いソフトウェアアプリケーションを使用して、計画および調達から機器の設置、設定、操作まで、あらゆるプロセスをサポートします。機器ステータス、スペアパーツ、機器固有の資料など、重要な機器情報がすべて、各機器ごとに全ライフサイクルにわたって提供されます。</p> <p>アプリケーションには、すでにお使いのエンドレスハウザー社製機器のデータが入っています。記録データの維持やアップデートについてもエンドレスハウザー社が行います。</p> <p>W@M は以下から入手できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ インターネット経由：<a href="http://www.endress.com/lifecyclemanagement">www.endress.com/lifecyclemanagement</a></li> <li>■ 現場 PC へのインストール用 CD-ROM</li> </ul>
FieldCare	<p>エンドレスハウザー社の FDT ベースのプラントアセットマネジメントツールです。</p> <p>システム内にあるすべての高性能フィールド機器を設定し、その管理をサポートすることが可能です。ステータス情報を使用することにより、ステータスと状態を簡単かつ効果的にチェックすることができます。</p> <p> 詳細については、「取扱説明書」BA00027S および BA00059S を参照してください。</p>

### 15.4 システムコンポーネント

アクセサリ	説明
メモグラフ M グラフィックディスプレイレコーダ	<p>関連するすべての測定変数の情報を提供します。測定値を正確に記録し、リミット値の監視、計測ポイントの解析を行います。このデータは、256 MB の内部メモリに保存され、SD カードまたは USB スティックにも保存されます。</p> <p> 詳細については、「技術仕様書」TI00133R および「取扱説明書」BA00247R を参照してください。</p>

## 16 技術データ

### 16.1 用途

注文したバージョンに応じて、本機器は爆発性、可燃性、毒性、酸化性の測定物も測定できます。

本機器の寿命中に適切な動作条件下での作動を保証するため、本機器を使用できるのは、接液部材質がその測定物に対する耐食性を示す場合にに限られます。

### 16.2 機能とシステム構成

測定原理

電磁誘導のファラデーの法則に基づいた電磁式流量測定です。

計測システム

機器の型は 1 種類：一体型、変換器とセンサが機械的に一体になっています。

機器構造に関する詳細 → 10

### 16.3 入力

測定変数

**直接測定するプロセス変数**

- 体積流量（起電力に比例）
- 導電率

**計算された測定変数**

- 質量流量
- 基準体積流量

測定範囲

通常は、所定の精度で  $v = 0.01 \sim 10 \text{ m/s}$  ( $0.03 \sim 33 \text{ ft/s}$ )

導電率：5～10 000  $\mu\text{S/cm/cm}$

**流量値 (SI 単位)**

呼び口径		推奨 流量 最小/最大フルスケール値 ( $v \sim 0.3/10 \text{ m/s}$ )	工場出荷時設定		
[mm]	[in]		電流出力のフルスケール値 ( $v \sim 2.5 \text{ m/s}$ )	パルス値 ( $\sim 2 \text{ パルス/s}$ )	ローフローカット オフ ( $v \sim 0.04 \text{ m/s}$ )
		[ $\text{dm}^3/\text{min}$ ]	[ $\text{dm}^3/\text{min}$ ]	[ $\text{dm}^3$ ]	[ $\text{dm}^3/\text{min}$ ]
15	½	4～100	25	0.2	0.5
25	1	9～300	75	0.5	1
32	–	15～500	125	1	2
40	1 ½	25～700	200	1.5	3
50	2	35～1100	300	2.5	5
65	–	60～2000	500	5	8
80	3	90～3000	750	5	12
100	4	145～4700	1200	10	20
125	–	220～7500	1850	15	30

呼び口径		推奨 流量 最小/最大フルスケール値 (v ~ 0.3/10 m/s)	工場出荷時設定		
			電流出力のフルスケール値 (v ~ 2.5 m/s)	パルス値 (~ 2 パルス/s)	ローフローカットオフ (v ~ 0.04 m/s)
[mm]	[in]	[dm <sup>3</sup> /min]	[dm <sup>3</sup> /min]	[dm <sup>3</sup> ]	[dm <sup>3</sup> /min]
150	6	20~600 m <sup>3</sup> /h	150 m <sup>3</sup> /h	0.03 m <sup>3</sup>	2.5 m <sup>3</sup> /h
200	8	35~1100 m <sup>3</sup> /h	300 m <sup>3</sup> /h	0.05 m <sup>3</sup>	5 m <sup>3</sup> /h
250	10	55~1700 m <sup>3</sup> /h	500 m <sup>3</sup> /h	0.05 m <sup>3</sup>	7.5 m <sup>3</sup> /h
300	12	80~2400 m <sup>3</sup> /h	750 m <sup>3</sup> /h	0.1 m <sup>3</sup>	10 m <sup>3</sup> /h
350	14	110~3300 m <sup>3</sup> /h	1000 m <sup>3</sup> /h	0.1 m <sup>3</sup>	15 m <sup>3</sup> /h
400	16	140~4200 m <sup>3</sup> /h	1200 m <sup>3</sup> /h	0.15 m <sup>3</sup>	20 m <sup>3</sup> /h
450	18	180~5400 m <sup>3</sup> /h	1500 m <sup>3</sup> /h	0.25 m <sup>3</sup>	25 m <sup>3</sup> /h
500	20	220~6600 m <sup>3</sup> /h	2000 m <sup>3</sup> /h	0.25 m <sup>3</sup>	30 m <sup>3</sup> /h
600	24	310~9600 m <sup>3</sup> /h	2500 m <sup>3</sup> /h	0.3 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> /h

## 流量値 (US 単位)

呼び口径		推奨 流量 最小/最大フルスケール値 (v ~ 0.3/10 m/s)	工場出荷時設定		
			電流出力のフルスケール値 (v ~ 2.5 m/s)	パルス値 (~ 2 パルス/s)	ローフローカットオフ (v ~ 0.04 m/s)
[in]	[mm]	[gal/min]	[gal/min]	[gal]	[gal/min]
½	15	1.0~27	6	0.1	0.15
1	25	2.5~80	18	0.2	0.25
1 ½	40	7~190	50	0.5	0.75
2	50	10~300	75	0.5	1.25
3	80	24~800	200	2	2.5
4	100	40~1250	300	2	4
6	150	90~2650	600	5	12
8	200	155~4850	1200	10	15
10	250	250~7500	1500	15	30
12	300	350~10600	2400	25	45
14	350	500~15000	3600	30	60
16	400	600~19000	4800	50	60
18	450	800~24000	6000	50	90
20	500	1000~30000	7500	75	120
24	600	1400~44000	10500	100	180

## 推奨の測定範囲

「流量制限」セクションを参照 → 100

計測可能流量範囲


1000 : 1

## 入力信号

## 外部測定値

特定の測定変数の精度を上げるか、または基準体積流量を計算するため、オートメーションシステムにより機器にさまざまな測定値を連続して書き込むことができます。

- 精度を上げるための動作圧力（絶対圧力用の圧力伝送器（セラバー M やセラバー S など）を使用することをお勧めします）
- 精度を上げるための流体温度（iTEMP）
- 基準体積流量を計算するための基準密度

 エンドレスハウザー社では各種の圧力伝送器と温度機器を用意しています。「アクセサリ」章を参照してください → 90。

以下の測定変数を計算するために外部測定値を読み込むことをお勧めします。  
基準体積流量

## HART プロトコル

HART プロトコルを介して測定値がオートメーションシステムから機器に書き込まれます。圧力伝送器は以下のプロトコル固有の機能に対応しなければなりません。

- HART プロトコル
- バーストモード

## 16.4 出力

## 出力信号

## 電流出力

電流出力	4~20 mA HART（アクティブ）
最大出力値	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DC 24 V（流量なし）</li> <li>■ 22.5 mA</li> </ul>
負荷	0~700 Ω
分解能	0.38 μA
ダンピング	調整可能：0.07~999 秒
割り当て可能な測定変数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正導電率</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> </ul>

## パルス/周波数/スイッチ出力

機能	パルス、周波数、またはスイッチ出力に設定可能
バージョン	パッシブ、オープンコレクタ
最大入力値	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DC 30 V</li> <li>■ 25 mA</li> </ul>
電圧降下	25 mA の場合：≤ DC 2 V
<b>パルス出力</b>	
パルス幅	調整可能：0.05~2 000 ms
最大パルスレート	10 000 Impulse/s
パルスの値	調整可
割り当て可能な測定変数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> </ul>

周波数出力	
出力周波数	調整可能：0～10000 Hz
ダンピング	調整可能：0～999 秒
ハイ/ロー	1:1
割り当て可能な測定変数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体積流量</li> <li>■ 質量流量</li> <li>■ 基準体積流量</li> <li>■ 流速</li> <li>■ 導電率</li> <li>■ 補正導電率</li> <li>■ 温度</li> <li>■ 電気部内温度</li> </ul>
スイッチ出力	
スイッチング動作	2 値、導通または非導通
スイッチング遅延	調整可能：0～100 秒
スイッチング回数	無制限
割り当て可能な機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフ</li> <li>■ オン</li> <li>■ 診断時の動作</li> <li>■ リミット値： <ul style="list-style-type: none"> <li>- オフ</li> <li>- 体積流量</li> <li>- 質量流量</li> <li>- 基準体積流量</li> <li>- 流速</li> <li>- 導電率</li> <li>- 補正導電率</li> <li>- 積算計 1～3</li> <li>- 温度</li> <li>- 電気部内温度</li> </ul> </li> <li>■ 流れ方向監視</li> <li>■ ステータス <ul style="list-style-type: none"> <li>- 空検知</li> <li>- ローフローカットオフ</li> </ul> </li> </ul>

アラーム時の信号

インターフェイスに応じて、以下のようにエラー情報が表示されます。

### 電流出力

#### 4～20 mA

フェールセーフモード	選択可能 (NAMUR 推奨 NE 43 に準拠) : <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最小値：3.6 mA</li> <li>■ 最大値：22 mA</li> <li>■ 決めた値：3.59～22.5 mA</li> <li>■ 実際の値</li> <li>■ 最後の有効値</li> </ul>
------------	--

### HART

機器診断	HART コマンド 48 を介して機器状況を読み取ることができます。
------	------------------------------------


### パルス/周波数/スイッチ出力

パルス出力	
フェールセーフモード	以下から選択： <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実際の値</li> <li>■ パルスなし</li> </ul>

周波数出力	
フェールセーフモード	以下から選択： <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 実際の値</li> <li>▪ 決めた値：0～12 500 Hz</li> <li>▪ 0 Hz</li> </ul>
スイッチ出力	
フェールセーフモード	以下から選択： <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 現在のステータス</li> <li>▪ オープン</li> <li>▪ クローズ</li> </ul>

### 現場表示器

ブレンテキスト表示	原因と対処法に関する情報
バックライト	赤のバックライトは機器エラーを示します。

 NAMUR 推奨 NE 107 に準拠するステータス信号

### 操作ツール

- デジタル通信経由：
  - HART プロトコル
- サービスインターフェイス経由

ブレンテキスト表示	原因と対処法に関する情報
-----------	--------------

### ウェブブラウザ



ブレンテキスト表示	原因と対処法に関する情報
-----------	--------------

ローフローカットオフ      ローフローカットオフ値はユーザーが任意に設定可能

電氣的絶縁性      以下の接続は、それぞれ電氣的に絶縁されています。


- 出力
- 電源

プロトコル固有のデータ      **HART**

- DD ファイルに関する情報用 →  44
- 動的変数および測定変数に関する情報用 (HART 機器変数) →  44

## 16.5 電源

端子の割当て      →  27

機器プラグのピンの割当て      →  28

電源	<b>変換器</b> すべての通信タイプを備えた機器の場合：DC 20～30 V 電源を試験して、電源が安全要件（PELV、SELV など）を満たすことを確認する必要があります。
----	---

消費電力	<b>変換器</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>「出力」のオーダーコード</th> <th>最大消費電力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オプション B：4～20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力</td> <td>3.5 W</td> </tr> </tbody> </table>	「出力」のオーダーコード	最大消費電力	オプション B：4～20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力	3.5 W
「出力」のオーダーコード	最大消費電力				
オプション B：4～20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力	3.5 W				

消費電流	<b>変換器</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>「出力」のオーダーコード</th> <th>最大消費電流</th> <th>最大電源投入時の突入電流：</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オプション B：4～20mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力</td> <td>145 mA</td> <td>18 A (&lt; 0.125 ms)</td> </tr> </tbody> </table>	「出力」のオーダーコード	最大消費電流	最大電源投入時の突入電流：	オプション B：4～20mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力	145 mA	18 A (< 0.125 ms)
「出力」のオーダーコード	最大消費電流	最大電源投入時の突入電流：					
オプション B：4～20mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力	145 mA	18 A (< 0.125 ms)					

電源障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 積算計は測定された最後の有効値で停止します。</li> <li>■ 機器の種類に応じて、設定は機器メモリまたはプラグインメモリ（HistoROM DAT）に保持されます。</li> <li>■ エラーメッセージ（総稼働時間を含む）が保存されます。</li> </ul>
------	---

電気配線 → 28

電位平衡 → 30

端子	<b>変換器</b> スプリング端子、ケーブル断面積 0.5～2.5 mm <sup>2</sup> (20～14 AWG)
----	---

電線管接続口	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ケーブルグラウンド：M20 × 1.5 使用ケーブル φ6～12 mm (0.24～0.47 in)</li> <li>■ 電線管接続口用ねじ：             <ul style="list-style-type: none"> <li>- NPT ½"</li> <li>- G ½"</li> <li>- M20</li> </ul> </li> </ul>
--------	---

ケーブル仕様 → 26

## 16.6 性能特性

基準動作条件	<b>DIN EN 29104 に準拠</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 流体温度：+28 ± 2 °C (+82 ± 4 °F)</li> <li>■ 周囲温度範囲：+22 ± 2 °C (+72 ± 4 °F)</li> <li>■ ウォームアップ時間：30 min</li> </ul>
--------	--



**設置**

- 上流側 > 10 × DN
- 下流側 > 5 × DN
- センサおよび変換器を接地のこと
- センサが配管中心部に位置するように設置すること


## 最大測定誤差

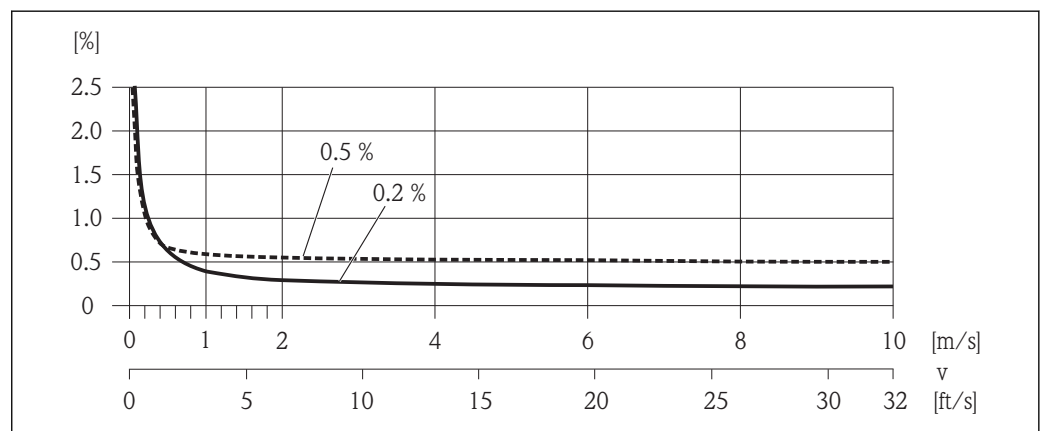
**基準動作条件下での誤差範囲**

o.r. = 読み値

**体積流量**

- ±0.5 % o.r. ± 1 mm/s (0.04 in/s)
- オプション : ±0.2 % o.r. ± 2 mm/s (0.08 in/s)

 仕様の範囲内では電源電圧変動の影響なし



A0005531


図 16 最大測定誤差 (%) o.r.

**導電率**

最大測定誤差仕様なし

**出力の精度**

o.r. = 読み値、o.f.s. = 対フルスケール値

 アナログ出力を使用する場合は、出力精度を測定誤差に含める必要があります。ただし、フィールドバス出力（例：Modbus RS485、EtherNet/IP）の場合は無視できます。

**電流出力**

精度	最大 ±0.05 % o.f.s. または ±5 μA
----	-----------------------------

**パルス/周波数出力**

精度	最大 ±50 ppm o.r.
----	-----------------

## 繰り返し性

o.r. = 読み値

**体積流量**

最大 ±0.1 % o.r. ± 0.5 mm/s (0.02 in/s)

**導電率**

最大 ±5 % o.r.

温度測定応答時間  $T_{90} < 15$  秒

周囲温度の影響 o.r. = 読み値、o.f.s. = 対フルスケール値


### 電流出力

温度係数	最大 $\pm 50$ ppm/ $^{\circ}\text{C}$ o.f.s. または $\pm 1$ $\mu\text{A}/^{\circ}\text{C}$
------	---


### パルス/周波数出力

温度係数	最大 $\pm 50$ ppm o.r./ $100^{\circ}\text{C}$
------	---

## 16.7 設置

「取付要件」 →  16

## 16.8 環境

周囲温度範囲 →  18

保管温度 変換器とその測定センサの動作温度範囲は、保管温度の範囲と一致しています。

- 機器を保管している間、表面温度が許容限界を越えることがないように直射日光にさらさないようにしてください。
- カビやバクテリアの発生によりライニングが損傷する恐れがあるため、機器内に湿気が溜まらない保管場所を選定してください。
- 保護キャップまたは保護カバーが取り付けられている場合は、絶対に機器取付の前に外さないでください。

保護等級 **変換器とセンサ**

- 標準：IP66/67、タイプ 4Xハウジング
- 「センサオプション」のオーダーコード、オプション **CM** の場合：IP69K も注文可能
- ハウジング開放時：IP20、タイプ 1ハウジング
- 表示モジュール：IP20、タイプ 1ハウジング

耐衝撃 IEC/EN 60068-2-31 に準拠


耐振動性 加速度 最大 2 g (IEC 60068-2-6)

機械的負荷

- 衝撃や打撃などの機械的な影響に対して変換器ハウジングを保護してください。
- 絶対に、変換器ハウジングを踏み台や足場として使用しないでください。

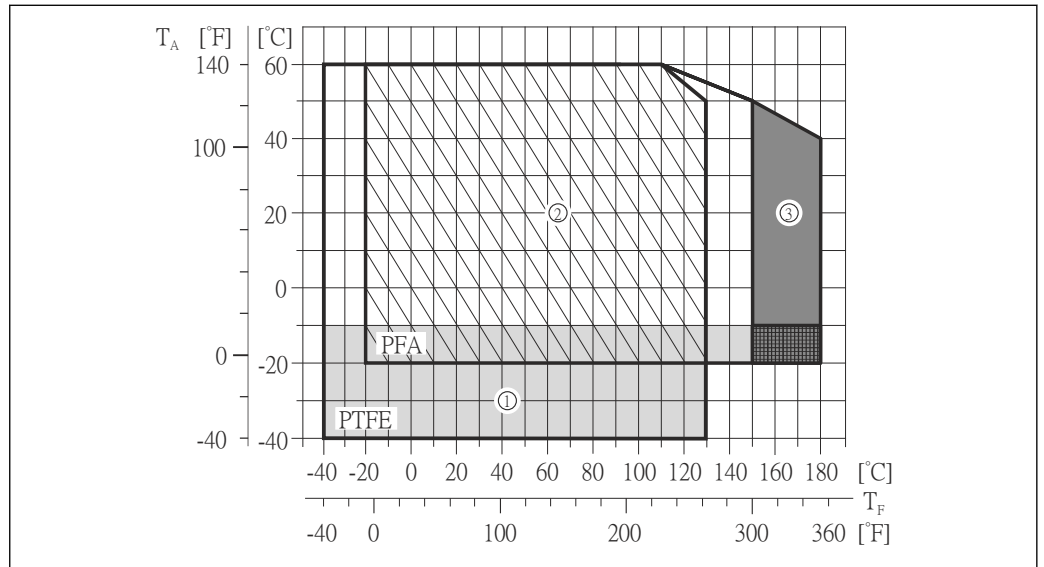
電磁適合性 (EMC)

- IEC/EN 61326 および NAMUR 推奨基準 21 (NE 21) に準拠
- EN 55011 (クラス A) 準拠の工業用放射限度に適合

 詳細については、適合宣言を参照してください。

## 16.9 プロセス

流体温度範囲



A0019742

T<sub>A</sub> 周囲温度


T<sub>F</sub> 流体温度

- 1 グレー部分：周囲温度および流体温度範囲  $-10 \sim -40 \text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $-14 \sim -40 \text{ }^{\circ}\text{F}$ ) はステンレス製フランジにのみ適用されます。
- 2 斜線部分：厳しい環境および IP68 は最大  $+130 \text{ }^{\circ}\text{C}$  ( $+266 \text{ }^{\circ}\text{F}$ )
- 3 濃いグレー部分：断熱材付きの高温バージョン

導電率

$\geq 5 \text{ } \mu\text{S/cm}$  : 一般的な液体の場合

圧力温度曲線

 プロセス接続の圧力温度曲線の概要が『技術仕様書』に記載されています。

耐圧力特性

「-」 = 仕様規定不可

### ライニング : PFA

呼び口径		流体温度別の絶対圧力の限界値 [kPa] ([psi]) :		
[mm]	[in]	+25 °C (+77 °F)	+80 °C (+176 °F)	+100 ~ +180 °C (+212 ~ +356 °F)
25	1	0 (0)	0 (0)	0 (0)
32	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)
40	1 ½	0 (0)	0 (0)	0 (0)
50	2	0 (0)	0 (0)	0 (0)
65	-	0 (0)	-	0 (0)
80	3	0 (0)	-	0 (0)
100	4	0 (0)	-	0 (0)
125	-	0 (0)	-	0 (0)
150	6	0 (0)	-	0 (0)
200	8	0 (0)	-	0 (0)


## ライニング : PTFE



呼び口径		流体温度別の絶対圧力の限界値 [kPa] ([psi]) :			
[mm]	[in]	+25 °C (+77 °F)	+80 °C (+176 °F)	+100 °C (+212 °F)	+130 °C (+266 °F)
15	½	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100 (1.45)
25	1	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100 (1.45)
32	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100 (1.45)
40	1 ½	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100 (1.45)
50	2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	100 (1.45)
65	-	0 (0)	-	40 (0.58)	130 (1.89)
80	3	0 (0)	-	40 (0.58)	130 (1.89)
100	4	0 (0)	-	135 (1.96)	170 (2.47)
125	-	135 (1.96)	-	240 (3.48)	385 (5.58)
150	6	135 (1.96)	-	240 (3.48)	385 (5.58)
200	8	200 (2.90)	-	290 (4.21)	410 (5.95)
250	10	330 (4.79)	-	400 (5.80)	530 (7.69)
300	12	400 (5.80)	-	500 (7.25)	630 (9.14)
350	14	470 (6.82)	-	600 (8.70)	730 (10.6)
400	16	540 (7.83)	-	670 (9.72)	800 (11.6)
450	18	負圧は許容されません。			
500	20				
600	24				

## 流量制限


センサ呼び口径は配管の口径と流量で決まります。最適な流速は 2~3 m/s (6.56~9.84 ft/s) です。流速 (v) は流体の物理的特性に合わせてください。

- $v < 2 \text{ m/s}$  (6.56 ft/s) : 研磨性のある流体の場合 (例: 陶土、石灰乳、鉍石スラリー)
- $v > 2 \text{ m/s}$  (6.56 ft/s) : 付着物が発生する流体の場合 (例: 汚泥)

 センサの呼び口径を小さくすると、必要な流速の増加が可能です。

 測定レンジフルスケール値の概要については、「測定レンジ」の章を参照してください。→  91

## 圧力損失

- センサ呼び口径が配管と同じであれば、圧力損失は発生しません。
- DIN EN 545 に準拠したアダプタ (レデューサ、エキスパンダ) を使用する場合は、圧力損失が発生します →  20。

## 使用圧力


→  19

## 振動

→  19

## 16.10 構造

## 構造、寸法

 機器の外形寸法および取付寸法については、「技術仕様書」の「構造」の章を参照してください。

## 質量

## 一体型

- 変換器を含む
- 高温バージョン + 1.5 kg (3.31 lb)
- 質量仕様は標準の圧力仕様の場合で、梱包材を含みません。

## 質量 (SI 単位)

呼び口径		EN (DIN)、AS <sup>1)</sup>		ASME		JIS	
[mm]	[in]	圧力定格	[kg]	圧力定格	[kg]	圧力定格	[kg]
15	½	PN 40	4.5	Class 150	4.5	10K	4.5
25	1	PN 40	5.3	Class 150	5.3	10K	5.3
32	-	PN 40	6	Class 150	-	10K	5.3
40	1 ½	PN 40	7.4	Class 150	7.4	10K	6.3
50	2	PN 40	8.6	Class 150	8.6	10K	7.3
65	-	PN 16	10	Class 150	-	10K	9.1
80	3	PN 16	12	Class 150	12	10K	10.5
100	4	PN 16	14	Class 150	14	10K	12.7
125	-	PN 16	19.5	Class 150	-	10K	19
150	6	PN 16	23.5	Class 150	23.5	10K	22.5
200	8	PN 10	43	Class 150	43	10K	39.9
250	10	PN 10	63	Class 150	73	10K	67.4
300	12	PN 10	68	Class 150	108	10K	70.3
350	14	PN 10	103	Class 150	173		
400	16	PN 10	118	Class 150	203		
450	18	PN 10	159	Class 150	253		
500	20	PN 10	154	Class 150	283		
600	24	PN 10	206	Class 150	403		

1) AS 準拠のフランジの場合、25 および 50 mm しか使用できません。

## 質量 (US 単位)

呼び口径		ASME	
[mm]	[in]	圧力定格	[lbs]
15	½	Class 150	9.92
25	1	Class 150	11.7
40	1 ½	Class 150	16.3
50	2	Class 150	19.0
80	3	Class 150	26.5
100	4	Class 150	30.9
150	6	Class 150	51.8
200	8	Class 150	94.8
250	10	Class 150	161.0
300	12	Class 150	238.1
350	14	Class 150	381.5
400	16	Class 150	447.6

呼び口径		ASME	
[mm]	[in]	圧力定格	[lbs]
450	18	Class 150	557.9
500	20	Class 150	624.0
600	24	Class 150	888.6

## 計測チューブ仕様

呼び口径		圧力定格					プロセス接続部内径			
[mm]	[in]	EN (DIN)	ASME	AS 2129	AS 4087	JIS	PFA		PTFE	
		[bar]	[psi]	[bar]	[bar]	[bar]	[mm]	[in]	[mm]	[in]
15	½	PN 40	Class 150	-	-	20K	-	-	15	0.59
25	1	PN 40	Class 150	テーブル E	-	20K	23	0.91	26	1.02
32	-	PN 40	-	-	-	20K	32	1.26	35	1.38
40	1 ½	PN 40	Class 150	-	-	20K	36	1.42	41	1.61
50	2	PN 40	Class 150	テーブル E	PN 16	10K	48	1.89	52	2.05
65	-	PN 16	-	-	-	10K	63	2.48	67	2.64
80	3	PN 16	Class 150	-	-	10K	75	2.95	80	3.15
100	4	PN 16	Class 150	-	-	10K	101	3.98	104	4.09
125	-	PN 16	-	-	-	10K	126	4.96	129	5.08
150	6	PN 16	Class 150	-	-	10K	154	6.06	156	6.14
200	8	PN 10	Class 150	-	-	10K	201	7.91	202	7.95
250	10	PN 10	Class 150	-	-	10K	-	-	256	10.1
300	12	PN 10	Class 150	-	-	10K	-	-	306	12.0
350	14	PN 10	Class 150	-	-	-	-	-	337	13.3
400	16	PN 10	Class 150	-	-	-	-	-	387	15.2
450	18	PN 10	Class 150	-	-	-	-	-	432	17.0
500	20	PN 10	Class 150	-	-	-	-	-	487	19.2
600	24	PN 10	Class 150	-	-	-	-	23	593	23.3

## 材質

## 変換器ハウジング

「ハウジング」のオーダーコード、オプション **A** 「一体型、アルミダイカスト」:  
アルミダイカスト AlSi10Mg

## 電線管接続口/ ケーブルグラント

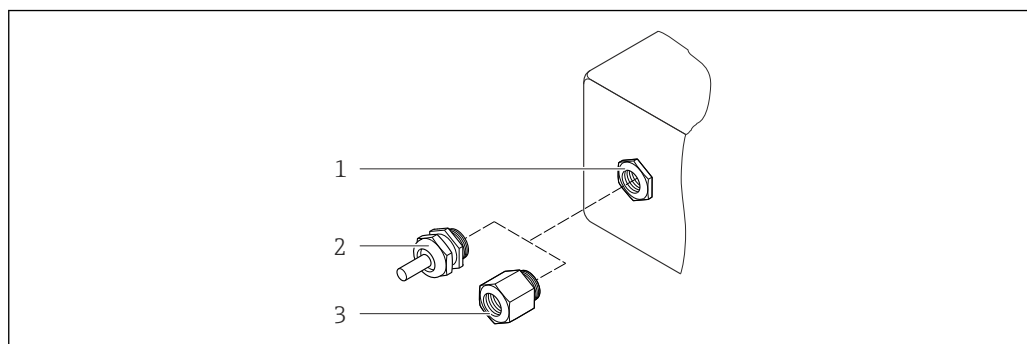


図 17 可能な電線管接続口/ ケーブルグラント

- 1 変換器ハウジング、ウォールマウントハウジングまたは接続ハウジングの電線管接続口（雌ねじ M20 x 1.5 付き）
- 2 ケーブルグラント M20 x 1.5
- 3 電線管接続口用アダプタ（雌ねじ G ½" または NPT ½"）

## 「ハウジング」のオーダーコード、オプション A「一体型、アルミダイカスト」

各種の電線管接続口は危険場所および非危険場所用に適しています。

電線管接続口/ ケーブルグラント	材質
ケーブルグラント M20 × 1.5	ニッケルメッキ真ちゅう
電線管接続口用アダプタ（雌ねじ G ½"）	
電線管接続口用アダプタ（雌ねじ NPT ½"）	

## 機器プラグ

電気接続	材質
Plug M12x1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ソケット：ステンレス 1.4404 (SUS 316L 相当)</li> <li>■ コンタクトハウジング：ポリアミド</li> <li>■ コンタクト：金メッキ真ちゅう</li> </ul>

## センサハウジング

- 呼び口径 15～300 mm (½～12")：塗装アルミダイカスト AlSi10Mg
- 呼び口径 350～600 mm (14～24")：保護塗装付き炭素鋼

## 計測チューブ

ステンレス 1.4301/SUS 304 相当/1.4306/SUS 304L 相当；アルミ/亜鉛保護コーティング付き（呼び口径 15～300 mm (½～12")）または保護塗装付き（呼び口径 350～600 mm (14～24")）炭素鋼製フランジ用

## ライニング

- PFA
- PTFE

**プロセス接続**

EN 1092-1 (DIN 2501)

ステンレス 1.4571 (SUS F316L 相当) ; 炭素鋼 FE410WB<sup>1)</sup>/S235JRG2 ; アロイ C22、2.4602 (UNS N06022)

ASME B16.5

ステンレス SUS F316L 相当 ; 炭素鋼 A105<sup>1)</sup>

JIS B2220

ステンレス 1.0425 (SUS F316L 相当)<sup>1)</sup> ; 炭素鋼 A105/A350LF2



AS 2129 Table E

■ 呼び口径 25 mm (1") : 炭素鋼 A105/S235JRG2

■ 呼び口径 40 mm (1 ½") : 炭素鋼 A105/S275JR

AS 4087 PN 16

炭素鋼 A105/S275JR

 利用可能なすべてのプロセス接続のリスト →  104**電極**

ステンレス 1.4435 (SUS F316L 相当) ; アロイ C22、2.4602 (UNS N06022) ; 白金 ; タンタル ; チタン

**シール**

DIN EN 1514-1 に準拠

**アクセサリ****アースリング**

ステンレス 1.4435 (SUS F316L 相当) ; アロイ C22、2.4602 (UNS N06022) ; タンタル ; チタン



**組合せ電極**

測定電極、基準電極、空検知電極 :

- 標準 : ステンレス 1.4435 (SUS F316L 相当) ; アロイ C22、2.4602 (UNS N06022) ; タンタル ; チタン
- オプション : 白金測定電極のみ

**プロセス接続**

- EN 1092-1 (DIN 2501) : 呼び口径 ≤ 300 mm (12") form A、呼び口径 ≥ 350 mm (14") フラットフェース ; 寸法は DIN 2501 に準拠、65 mm PN 16 および 600 mm (24") PN 16 は EN 1092-1 準拠のみ
- ASME B16.5
- JIS B2220
- AS 2129 Table E
- AS 4087 PN 16

 プロセス接続の材質については、→  104 を参照してください。**表面粗さ**

ステンレス電極 1.4435 (SUS F316L 相当) ; アロイ C22、2.4602 (UNS N06022) ; 白金 ; タンタル ; チタン :

≤ 0.3~0.5 μm (11.8~19.7 μin)

(すべて接液部のデータ)

1) 呼び口径 15~300 mm (½~12") アルミ/亜鉛保護コーティング付き ; 呼び口径 350~600 mm (14~24") 保護塗装付き



PFA 製ライニング：  
≤ 0.4 μm (15.7 μin)  
(すべて接液部のデータ)

## 16.11 操作性


### 現場表示器

現場表示器は以下の機器でのみ使用できます。  
「ディスプレイ；操作」のオーダーコード、オプション **B**：4 行表示；通信経由

#### 表示部

- 4 行液晶表示（行ごとに 16 文字）。
- 白色バックライト、機器エラー発生時は赤に変化。
- 測定変数およびステータス変数の表示形式は個別に設定可能。
- 表示部の許容周囲温度：-20～+60 °C (-4～+140 °F)。温度が許容温度範囲外の場合、表示部の視認性が悪化する可能性があります。

#### メイン電子モジュールからの現場表示器の取外し

ハウジングの種類が「一体型、アルミダイカスト」の場合、現場表示器はメイン電子モジュールからマニュアルで取り外す必要があります。ハウジングの種類が「一体型、サニタリ、ステンレス」および「ウルトラコンパクト、サニタリ、ステンレス」の場合、現場表示器はハウジングカバーに内蔵されています。そのため、現場表示器をメイン電子モジュールから取り外すときは、ハウジングカバーを開ける必要があります。

#### ハウジングの種類「一体型、アルミダイカスト」

現場表示器はメイン電子モジュールに差し込まれています。現場表示器とメイン電子モジュールの間の電気的な接続は接続ケーブルを介して確立されます。

機器に対する一部の作業（例：電気接続）では、現場表示器をメイン電子モジュールから取り外すことをお勧めします。

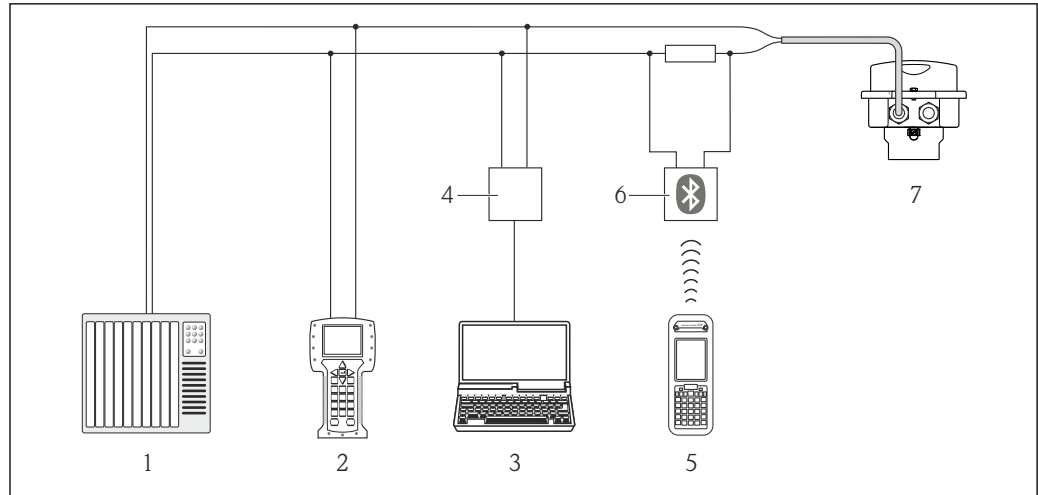
1. 現場表示器のサイドラッチを押してください。
2. 現場表示器をメイン電子モジュールから取り外してください。取り外す際に接続ケーブルの長さに注意してください。

作業が完了したら、現場表示器を再び差し込んでください。

### リモート操作

#### HART プロトコル経由

この通信インターフェイスは、以下の機器で用意されています。  
「出力」のオーダーコード、オプション **B**：4～20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力



A0016948

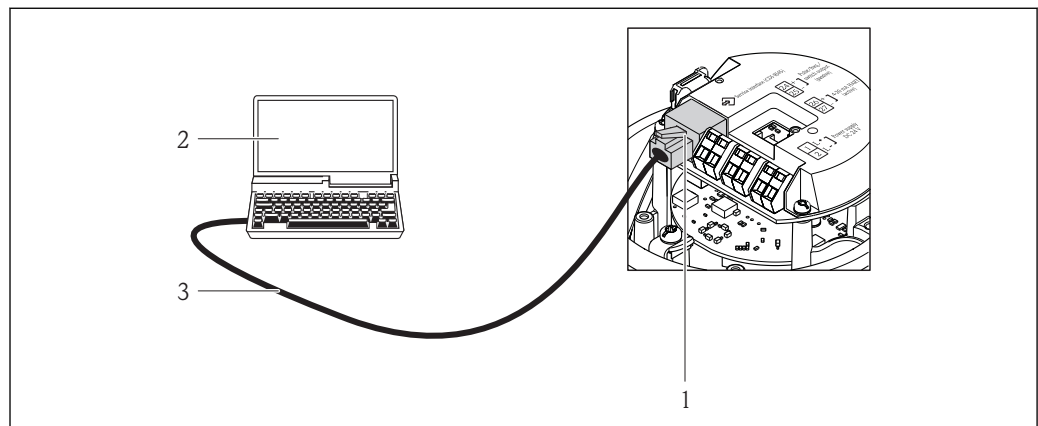
図 18 HART 経由のリモート操作オプション

- 1 制御システム (例: PLC)
- 2 フィールドコミュニケーター 475
- 3 操作ツール (例: FieldCare、AMS Device Manager、SIMATIC PDM) 搭載のコンピュータ
- 4 コミュボックス FXA195 (USB)
- 5 Field Xpert SFX350 または SFX370
- 6 VIATOR Bluetooth モデム、接続ケーブル付き
- 7 変換器

サービスインターフェイス

サービスインターフェイス (CDI-RJ45)

HART



A0016926

図 19 「出力」のオーダーコードの接続、オプション B : 4~20 mA HART、パルス/周波数/スイッチ出力

- 1 内蔵されたウェブサーバへアクセス可能な機器のサービスインターフェイス (CDI-RJ45)
- 2 内蔵された機器ウェブサーバにアクセスするためのウェブブラウザ (例: Internet Explorer)、または COM DTM 「CDI Communication TCP/IP」と「FieldCare」操作ツールを搭載したコンピュータ
- 3 RJ45 プラグの付いた標準 Ethernet 接続ケーブル

言語

以下の言語で操作できます。

- 「FieldCare」操作ツールを經由：
  - 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、中国語、日本語
- ウェブブラウザを經由：
  - 英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、ポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、トルコ語、中国語、日本語、バハサ (インドネシア語)、ベトナム語、チェコ語

## 16.12 認証と認定

CE マーク	<p>本製品は適用される EC 指令で定められた要求事項に適合します。これらの要求事項は、適用される規格とともに EC 適合宣言に明記されています。</p> <p>エンドレスハウザーは本製品が試験に合格したことを、CE マークの添付により保証いたします。</p>
C-Tick マーク	<p>本機器は「Australian Communications and Media Authority (ACMA)」の EMC 指令に適合します。</p>
防爆認定	<p>機器は防爆認定機器であり、関連する安全注意事項は別冊の「安全注意事項 (英文) (XA) 資料」に掲載されています。この資料の参照先は、型式銘板に明記されています。</p>
圧力機器指令	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センサ銘板に「PED/G1/x (x = カテゴリー)」マークがある場合、エンドレスハウザーは本機器が欧州圧力機器指令 97/23/EC 付録 I の「基本安全基準」に適合していることを承認します。</li> <li>■ PED マークがない機器は、GEP (適切な技術的手法) に従って設計 / 製造されています。この機器は、欧州圧力機器指令 97/23/EC の Art. 3, Section 3 の要件を満たしています。圧力機器指令付録 II の図 6~9 に、その用途範囲が記載されています。</li> </ul>
その他の基準およびガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ EN 60529 ハウジング保護等級 (IP コード)</li> <li>■ EN 61010-1 計測、制御および試験所使用電気機器の安全要求事項</li> <li>■ IEC/EN 61326 クラス A 要件に準拠した放射。電磁適合性 (EMC 要件)</li> <li>■ NAMUR NE 21 工業用プロセスおよび試験機器の電磁適合性 (EMC)</li> <li>■ NAMUR NE 32 マイクロプロセッサ付きフィールド機器および制御機器の電源異常時のデータ保持</li> <li>■ NAMUR NE 43 アナログ出力信号を有するデジタル変換器の故障情報信号レベルの標準化</li> <li>■ NAMUR NE 53 デジタル電子部品を有するフィールド機器と信号処理機器のソフトウェア</li> <li>■ NAMUR NE 105 フィールド機器用エンジニアリングツールにフィールドバス機器を統合するための仕様</li> <li>■ NAMUR NE 107 フィールド機器の自己監視および診断</li> <li>■ NAMUR NE 131 標準アプリケーション用フィールド機器の要件</li> </ul>

## 16.13 アプリケーションパッケージ

機器の機能を拡張するために、各種のアプリケーションパッケージが用意されています。これらのパッケージは、安全面や特定のアプリケーション要件を満たすのに必要とされます。

アプリケーションパッケージは、エンドレスハウザー社に機器と一緒に注文するか、または後から追加注文できます。オーダーコードに関する詳細は、弊社営業所もしくは販売代理店にお問い合わせいただくか、弊社ウェブサイトの製品ページをご覧ください：  
[www.endress.com](http://www.endress.com)。



## 洗浄

パッケージ	説明
電極洗浄回路 (ECC)	電極洗浄回路 (ECC) 機能は、マグネタイト ( $\text{Fe}_3\text{O}_4$ ) の付着が頻繁に発生するアプリケーションに対するソリューションとして開発されました (例: 温水)。マグネタイトは非常に導電性が高いため、その付着物により測定エラーが発生し、最終的に信号の消失につながる可能性があります。これは、非常に導電性が高い物質や薄層 (マグネタイトに特有) の付着を防止するために設計されたアプリケーションパッケージです。


## Heartbeat Technology

パッケージ	内容
Heartbeat 確認 + 監視	<p><b>Heartbeat 監視:</b> 外部状態監視システム用の、測定原理に特有の監視データを連続的に供給します。これにより以下のことが可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>測定アプリケーションが時間とともに測定性能に及ぼす影響について結論を引き出す (これらのデータとその他の情報を用いて)。</li> <li>適切なサービスのスケジュールを立てる。</li> <li>製品品質 (気泡など) を監視する。</li> </ul> <p><b>Heartbeat 確認:</b> 機器の設置時に必要に応じて、プロセスを中断することなく機器機能をチェックすることを可能にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現場操作またはその他の操作インターフェイス (FieldCare など) を介したアクセス。</li> <li>メーカー仕様の範囲内である機器機能の文書化 (例: 証明試験用)。</li> <li>確認結果のトレーサブルな完全な文書化 (報告書を含む)。</li> <li>オペレータのリスク評価に従って校正間隔を長くすることを可能にします。</li> </ul>

## 16.14 アクセサリ

 注文可能なアクセサリの概要 →  89

## 16.15 補足資料

 同梱される関連の技術資料の概要については、次を参照してください。

- W@M デバイスビューワー: 型式銘板のシリアル番号を入力 ([www.endress.com/deviceviewer](http://www.endress.com/deviceviewer))
- Endress+Hauser Operations App: 型式銘板のシリアル番号を入力するか、型式銘板の 2-D マトリクスコード (QR コード) をスキャンしてください。

## 標準資料

## 簡易取扱説明書 (英文)

機器	資料コード
Promag P 100	KA01143D

## 技術仕様書

機器	資料コード
Promag P 100	TI01102D

## 機器固有の補足資料

## 安全注意事項 (英文)

内容	資料コード
ATEX/IECEX Ex nA	XA01090D

## スペシャルドキュメント

内容	資料コード
欧州圧力機器指令に関する情報 (英文)	SD01056D
Heartbeat Technology	SD01149D

## インストールガイド (英文)

内容	資料コード
スペアパーツセットのインストールガイド	 注文可能なアクセサリの概要 → 89

## 17 付録

### 17.1 操作メニューの概要

以下の表は、各メニューとパラメータを含む、操作メニュー構成全体の概要を示したものです。パラメータの説明については、本書の参照ページをご覧ください。

\* = サブメニューは追加注文された場合にのみ表示されます（「技術仕様書」、「アプリケーションパッケージ」セクション）。

#### 17.1.1 メインメニュー

<b>メインメニュー</b>	→	Display language	→ 65
		<b>操作</b>	→ 110
		<b>設定</b>	→ 111
		<b>診断</b>	→ 115
		<b>エキスパート</b>	→ 118

#### 17.1.2 「操作」メニュー

<b>操作</b>	→		
Display language			→ 65
Web server language			
アクセスステータス表示			
アクセスステータスツール			
ロック状態			→ 67
<b>表示</b>	→		→ 54
表示形式			→ 55
表示のコントラスト			
バックライト			→ 65
表示間隔			→ 65
<b>積算計の処理</b>	→		→ 72
積算計 1~n のコントロール			→ 73
プリセット値 1~n			→ 73
すべての積算計をリセット			→ 72

## 17.1.3 「設定」メニュー

<b>設定</b>	→	→ 48
デバイスのタグ		→ 48
<b>電流出力 1</b>	→	
電流出力の割り当て		→ 49
質量流量単位		→ 49
体積流量単位		→ 49
導電率の単位		→ 61
密度単位		→ 61
電流スパン		→ 49
0/4mA の値		→ 49
20mA の値		→ 49
20mA の値		→ 49
0/4mA の値		→ 49
フェールセーフモード		→ 50
故障時の電流値		→ 50
<b>パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え</b>	→	→ 50
動作モード		→ 50
パルス出力の割り当て		→ 50
周波数出力割り当て		→ 51
スイッチ出力機能		→ 53
診断動作の割り当て		→ 53
リミットの割り当て		→ 53
流れ方向チェックの割 り当て		→ 53
ステータスの割り当て		→ 53
質量流量単位		→ 49
質量単位		→ 50
体積流量単位		→ 49
導電率の単位		→ 61
体積単位		→ 50

密度単位		→ 61
積算計の単位		→ 53
積算計の単位		→ 53
積算計の単位		→ 53
パルスの値		→ 50
パルス幅		→ 50
フェールセーフモード		→ 51
周波数の最小値		→ 52
周波数の最大値		→ 52
周波数の最大値		→ 52
周波数の最小値		→ 52
最小周波数の時測定する値		→ 52
最大周波数の時の値		→ 52
最大周波数の時の値		→ 52
最小周波数の時測定する値		→ 52
フェールセーフモード		→ 52
フェール時の周波数		→ 52
スイッチオンの値		→ 53
スイッチオフの値		→ 53
スイッチオフの値		→ 53
スイッチオンの値		→ 53
スイッチオンの遅延		→ 53
スイッチオフの遅延		→ 53
フェールセーフモード		→ 53
出力信号の反転		→ 51
<b>表示</b>	→	→ 54
表示形式		→ 55
1 の値表示		→ 55
バーグラフ 0%の値 1		→ 55
バーグラフ 100%の値 1		→ 55
2 の値表示		→ 55



3 の値表示		→ 55
バーグラフ 0%の値 3		→ 55
バーグラフ 100%の値 3		→ 55
4 の値表示		→ 55
<b>出力の設定</b>	→	→ 56
電流出力の割り当て		→ 49
出力 1 のダンピング		→ 57
出力 1 の測定モード		→ 57
周波数出力割り当て		→ 51
出力 1 のダンピング		→ 57
出力 1 の測定モード		→ 57
パルス出力の割り当て		→ 50
出力 1 の測定モード		→ 57
<b>ローフローカットオフ</b>	→	
プロセス変数の割り当て		→ 58
ローフローカットオフ オンの値		→ 58
ローフローカットオフ オフの値		→ 58
プレッシャショックの 排除		→ 58
<b>空検知</b>	→	→ 59
空検知		→ 59
新規調整		→ 59
進行中		→ 59
空検知の検出ポイント		→ 59
非満管検出までの応答 時間		→ 59
<b>HART 入力</b>	→	→ 55
キャプチャーモード		→ 56
機器 ID		→ 56
機器タイプ		→ 56
製造者 ID		→ 56

バーストコマンド		→ 56
スロット番号		→ 56
Timeout		→ 56
フェールセーフモード		→ 56
フェールセーフの値		→ 56
<b>高度な設定</b>	→	→ 60
アクセスコード入力		→ 67
	<b>システムの単位</b>	→ 60
	体積流量単位	→ 49
	体積単位	→ 50
	導電率の単位	→ 61
	温度の単位	→ 61
	質量流量単位	→ 49
	質量単位	→ 50
	密度単位	→ 61
	基準体積流量単位	→ 61
	基準体積単位	→ 61
	<b>センサの調整</b>	→ 61
	設置方向	→ 62
	<b>積算計 1~n</b>	→ 62
	プロセス変数の割り当て	→ 62
	積算計の単位	→ 53
	積算計動作モード	→ 62
	フェールセーフモード	→ 62
	<b>表示</b>	→ 63
	表示形式	→ 55
	1 の値表示	→ 55
	バーグラフ 0%の値 1	→ 55
	バーグラフ 100%の値 1	→ 55
	小数点桁数 1	→ 64
	2 の値表示	→ 55

小数点桁数 2		→ 64
3 の値表示		→ 65
バーグラフ 0%の値 3		→ 65
バーグラフ 100%の値 3		→ 65
小数点桁数 3		→ 64
4 の値表示		→ 65
小数点桁数 4		→ 64
Display language		→ 65
表示間隔		→ 65
表示のダンピング		→ 65
ヘッダー		→ 65
ヘッダーテキスト		→ 65
区切り記号		→ 65
バックライト		→ 65
電極洗浄回路 <sup>1)</sup>	→	→ 65
電極洗浄回路		→ 66
電極洗浄期間		→ 66
電極洗浄リカバリー時間		→ 66
電極洗浄での洗浄サイクル		→ 66
電極洗浄の極性		→ 66
管理	→	
	アクセスコード設定	→ 67
	アクセスコード設定	→ 67
	アクセスコードの確認	→ 67
機器リセット		→ 83

1) 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EC「ECC 電極洗浄」

#### 17.1.4 「診断」メニュー

診断	→	→ 74
現在の診断結果		→ 81
前回の診断結果		→ 81

再起動からの稼働時間			→ 81
稼働時間			→ 81
<b>診断リスト</b>	→		→ 81
診断 1~n			→ 81
<b>イベントログブック</b>	→		→ 81
フィルタオプション			→ 82
<b>機器情報</b>	→		→ 83
デバイスのタグ			→ 84
シリアル番号			→ 84
ファームウェアのバージョン			→ 84
機器名			→ 84
オーダーコード			→ 84
拡張オーダーコード 1~n			→ 84
ENP バージョン			→ 84
機器リビジョン			→ 84
機器 ID			→ 84
機器タイプ			→ 84
製造者 ID			→ 84
IP アドレス			→ 84
Subnet mask			→ 84
Default gateway			→ 84
<b>測定値</b>	→		
		<b>プロセス変数</b>	→ 70
		体積流量	→ 70
		質量流量	→ 70
		導電率	→ 70
		基準体積流量	→ 71
		温度	→ 71
		<b>積算計 1~n</b>	→ 71
		積算計の値 1~n	→ 71

	積算計オーバーフロー 1 ～n	→ 71
	<b>出力値</b> →	→ 71
	出力電流 1	→ 71
	測定された電流値 1	→ 71
	パルス出力 1	→ 72
	出力周波数 1	→ 72
	ステータス切り替え 1	→ 72
<b>Heartbeat<sup>1)</sup></b> →		→ 108
	<b>検証の実行</b> →	
	年	
	月	
	日	
	時	
	AM/PM	
	分	
	外部機器の情報	
	検証の開始	
	進行中	
	ステータス	
	全体の結果	
	<b>検証の結果</b> →	
	日時	
	検証 ID	
	稼動時間	
	全体の結果	
	センサ	
	センサの電子機器モジュール	
	I/O モジュール	
	<b>モニタリング結果</b> →	
	ノイズ	

シミュレーション →	コイル電流のライズ時間	
	PE に対する基準電極電位	
	シミュレーションする測定パラメータ割り当て	→ 66
	測定値	→ 67
	電流出力 1 のシミュレーション	→ 67
	電流出力 1 の値	→ 67
	周波数シミュレーション	→ 67
	周波数の値	→ 67
	パルスシミュレーション	→ 67
	パルスの値	→ 67
	シミュレーションスイッチ出力	→ 67
	ステータス切り替え	→ 67
	機器アラームのシミュレーション	→ 67
診断イベントのシミュレーション	→ 67	

1) 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EB 「Heartbeat 検証 + 監視」、機器の個別説明書を参照

### 17.1.5 「エキスパート」メニュー

以下の表は、各サブメニューとパラメータを含む、**エキスパート** メニュー (→ 66 118) の概要を示しています。パラメータの直接アクセスコードは括弧内に示されています。パラメータの説明については、本書の参照ページをご覧ください。

#### 概要「エキスパート」メニュー

<b>エキスパート</b> →	→ 66 35
直接アクセス (0106)	
ロック状態 (0004)	→ 66 70
アクセスステータス表示 (0091)	
アクセスステータス ツール (0005)	→ 66 68
アクセスコード入力 (0092)	

システム	→ 119
センサ	→ 120
出力	→ 124
通信	→ 125
アプリケーション	→ 127
診断	→ 128

### 「システム」サブメニュー

システム	→	
表示	→	→ 63
Display language (0104)		→ 65
表示形式 (0098)		→ 55
1 の値表示 (0107)		→ 55
バーグラフ 0%の値 1 (0123)		→ 55
バーグラフ 100%の値 1 (0125)		→ 55
小数点桁数 1 (0095)		→ 64
2 の値表示 (0108)		→ 55
小数点桁数 2 (0117)		→ 64
3 の値表示 (0110)		→ 55
バーグラフ 0%の値 3 (0124)		→ 55
バーグラフ 100%の値 3 (0126)		→ 55
4 の値表示 (0109)		→ 55
小数点桁数 4 (0119)		→ 64
表示間隔 (0096)		→ 65
表示のダンピング (0094)		→ 65
ヘッダー (0097)		→ 65
ヘッダーテキスト (0112)		→ 65
区切り記号 (0101)		→ 65

表示のコントラスト (0105)		
バックライト (0111)		→ 65
アクセスステータス表示 (0091)		
<b>診断イベントの処理</b>	→	→ 74
アラーム遅延 (0651)		
	<b>診断 j 時の動作</b>	→
	診断番号 531 の動作の割り当て (0741)	
	診断番号 832 の動作の割り当て (0681)	
	診断番号 833 の動作の割り当て (0682)	
	診断番号 834 の動作の割り当て (0700)	
	診断番号 835 の動作の割り当て (0702)	
	診断番号 862 の動作の割り当て (0745)	
	診断番号 937 の動作の割り当て (0743)	
	診断番号 302 の動作の割り当て (0739)	
	<b>管理</b>	→
	アクセスコード設定 (0093)	→ 67
機器リセット (0000)		→ 83
SW オプションの有効化 (0029)		
有効なソフトウェアオプションの概要 (0015)		

「センサ」サブメニュー

<b>センサ</b>	→	
測定値	→	→ 70
	<b>プロセス変数</b>	→
	体積流量 (1847)	→ 70
	質量流量 (1838)	→ 70



	導電率 (1850)	→ 70
	基準体積流量 (1851)	→ 71
	温度 (1853)	→ 71
	<b>積算計 1~n</b> →	→ 71
	積算計の値 1~n (0911-1~n)	→ 71
	積算計オーバーフロー 1 ~n (0910-1~n)	→ 71
	<b>出力値</b> →	→ 71
	出力電流 1 (0361)	→ 71
	測定された電流値 1 (0366)	→ 71
	パルス出力 1 (0456)	→ 72
	出力周波数 1 (0471)	→ 72
	ステータス切り替え 1 (0461)	→ 72
	<b>システムの単位</b> →	→ 60
	体積流量単位 (0553)	→ 49
	体積単位 (0563)	→ 50
	導電率の単位 (0582)	→ 61
	温度の単位 (0557)	→ 61
	質量流量単位 (0554)	→ 49
	質量単位 (0574)	→ 50
	密度単位 (0555)	→ 61
	基準体積流量単位 (0558)	→ 61
	基準体積単位 (0575)	→ 61
	日時フォーマット (2812)	
	<b>ユーザ定義の単位</b> →	
	ユーザ定義の体積のテ キスト (0567)	
	ユーザ定義の体積オフ セット (0569)	
	ユーザ定義の体積係数	

	ユーザー固有の質量単位のテキスト	
	ユーザー固有の質量単位のオフセット (0562)	
	ユーザー固有の質量単位の係数 (0561)	
<b>プロセスパラメータ</b> →		→ 48
フィルタオプション (6710)		
流量ダンピング (6661)		
流量の強制ゼロ出力 (1839)		
導電率ダンピング (1803)		
温度ダンピング (1886)		
導電率測定 (6514)		
	<b>ローフローカットオフ</b> →	
	プロセス変数の割り当て (1837)	→ 58
	ローフローカットオフオンの値 (1805)	→ 58
	ローフローカットオフオフの値 (1804)	→ 58
	プレッシャショックの排除 (1806)	→ 58
	<b>空検知</b> →	
	空検知 (1860)	→ 59
	空検知の検出ポイント (6562)	→ 59
	非満管検出までの応答時間 (1859)	→ 59
	新規調整 (6560)	→ 59
	進行中 (6571)	→ 59
	空検知の空の調整値 (6527)	
	空検知の満管の調整値 (6548)	
	空検知の測定値 (6559)	
	<b>電極洗浄回路<sup>1)</sup></b> →	→ 65

	電極洗浄回路 (6528)	→ 66
	電極洗浄期間 (6555)	→ 66
	電極洗浄リカバリー時間 (6556)	→ 66
	電極洗浄での洗浄サイクル (6557)	→ 66
	電極洗浄の極性 (6631)	→ 66
<b>外部補正</b>	→	
	外部入力値 (6707)	
	外部温度 (6673)	
	外部入力密度 (6630)	
	固定密度 (6623)	
	基準密度 (1885)	
<b>センサの調整</b>	→	
	設置方向 (1809)	→ 62
	積分時間 (6533)	
	測定期間 (6536)	
	<b>プロセス変数調整</b>	→
	体積流量オフセット (1841)	
	体積流量係数 (1846)	
	質量流量オフセット (1831)	
	質量流量係数 (1832)	
	導電率オフセット (1848)	
	導電率係数 (1849)	
	基準体積流量オフセット (1866)	
	基準体積流量係数 (1867)	
	温度オフセット (1870)	
	温度係数 (1871)	
<b>校正</b>	→	
	呼び径 (2807)	
	校正ファクタ (6025)	

ゼロ点 (6195)

導電率の校正係数  
(6718)

1) 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプション EC 「ECC 電極洗浄」

## 「出力」サブメニュー

<b>出力</b>	→	<b>電流出力 1</b>	→	→ 49
		電流出力の割り当て (0359)		→ 49
		電流スパン (0353)		→ 49
		固定電流値 (0365)		
		0/4mA の値 (0367)		→ 49
		20mA の値 (0372)		→ 49
		測定モード (0351)		
		出力のダンピング (0363)		→ 57
		応答時間 (0378)		
		フェールセーフモード (0364)		→ 50
		故障時の電流値 (0352)		→ 50
		出力電流 1 (0361)		→ 71
		測定された電流値 1 (0366)		→ 71
		<b>パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え 1</b>	→	→ 50
		動作モード (0469)		→ 50
		パルス出力の割り当て (0460)		→ 50
		パルスの値 (0455)		→ 50
		パルス幅 (0452)		→ 50
		測定モード (0351)		
		フェールセーフモード (0480)		→ 51
		パルス出力 1 (0456)		→ 72
		周波数出力割り当て (0478)		→ 51

周波数の最小値 (0453)	→ 52
周波数の最大値 (0454)	→ 52
最小周波数の時測定する値 (0476)	→ 52
最大周波数の時の値 (0475)	→ 52
測定モード (0479)	
出力のダンピング	
応答時間 (0491)	
フェールセーフモード (0451)	→ 52
フェール時の周波数 (0474)	→ 52
出力周波数 1 (0471)	→ 72
スイッチ出力機能 (0481)	→ 53
診断動作の割り当て (0482)	→ 53
リミットの割り当て (0483)	→ 53
スイッチオンの値 (0466)	→ 53
スイッチオフの値 (0464)	→ 53
流れ方向チェックの割り当て (0484)	→ 53
ステータスの割り当て (0485)	→ 53
スイッチオンの遅延 (0467)	→ 53
スイッチオフの遅延 (0465)	→ 53
フェールセーフモード (0486)	→ 53
ステータス切り替え 1 (0461)	→ 72
出力信号の反転 (0470)	→ 51

### 「通信」サブメニュー

通信

→

<b>HART 入力</b>	→		→ 55
		<b>設定</b>	→
		キャプチャーモード (7001)	→ 56
		機器 ID (7007)	→ 56
		機器タイプ (7008)	→ 56
		製造者 ID (7009)	→ 56
		バーストコマンド (7006)	→ 56
		スロット番号 (7010)	→ 56
		Timeout (7005)	→ 56
		フェールセーフモード (7011)	→ 56
		フェールセーフの値 (7012)	→ 56
		<b>入力</b>	
		値 (7003)	
		ステータス (7004)	
<b>HART 出力</b>	→		→ 44
		<b>設定</b>	→
		バーストモード (0208)	
		バーストコマンド (0207)	
		HART アドレス (0219)	
		Preamble の数 (0217)	
		HART ショートタグ (0220)	
		<b>情報</b>	→ 83
		機器リビジョン (0204)	→ 84
		機器 ID (0221)	→ 84
		機器タイプ (0222)	→ 84
		製造者 ID (0223)	→ 84
		HART リビジョン (0205)	→ 44
		HART 記述子 (0212)	

	HART メッセージ (0216)		
	ハードウェアリビジョン (0206)		
	ソフトウェアリビジョン (0224)		
	HART データコード (0202)		
	<b>出力</b>	→	→ 44
	PV 割当 (0234)		
	PV 値 (0201)		
	SV 割当 (0235)		
	SV 値 (0226)		
	TV 割当 (0236)		
	TV 値 (0228)		
	QV 割当 (0237)		
	QV 値 (0203)		
	<b>Web サーバ</b>	→	→ 35
	Web server language (7221)		
	MAC アドレス (7214)		
	IP アドレス (7209)		
	Subnet mask (7211)		
	Default gateway (7210)		
	Web サーバ 機能 (7222)		→ 38

「アプリケーション」サブメニュー

<b>アプリケーション</b>	→	
すべての積算計をリセット (2806)		→ 73
<b>積算計 1~n</b>	→	→ 62
プロセス変数の割り当て (0914)		→ 62
積算計の単位 (0915)		→ 53
積算計動作モード		→ 62

積算計 1~n のコントロール (0912-1~n)	→ 73
プリセット値 1~n (0913-1~n)	→ 73
フェールセーフモード (0901)	→ 62
<b>濃度</b> →	
濃度の単位	
ユーザ定義の濃度単位のテキスト	
ユーザ定義の濃度係数	
ユーザ定義の濃度オフセット	
A 0	
A 1~n	
B 1~n	

「診断」サブメニュー

<b>診断</b> →	→ 74
現在の診断結果 (0691)	→ 81
タイムスタンプ (0667)	
前回の診断結果 (0690)	→ 81
タイムスタンプ (0672)	
再起動からの稼働時間 (0653)	→ 81
稼働時間 (0652)	→ 81
<b>診断リスト</b> →	→ 81
診断 1~n (0692-1~n)	→ 81
タイムスタンプ 1~n (0683-1~n)	
<b>イベントログブック</b> →	→ 81
フィルタオプション (0705)	→ 82
<b>機器情報</b> →	→ 83
デバイスのタグ (0011)	→ 84
シリアル番号 (0009)	→ 84



ファームウェアのバージョン (0010)		→ 84
機器名 (0013)		→ 84
オーダーコード (0008)		→ 84
拡張オーダーコード 1~n (0023-1~n)		→ 84
設定カウンタ (0233)		
ENP バージョン (0012)		→ 84
<b>最小値/最大値</b>	→	
最小値/最大値のリセット (6151)		
	<b>メイン電子モジュール 温度</b>	→
	最小値 (6547)	
	最大値 (6545)	
	<b>温度</b>	→
	最小値 (6030)	
	最大値 (6029)	
<b>Heartbeat<sup>1)</sup></b>	→	→ 108
	<b>ハートビート基本設定</b>	→
	プラントオペレータ (2754)	
	場所 (2751)	
	<b>検証の実行</b>	→
	年 (2846)	
	月 (2845)	
	日 (2842)	
	時 (2843)	
	AM/PM (2813)	
	分 (2844)	
	外部機器の情報 (12101)	
	検証の開始 (12127)	
	進行中 (2808)	
	ステータス (12153)	

	全体の結果 (12149)		
	<b>検証の結果</b>	→	
	日時 (12142)		
	検証 ID (12141)		
	稼動時間 (12126)		
	全体の結果 (12149)		
	センサ (12152)		
	センサの電子機器モジュール (12151)		
	I/O モジュール (12145)		
	<b>モニタリング結果</b>	→	
	ノイズ (12158)		
	コイル電流のライズ時間 (12150)		
	PE に対する基準電極電位 (12155)		
	<b>シミュレーション</b>	→	→ 66
	シミュレーションする測定パラメータ割り当て (1810)		→ 67
	測定値 (1811)		→ 67
	電流出力 1 のシミュレーション (0354)		→ 67
	電流出力 1 の値 (0355)		→ 67
	周波数シミュレーション (0472-1~n)		→ 67
	周波数の値 (0473-1~n)		→ 67
	パルスシミュレーション (0458-1~n)		→ 67
	パルスの値 (0459-1~n)		→ 67
	シミュレーションスイッチ出力 (0462-1~n)		→ 67
	ステータス切り替え (0463-1~n)		→ 67
	機器アラームのシミュレーション (0654)		→ 67

	診断イベントのシミュレーション (0737)	→ 67
--	------------------------	------

- 1) 「アプリケーションパッケージ」のオーダーコード、オプションEB「Heartbeat 検証 + 監視」、機器の個別説明書を参照

## 索引

## 記号

圧力損失	100
機械的負荷	98
使用圧力	19
取付位置	16
振動	19
操作指針	35
測定値の読取り	70
電気接続	
機器	26
特別な接続指示	32
納品内容確認	11
表示モジュールの回転	24
変換器	
表示モジュールの回転	24
用途	8

## A

AMS デバイスマネージャ	42
機能	42

## C

C-Tick マーク	107
CE マーク	9
CE マーク	107

## D

DIP スイッチ	
書き込み保護スイッチを参照	

## E

ECC	65
-----	----

## F

Field Xpert	
機能	40
Field Xpert SFX350	40
FieldCare	40
機能	40
接続の確立	41
デバイス記述ファイル	44
ユーザインターフェイス	42

## H

HART 入力	
設定	55
HART プロトコル	
機器変数	44
測定変数	44

## I

I/O 電子モジュール	10, 28
-------------	--------

## S

SIMATIC PDM	42
機能	42

## W

W@M	86, 87
W@M デバイスビューワー	11, 87

## ア

アクセスコード設定	68
アダプタの使用	20
圧力温度曲線	99
圧力機器指令	107
アプリケーション	8
アプリケータ	91
アラーム時の信号	94
安全	8

## イ

イベントリスト	81
イベント履歴	81
イベントログブックのフィルタリング	82

## ウ

ウィザード	
アクセスコード設定	67
パルス-周波数-スイッチ 出力の切り替え	50, 51, 52
ローフローカットオフ	57
空検知	59
出力の設定	56
電流出力 1~n	49
表示	54

## エ

影響	
周囲温度	98
エラーメッセージ	
診断メッセージを参照	
エンドレスハウザー社サービス	
修理	87
メンテナンス	86

## オ

オーダーコード	12, 13
温度測定応答時間	98
温度範囲	
保管温度	15

## カ

外部洗浄	86
概要	
操作メニュー	110
書き込み保護	
アクセスコードによる	67
書き込み保護スイッチを使用	68
書き込み保護スイッチ	68
書き込み保護の無効化	67
書き込み保護の有効化	67
拡張オーダーコード	
センサ	13
変換器	12

銘板			
センサ	13		
下流側直管長	18		
環境			
周囲温度範囲	18		
耐衝撃	98		
耐振動性	98		
保管温度	98		
機械的負荷	98		
<b>キ</b>			
機器			
HART プロトコルによる統合	44		
構成	10		
修理	87		
設定	48		
センサの取付け	21		
シールの取付け	21		
ねじ締め付けトルク	21		
接地ケーブル/アースリングの取付け	21		
電気配線の準備	28		
取付けの準備	20		
取外し	87		
廃棄	88		
変更	87		
機器コンポーネント	10		
機器修理	87		
機器資料			
補足資料	7		
機器タイプ ID	44		
機器の運搬	15		
機器の識別表示	11		
機器の修理	87		
機器の接続	28		
機器の用途			
不適切な用途	8		
不明な場合	8		
用途を参照			
機器名			
センサ	13		
変換器	12		
機器リビジョン	44		
機器ロック状態	70		
技術データ、概要	91		
基準およびガイドライン	107		
基準動作条件	96		
機能			
パラメータを参照			
機能確認	48		
機能範囲			
AMS デバイスマネージャ	42		
Field Xpert	40		
SIMATIC PDM	42		
フィールドコミュニケーター	43		
フィールドコミュニケーター 475	43		
<b>ク</b>			
組合せ電極	104		
繰り返し性	97		
<b>ケ</b>			
計測可能流量範囲	92		
計測システム	91		
計測チューブ仕様	102		
言語、操作オプション	106		
検査			
納入品	11		
設置	25		
現在の機器データバージョン	44		
<b>コ</b>			
交換			
機器コンポーネント	87		
工具			
運搬	15		
電気接続	26		
取付け用	20		
構成			
機器	10		
操作メニュー	34		
梱包材の廃棄	16		
<b>サ</b>			
サービスインターフェイス (CDI-RJ45)	106		
再校正	86		
材質	102		
最大測定誤差	97		
サブメニュー			
Web サーバ	38		
アクセスコード設定	68		
イベントリスト	81		
概要	35		
システムの単位	60		
シミュレーション	66		
センサの調整	61		
バースト設定 1~n	46		
プロセス変数	70		
プロセス変数	70		
機器情報	83		
出力値	71		
積算計	71		
積算計 1~n	62		
設定	55		
操作	72		
電極洗浄回路	65		
表示	63		
<b>シ</b>			
シールの交換	86		
システム構成			
機器構成を参照			
計測システム	91		
システム統合	44		
質量			
一体型	101		
運搬 (注意事項)	15		
周囲温度			
影響	98		
周囲温度範囲	18		

修理	87
注意	87
出力	93
出力信号	93
使用上の安全性	9
消費電流	96
消費電力	96
上流側直管長	18
シリアル番号	12, 13
資料	
機能	5
使用されるシンボル	5
資料情報	5
資料の機能	5
診断情報	
FieldCare	75
概要	77
構成、説明	76
対処法	77
発光ダイオード	75
診断動作の適合	76
診断リスト	81
<b>ス</b>	
垂直配管	16
ステータス信号	75
ステータス信号の適合	77
スペアパーツ	87
<b>セ</b>	
製造者 ID	44
製造日	12, 13
性能特性	96
製品の安全性	9
接続	
電気接続を参照	
接続ケーブル	26
接続工具	26
接続の準備	28
接続例、電位平衡	30
設置状況の確認	48
設置状況の確認 (チェックリスト)	25
設置条件	
アダプタの使用	20
上流側/下流側直管長	18
垂直配管	16
取付方向	17
部分的に満管となる配管	17
使用圧力	19
取付位置	16
振動	19
設置寸法	18
設定	48
HART 入力	55
空検知 (EPD)	59
機器リセット	83
現場表示器	54
高度な設定	60
高度な表示の設定	63

システムの単位	60
シミュレーション	66
出力状態	56
積算計	62
積算計のリセット	72
積算計リセット	72
センサの調整	61
デバイスのタグ	48
電極洗浄回路 (ECC)	65
電流出力	49
パルス/周波数/スイッチ出力	50
プロセス条件への機器の適合	72
ローフローカットオフ	57
機器の設定	48
センサ	
取付け	21
洗浄	
外部洗浄	86
内部洗浄	86
<b>ソ</b>	
操作	70
操作オプション	33
操作メニュー	
構成	34
サブメニューおよびユーザの役割	35
パラメータを含むメニューの概要	110
メニュー、サブメニュー	34
測定機器およびテスト機器	86
測定原理	91
測定範囲	91
測定物	8
測定変数	
計算値	91
測定値	91
プロセス変数を参照	
ソフトウェアリリース	44
<b>タ</b>	
耐圧力特性	99
耐衝撃	98
耐振動性	98
端子	96
端子の割当て	27, 28
<b>チ</b>	
チェックリスト	
設置状況の確認	25
配線状況の確認	32
<b>ツ</b>	
通信関連データ	44
<b>テ</b>	
適合宣言	9
デバイス記述ファイル	44
電位平衡	30, 96
電気接続	
ウェブサーバ	40

操作ツール		ローフローカットオフ (ウィザード) .....	57
サービスインターフェイス (CDI-RJ45) 経由	40	機器情報 (サブメニュー) .....	83
保護等級 .....	32	空検知 (ウィザード) .....	59
電気的絶縁性 .....	95	出力の設定 (ウィザード) .....	56
電気配線		出力値 (サブメニュー) .....	71
コミュニティボックス FXA195 .....	39, 105	診断 (メニュー) .....	80
操作ツール .....	39, 105	積算計 (サブメニュー) .....	71
HART プロトコル経由 .....	39, 105	積算計 1~n (サブメニュー) .....	62
ハンドヘルドターミナル .....	39, 105	設定 (サブメニュー) .....	55
フィールドコミュニケーター .....	39, 105	設定 (メニュー) .....	48
電源 .....	96	操作 (サブメニュー) .....	72
電源障害 .....	96	電極洗浄回路 (サブメニュー) .....	65
点検チェック		電流出力 1~n (ウィザード) .....	49
接続 .....	32	表示 (ウィザード) .....	54
電磁適合性 .....	98	表示 (サブメニュー) .....	63
電線管接続口			
技術データ .....	96	<b>ヒ</b>	
電線管接続口		表示	
保護等級 .....	32	現在の診断イベント .....	80
		前回の診断イベント .....	80
<b>ト</b>		表示値	
導電率 .....	99	ロック状態用 .....	70
登録商標 .....	7	表面粗さ .....	104
トラブルシューティング			
一般 .....	74	<b>フ</b>	
取付け .....	16	ファームウェア	
取付けの準備 .....	20	バージョン .....	44
取付工具 .....	20	リリース日付 .....	44
取付寸法		ファームウェアの履歴 .....	85
設置寸法を参照		フィールドコミュニケーター	
取付方向 (垂直方向、水平方向) .....	17	機能 .....	43
取付要件		フィールドコミュニケーター 475 .....	43
設置寸法 .....	18	部分的に満管となる配管 .....	17
		プロセス条件	
<b>ナ</b>		耐圧力特性 .....	99
内部洗浄 .....	86	導電率 .....	99
流れ方向 .....	17	流体温度 .....	99
		流量制限 .....	100
<b>ニ</b>		圧力損失 .....	100
入力 .....	91	プロセス接続 .....	104
認証 .....	107		
認定 .....	107	<b>へ</b>	
		変換器	
<b>ネ</b>		信号ケーブルの接続 .....	28
ねじ締め付けトルク .....	21	返却 .....	87
<b>ハ</b>		<b>ホ</b>	
ハードウェア書き込み保護 .....	68	防爆認定 .....	107
廃棄 .....	87	保管温度 .....	15
配線状況の確認 (チェックリスト) .....	32	保管温度範囲 .....	98
パラメータ設定の保護 .....	67	保管条件 .....	15
パラメータ設定		保護等級 .....	32, 98
Web サーバ (サブメニュー) .....	38	補足資料 .....	108
システムの単位 (サブメニュー) .....	60		
シミュレーション (サブメニュー) .....	66	<b>メ</b>	
センサの調整 (サブメニュー) .....	61	銘板	
バースト設定 1~n (サブメニュー) .....	46	変換器 .....	12
パルス-周波数-スイッチ出力の切り替え (ウィザード) .....	50, 51, 52	メイン電子モジュール .....	10
プロセス変数 (サブメニュー) .....	70	メニュー	
		機器の設定用 .....	48

特定の設定用 .....	60
診断 .....	80
設定 .....	48
操作 .....	70
メンテナンス作業 .....	86
シールの交換 .....	86

**ユ**

ユーザの役割 .....	35
--------------	----

**ヨ**

要員の要件 .....	8
用途 .....	91
用途分野	
残存リスク .....	8

**リ**

リモート操作 .....	105
流体温度範囲 .....	99
流量制限 .....	100

**ロ**

労働安全 .....	9
ローフローカットオフ .....	95





[www.addresses.endress.com](http://www.addresses.endress.com)

---